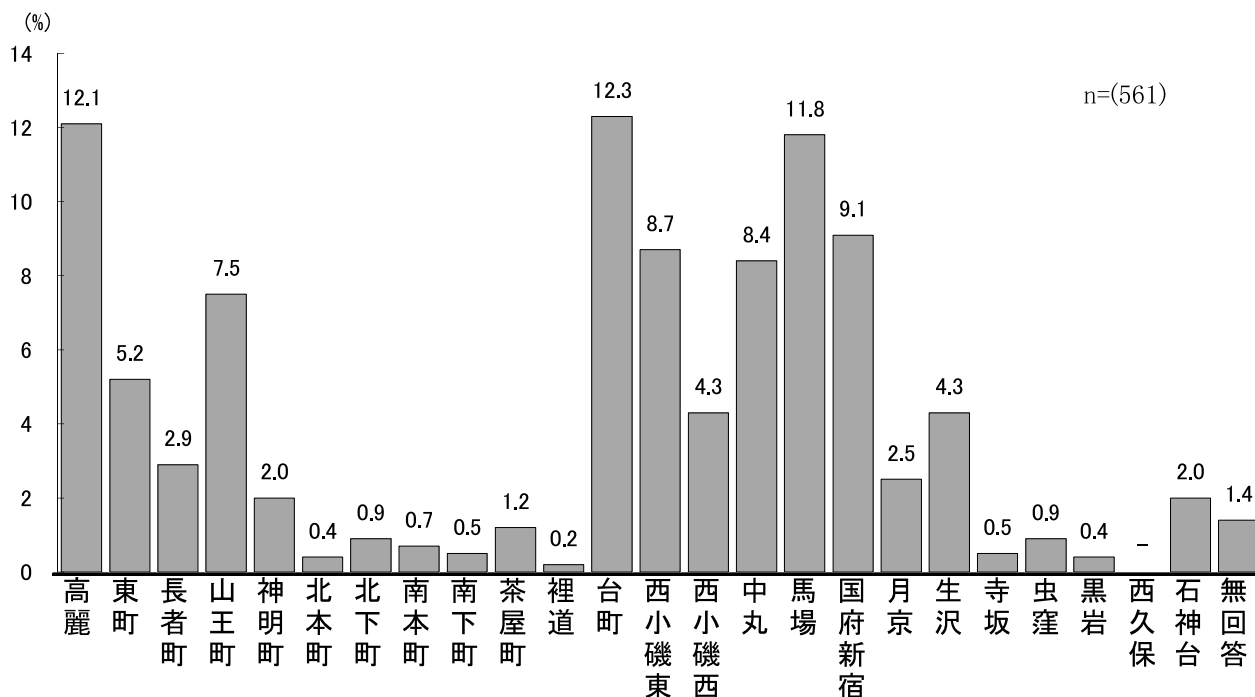


第3章 調査結果の詳細（小学生）

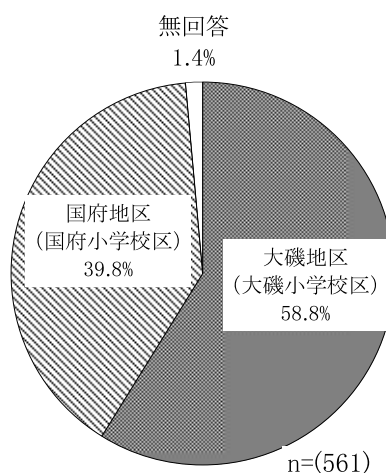
1. 子どもと家族の状況について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)



大磯地区 (大磯小学校区)	国府地区 (国府小学校区)
高麗、東町、長者町、山王町、神明町、北本町、北下町、南本町、南下町、茶屋町、裡道、台町、西小磯東、西小磯西	中丸、馬場、国府新宿、月京、生沢、寺坂、虫窪、黒岩、西久保、石神台

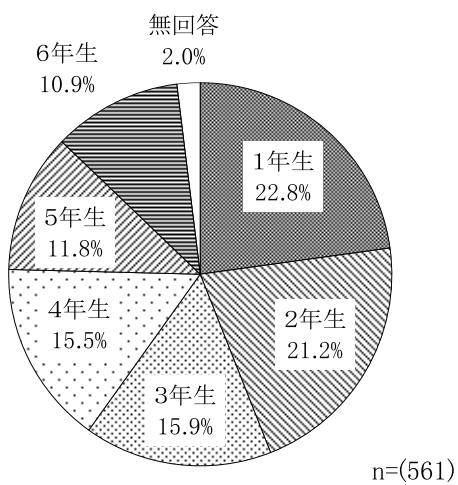


お住まいの地区は、「台町」が12.3%と最も高く、次いで「高麗」が12.1%、「馬場」が11.8%と続いている。

大磯地区（大磯小学校区）が58.8%、国府地区（国府小学校区）が39.8%となっている。

（2）子どもの学年

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。（数字で記入）

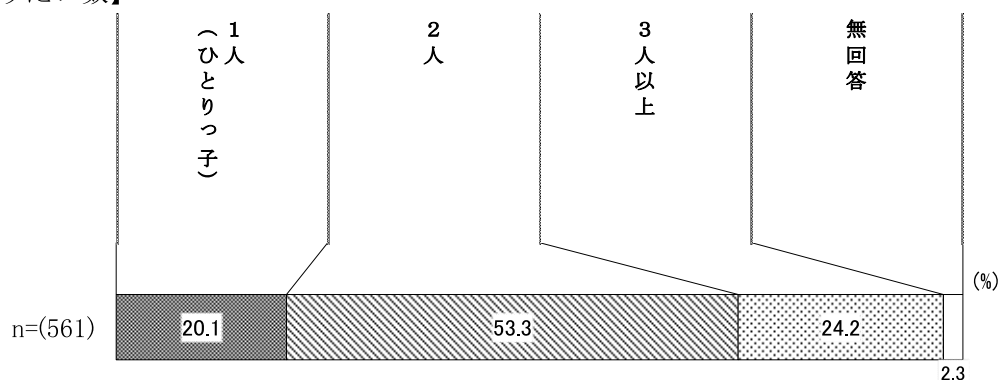


お子さんの学年は、「1年生」が22.8%で最も高く、次いで「2年生」が21.2%と続いている。学年が上がるにつれて、割合が低くなる傾向にある。

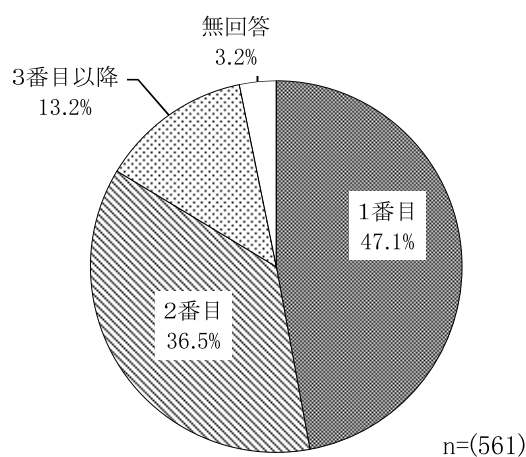
(3) 子どものきょうだい数

問3 あて名のお子さんのきょうだいは、あて名のお子さんを含めて何人ですか。また、あて名のお子さんは、何番目のお子さんですか。（数字で記入）2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。
（きょうだいの数には、あて名のお子さんも含めてください。）

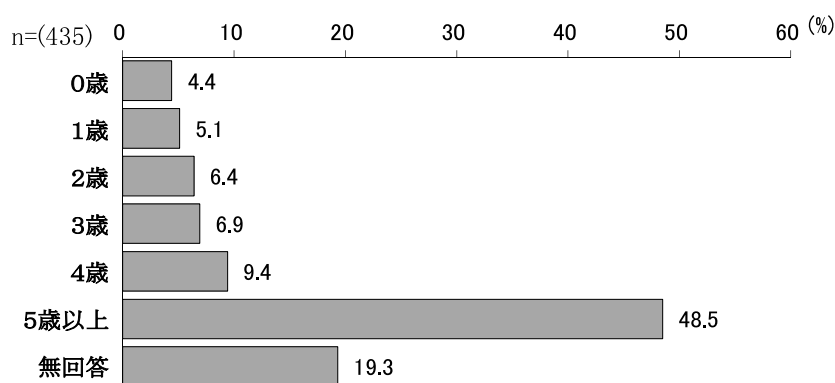
【きょうだい数】



【きょうだい (何番目)】



【末子の年齢】



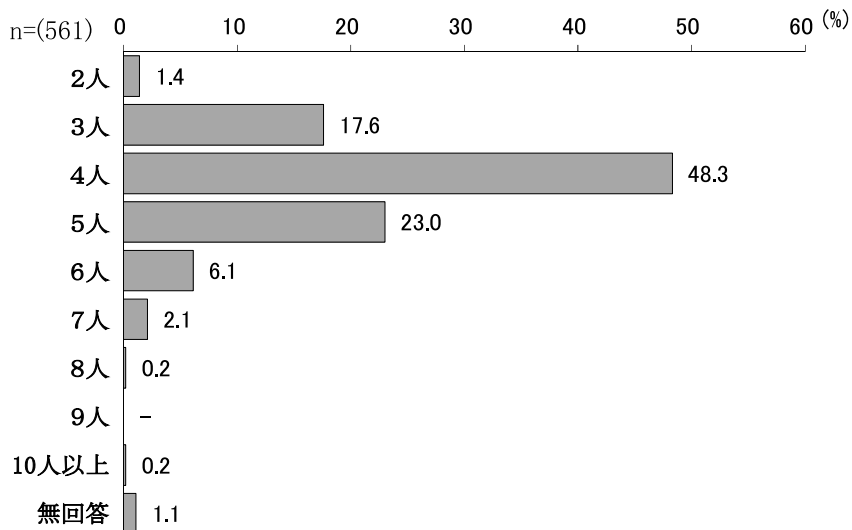
きょうだい数は、「2人」が53.3%で最も高く、次いで「3人以上」が24.2%、「1人（ひとりっ子）」が20.1%となっている。

あて名のお子さんは、「1番目」が47.1%で最も高く、次いで「2番目」が36.5%、「3番目以降」が13.2%となっている。

末子の方の年齢は、「5歳以上」が48.5%で最も高くなっている。

（4）家族人数

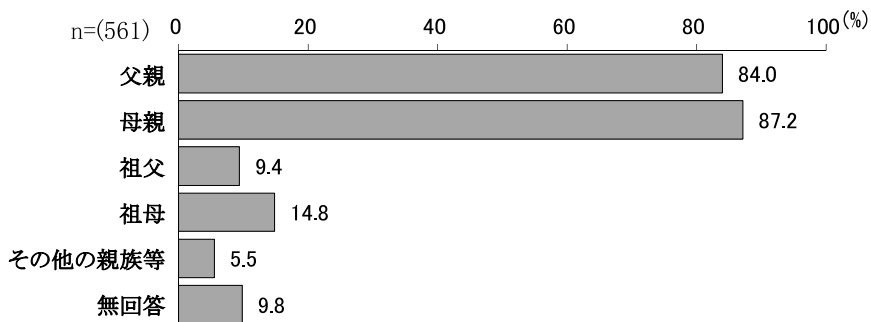
問4 あなたとお子さんを含めた、家族全員の人数は何人ですか。（○は1つ）（単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど、別居していても生計を一緒にする方はすべて含みます。）



家族全員の人数は、「4人」が48.3%で最も高く、次いで「5人」が23.0%、「3人」が17.6%となっている。

（5）同居親族等（きょうだい以外）

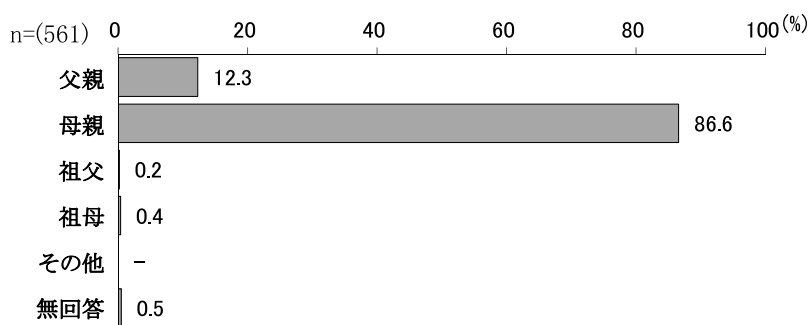
問5 同居されている親族等（きょうだい以外）に、○を付けてください。（あてはまるものすべてに○）
※父親、母親が単身赴任等の仕事の都合で別居している場合は同居しているものとしてお答えください。



同居親族等（きょうだい以外）は、「母親」が87.2%、「父親」が84.0%で8割を超えて高い。また、「祖母」は14.8%、「祖父」は9.4%となっている。

（6）調査票回答者

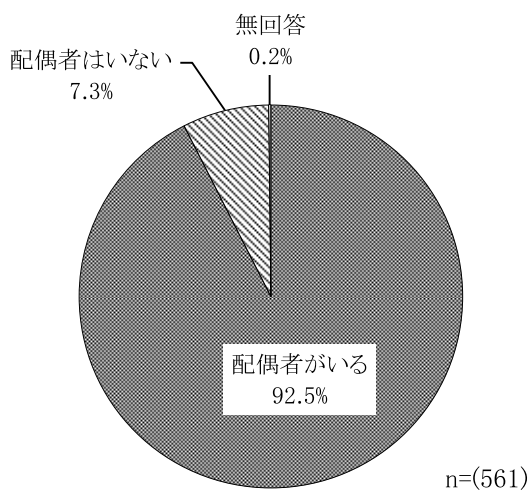
問6 この調査票にご回答いただいている方は、あて名のお子さんからみてどなたですか。（〇は1つ）



調査票にご回答いただいた方は、「母親」が86.6%で8割を超えて最も高い。次いで「父親」が12.3%となっている。

（7）調査票回答者の配偶者の有無

問7 この調査票にご回答いただいている方に、配偶者はいらっしゃいますか。（〇は1つ）

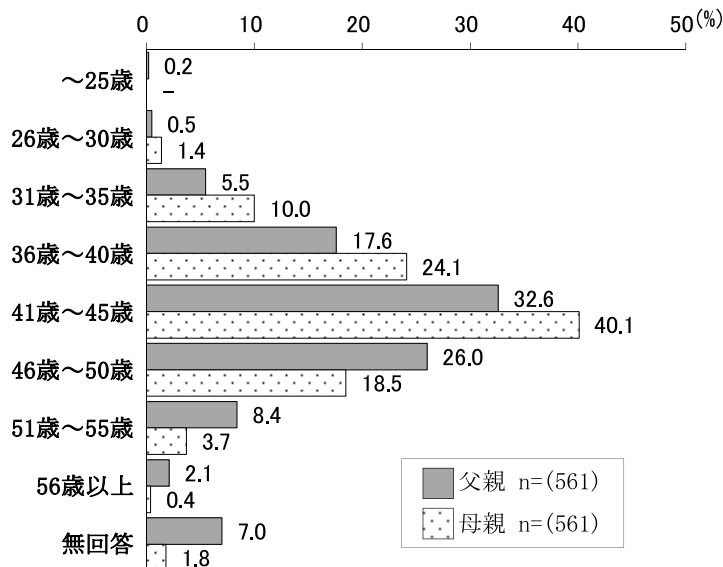


調査票回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる」が92.5%で9割を超えて高い。一方、「配偶者がいない」は7.3%となっている。

（8）父母の年齢

問8 父親、母親の年齢（平成30年4月1日現在の年齢）を伺います。該当する年齢層を選び記入してください。

※ひとり親家庭の場合は、養育している親の年齢のみ記入してください。

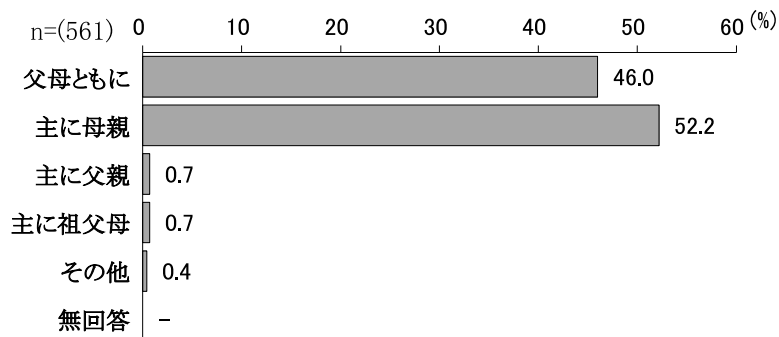


父親の年齢は「41歳～45歳」が32.6%で最も高く、次いで「46歳～50歳」が26.0%、「36歳～40歳」が17.6%となっている。

母親の年齢は、「41歳～45歳」が40.1%で最も高く、次いで「36歳～40歳」が24.1%、「46歳～50歳」が18.5%となっている。

（9）子育てを主に行っている人

問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、あて名のお子さんからみてどなたですか。（○は1つ）

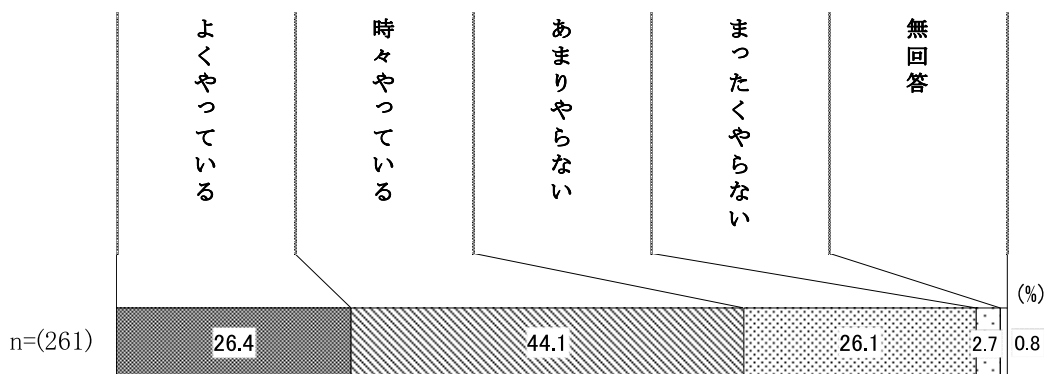


子育てを主に行っている方は、「主に母親」が52.2%で最も高く、次いで「父母ともに」が46.0%の順となっている。「主に父親」「主に祖父母」は0.7%となっている。

(10) 配偶者の子育て協力状況

【問9で「主に母親」または「主に父親」と回答された方に（ひとり親家庭の場合は回答不要）】

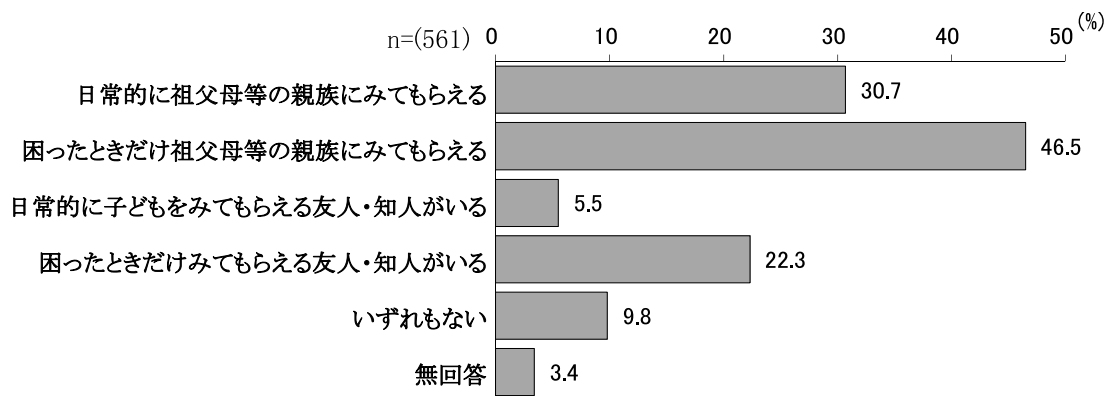
問9-1 その配偶者は、子育ての分担を協力して行っていますか。（○は1つ）



配偶者の子育ての協力状況は、「時々やっている」が44.1%で最も高く、次いで「よくやっている」が26.4%の順となっている。

(11) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

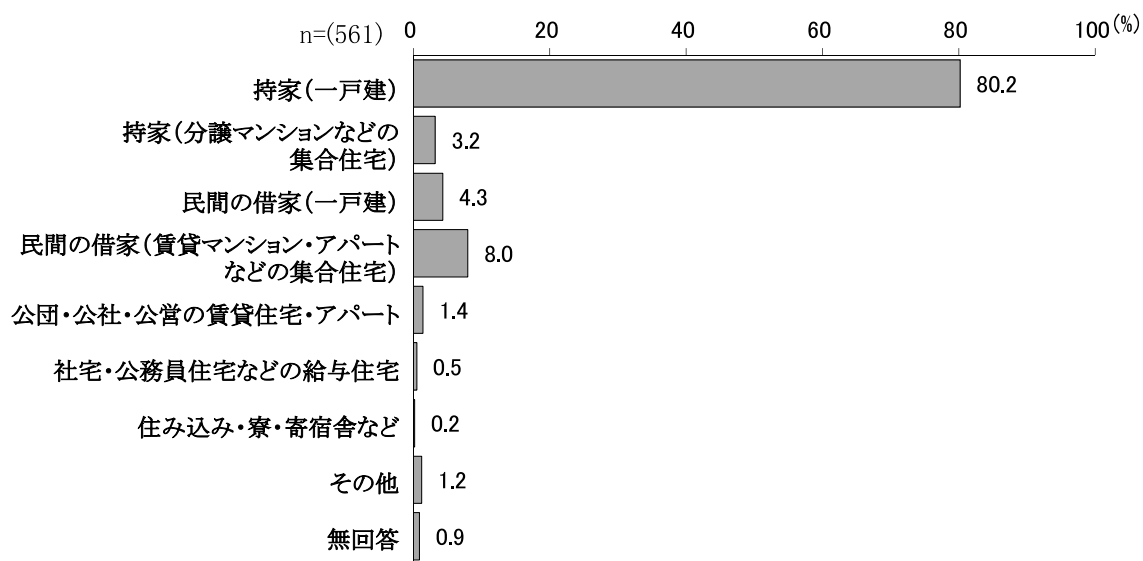
問10 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）



子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「困ったときだけ祖父母等の親族にみてもらえる」が46.5%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が30.7%の順となっている。

(12) 居住形態

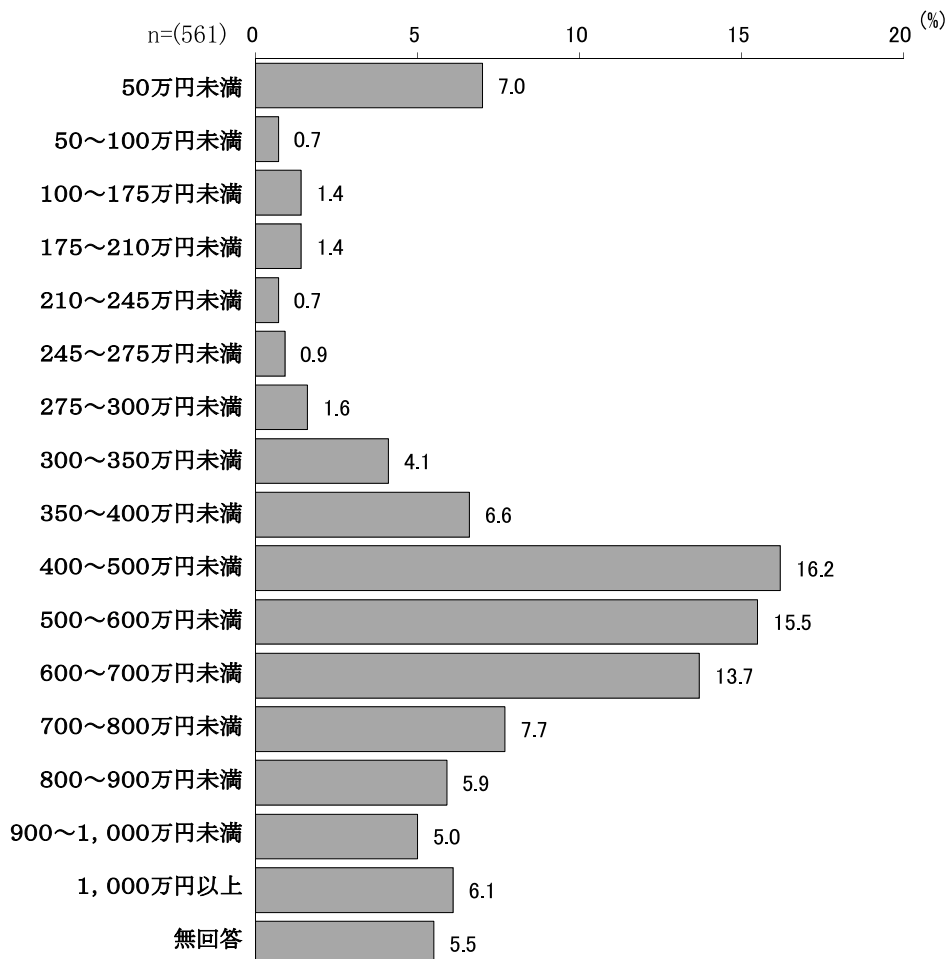
問11 現在のお住まいは、どれにあたりますか。（○は1つ）



居住形態は、「持家（一戸建）」が80.2%で最も高く、次いで「民間の借家（賃貸マンション・アパートなどの集合住宅）」が8.0%、「民間の借家（一戸建）」が4.3%となっている。

(13) 世帯合算の手取り収入

問12 世帯合算の手取り収入（税金や保険料を引いた、実際に手元に入ってくるお金）について伺います。（○は1つ）

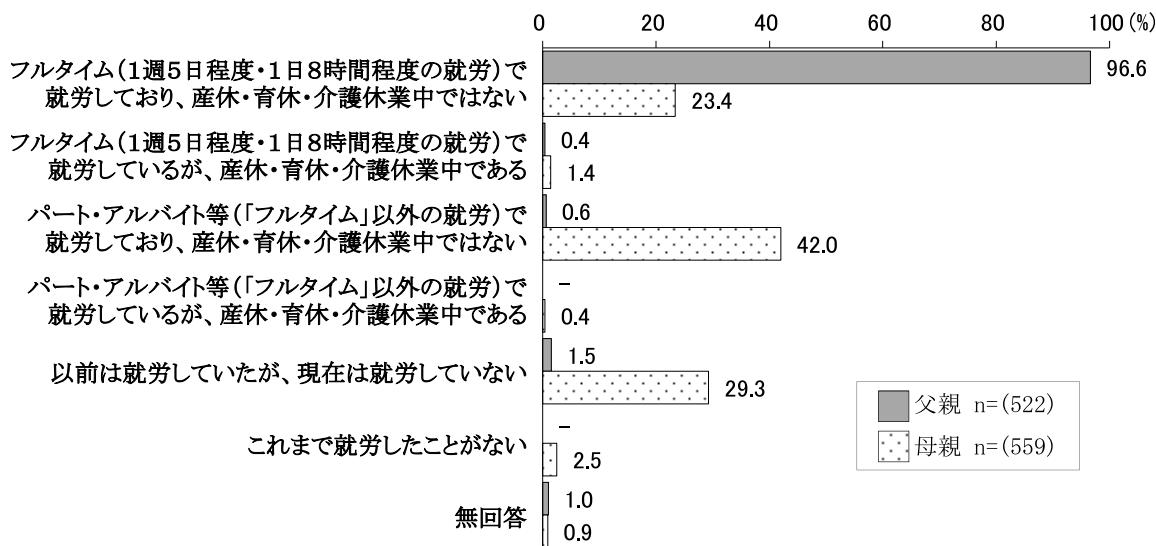


世帯合算の手取り収入は、「400～500万円未満」が16.2%で最も高く、次いで「500～600万円未満」が15.5%、「600～700万円未満」が13.7%となっている。

2. 保護者の就労状況について

（1）両親の就労状況等

問13 あて名のお子さんの父母のそれぞれの就労状況等は、どれにあたりますか。（自営業、家族従事者を含む）番号に○をつけてください。（それぞれ1つに○）



※選択肢中の「産休」は母親のみの設問項目である。

父親の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が96.6%で9割以上を占めている。また、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」と「これまで就労したことがない」は0%となっている。

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が42.0%で最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が29.3%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.4%となっている。

(2) 1週間当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間、通勤時間（片道）

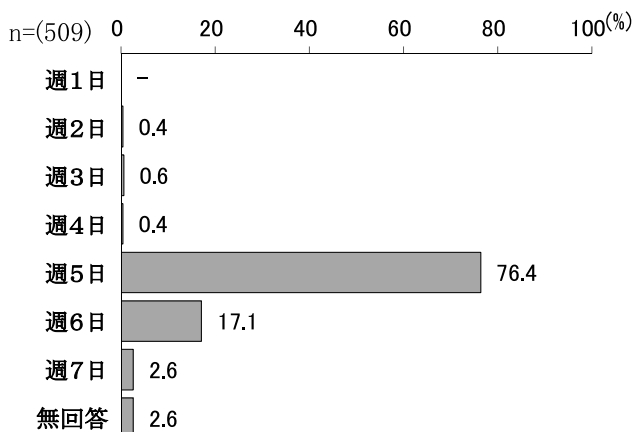
【問13で、「フルタイム」または「パート・アルバイト等」で就労していると回答された方に】

問13-1 「1週間当たりの就労日数」と「1日当たりの就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」「帰宅時間」「通勤時間（片道）」を記入してください。

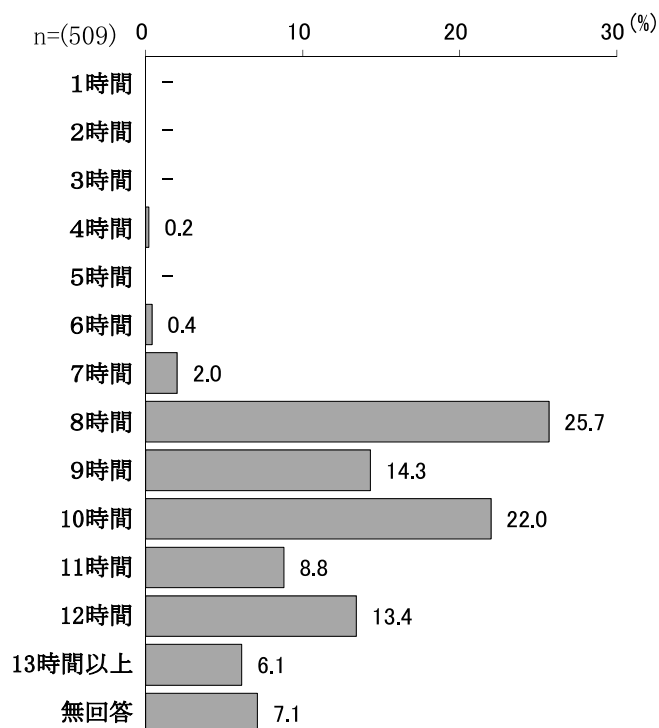
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

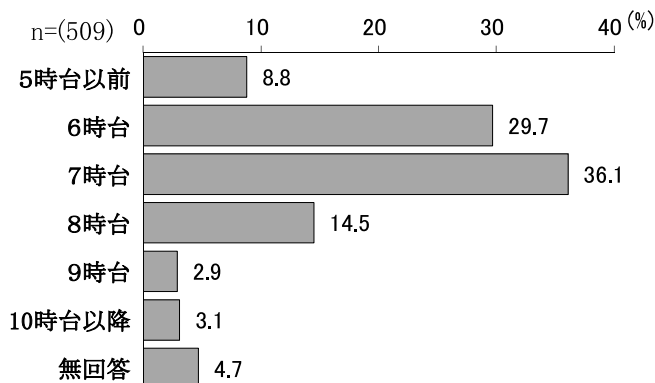
【父親の就労日数】



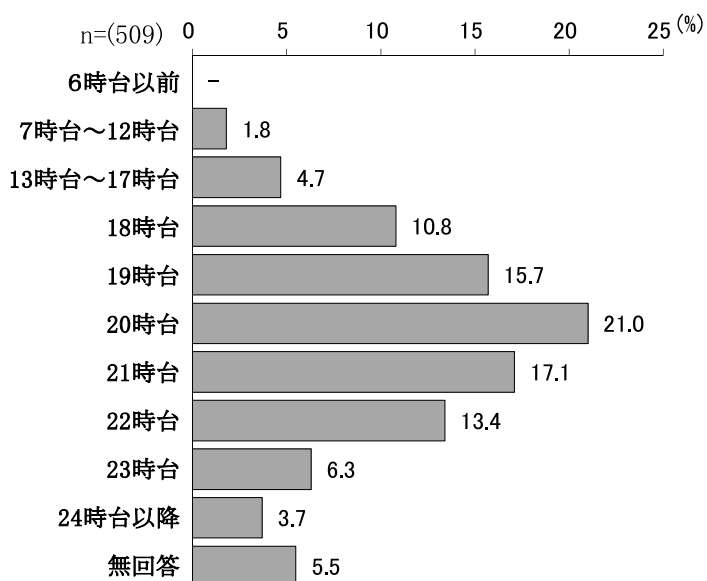
【父親の就労時間】



【父親の家を出る時間】

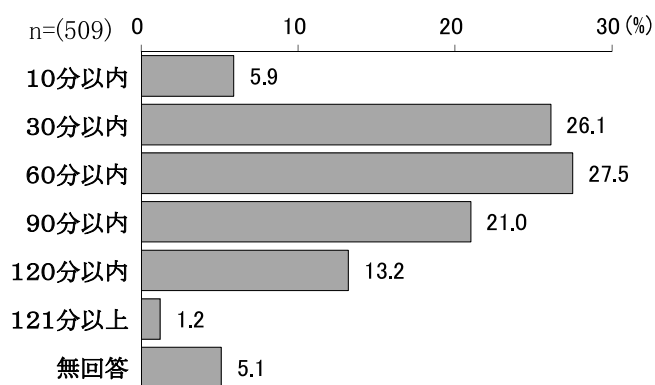


【父親の帰宅時間】



第3章 調査結果の詳細（小学生）

【父親の通勤時間（片道）】



父親の就労日数は、「週5日」が76.4%で最も高く、次いで「週6日」が17.1%となっている。

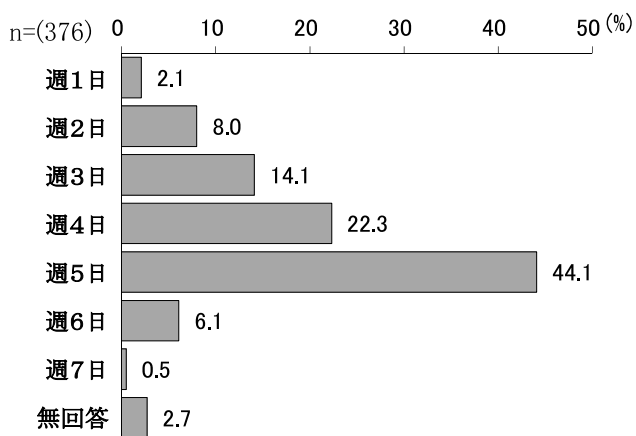
就労時間は、「8時間」が25.7%で最も高く、次いで「10時間」が22.0%、「9時間」が14.3%となっている。

家を出る時間は、「7時台」が36.1%で最も高く、次いで「6時台」が29.7%、「8時台」が14.5%となっている。

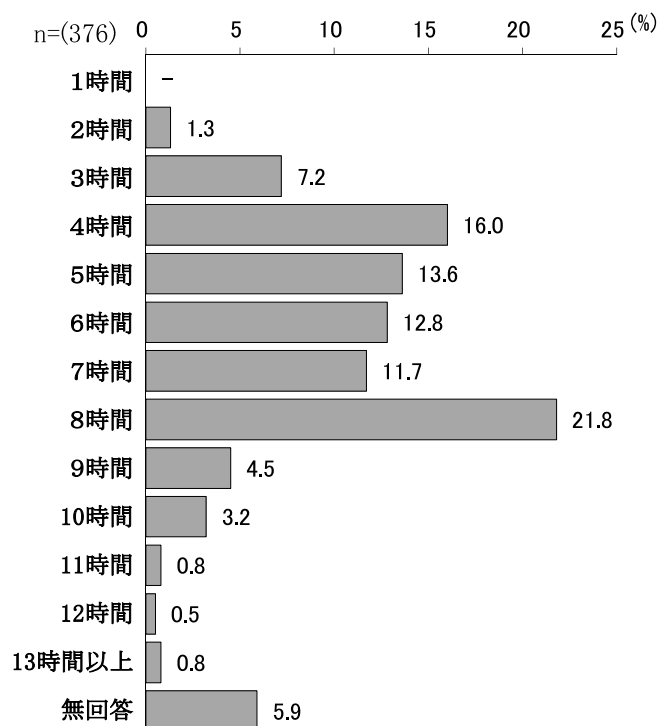
帰宅時間は、「20時台」が21.0%で最も高く、次いで「21時台」が17.1%、「19時台」が15.7%となっている。

通勤時間は、「60分以内」が27.5%で最も高く、次いで「30分以内」が26.1%、「90分以内」が21.0%となっている。

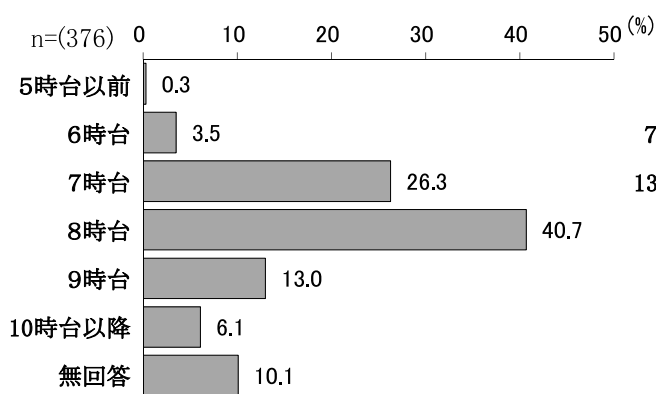
【母親の就労日数】



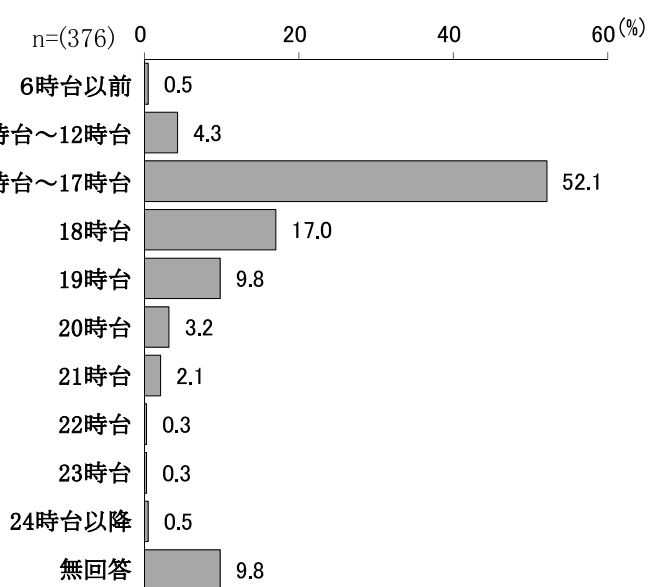
【母親の就労時間】



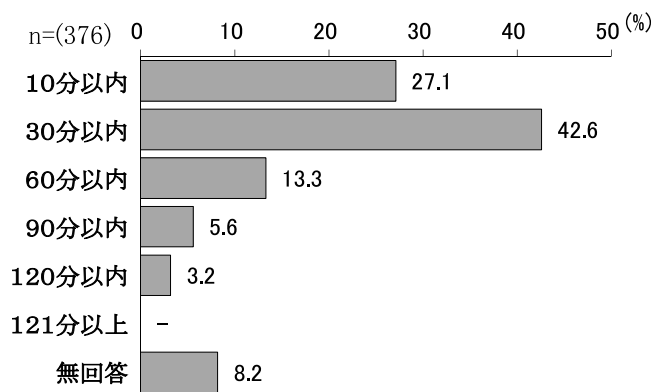
【母親の家を出る時間】



【母親の帰宅時間】



【母親の通勤時間（片道）】



母親の就労日数は、「週5日」が44.1%で最も高く、次いで「週4日」が22.3%となっている。

就労時間は、「8時間」が21.8%で最も高く、次いで「4時間」が16.0%、「5時間」が13.6%となっている。

家を出る時間は、「8時台」が40.7%で最も高く、次いで「7時台」が26.3%、「9時台」が13.0%となっている。

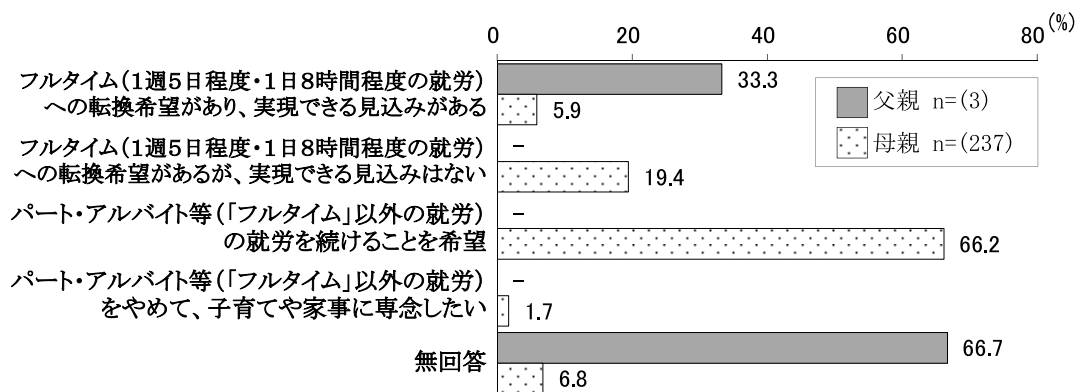
帰宅時間は、「13時台～17時台」が52.1%で最も高く、次いで「18時台」が17.0%となっている。

通勤時間は、「30分以内」が42.6%と最も高く、次いで「10分以内」が27.1%、「60分以内」が13.3%となっている。

(3) フルタイムへの転換希望

【問13で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している」と回答された方に】

問13-2 フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに○）



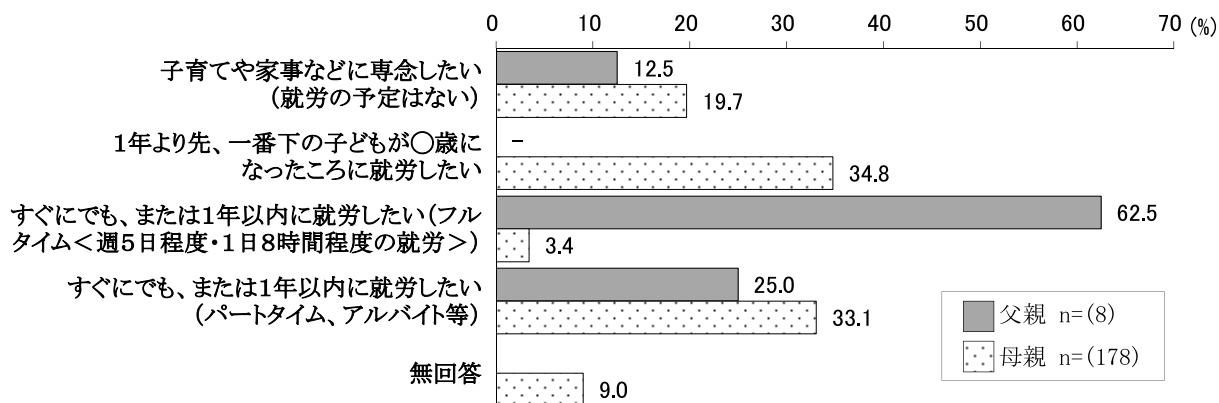
父親のフルタイムへの転換希望は、3名のうち1名のみの回答で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」となっている。

母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望」が66.2%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない」が19.4%となっている。

（4）就労希望

【問13で「就労していない」と回答された方に】

問13-3 就労希望はありますか。（それぞれ1つに○）

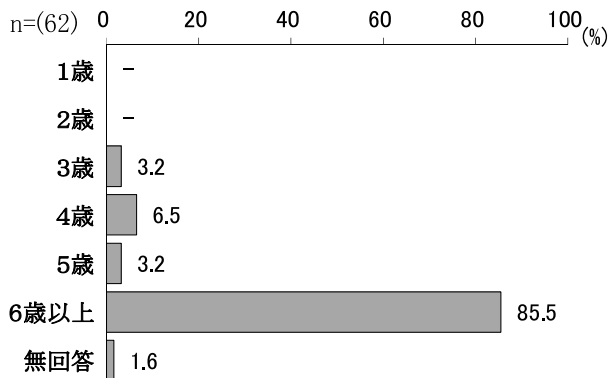


現在就労していない父親の就労希望は、「すぐにでも、または1年以内に就労したい（フルタイム<週5日程度・1日8時間程度の就労>）」が62.5%となっている。

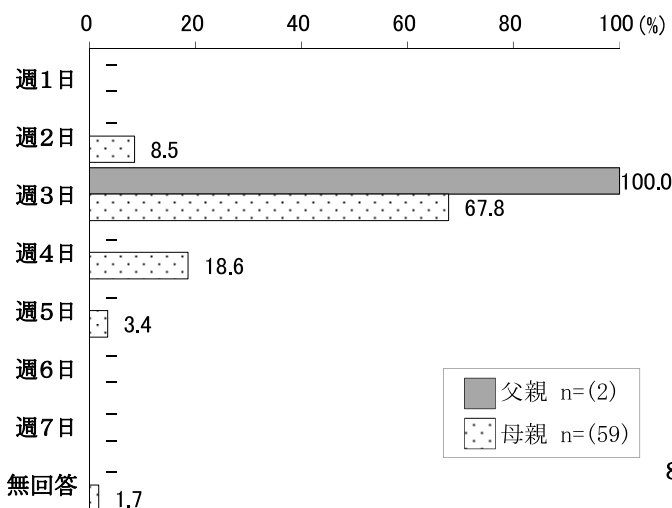
現在就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」が34.8%で最も高く、次いで「すぐにでも、または1年以内に就労したい（パートタイム・アルバイト等）」が33.1%となっている。

第3章 調査結果の詳細（小学生）

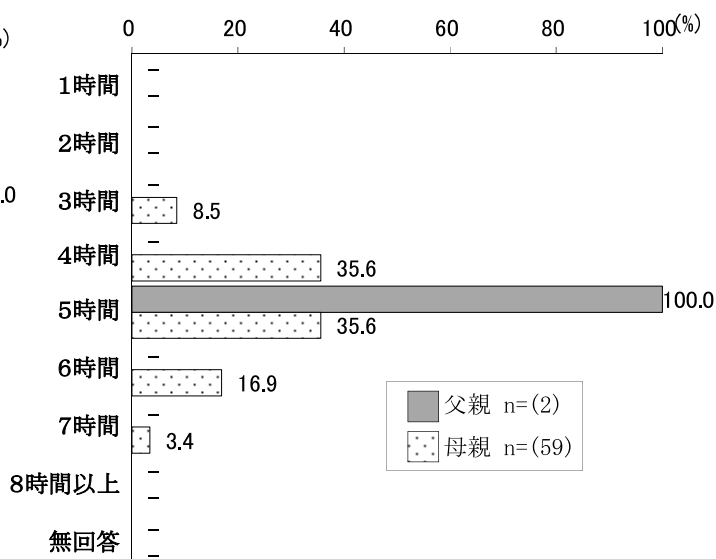
【母親 就労希望時期（末子の年齢）】



【就労したい日数】



【就労したい時間】



※「父親 就労希望時期（末子の年齢）」は回答者なしのため図を省略している。

母親が就労を希望する時期は、子どもが「6歳以上」になったらが85.5%でも最も高い。

父親がすぐにでも、または1年以内に就労したい（パートタイム、アルバイト等）日数は、回答した2名ともに「週3日」となっている。就労したい時間は、「5時間」に回答があった。

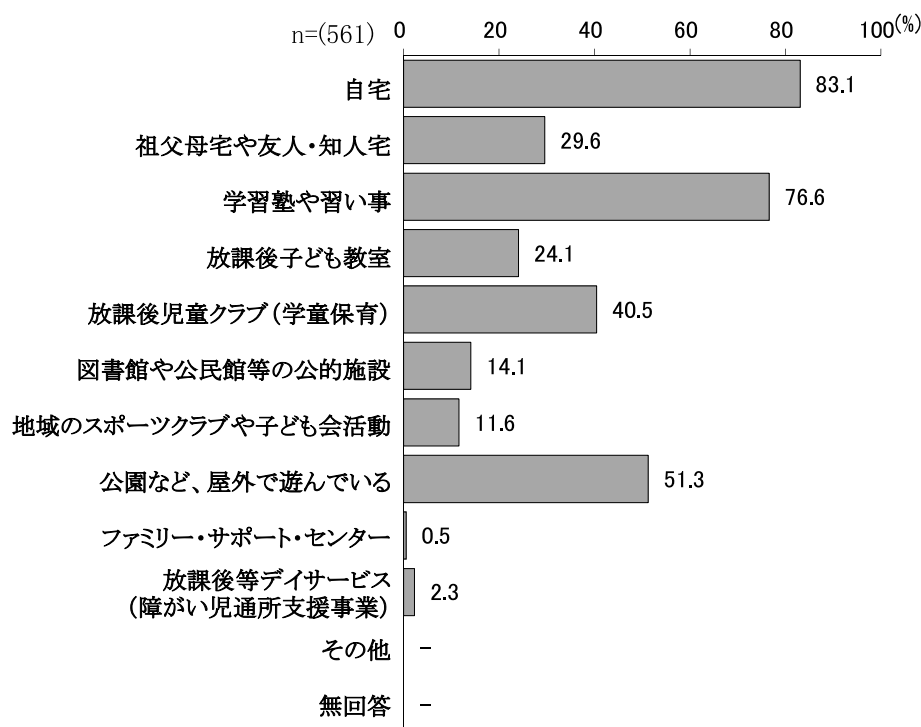
母親が就労したい日数は、「週3日」が67.8%で最も高く、次いで「週4日」が18.6%となっている。就労したい時間は、「4時間」「5時間」がともに35.6%で最も高く、次いで「6時間」が16.9%となっている。

3. 放課後の過ごし方について

（1）平日の放課後の子どもの居場所

問14 平日の放課後、あて名のお子さんは現在どのような場所で過ごさせていますか。また、希望としてはどのように過ごさせたいですか。現在の状況、希望をご記入ください。それぞれの内容ごとに1週間あたりの日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」については、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

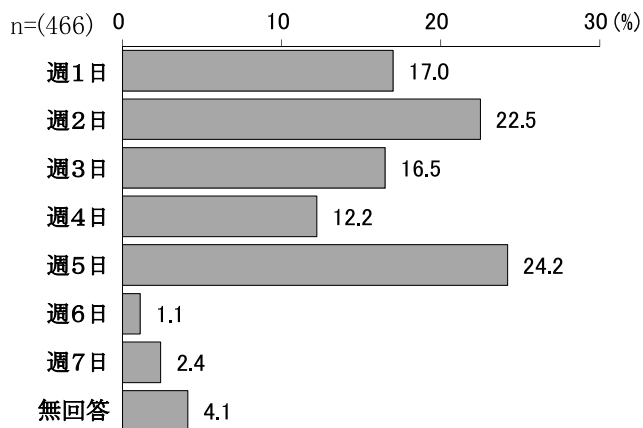
※なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する可能性があります。



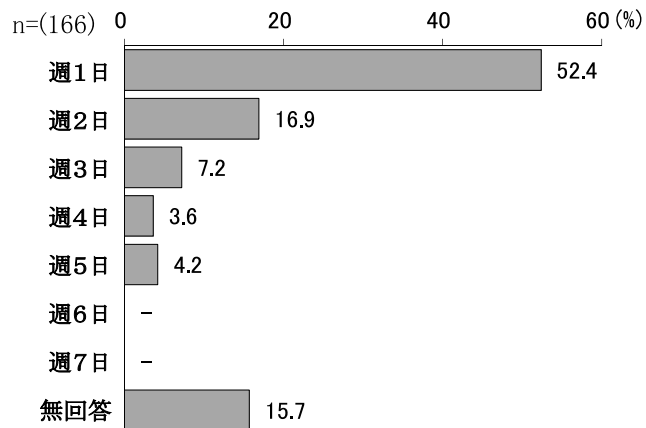
平日の放課後の子どもの居場所（「現在の状況」及び「希望」）は、「自宅」が83.1%と最も高く、次いで「学習塾や習い事」が76.6%、「公園など、屋外で遊んでいる」が51.3%となっている。

○現在の状況

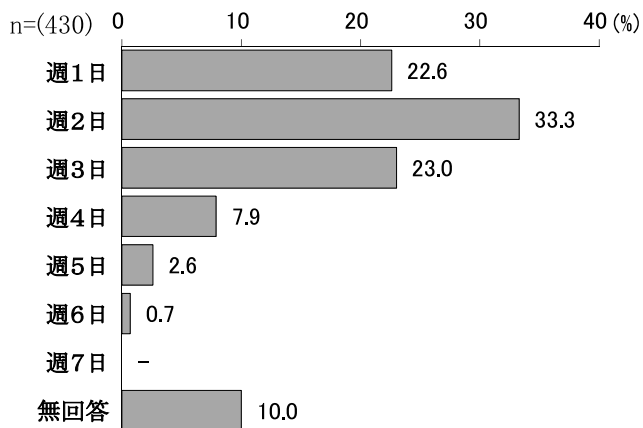
【自宅】



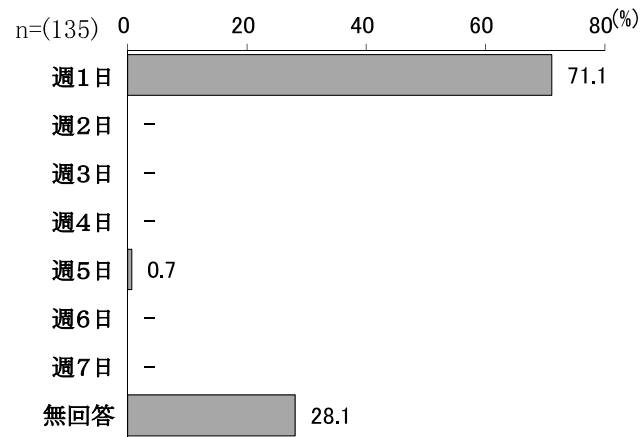
【祖父母宅や友人・知人宅】



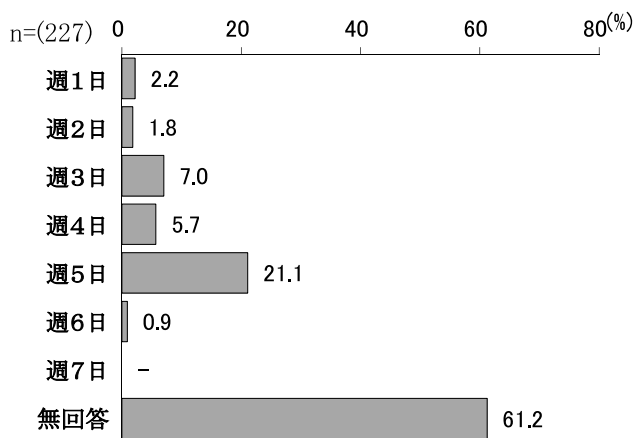
【学習塾や習い事】



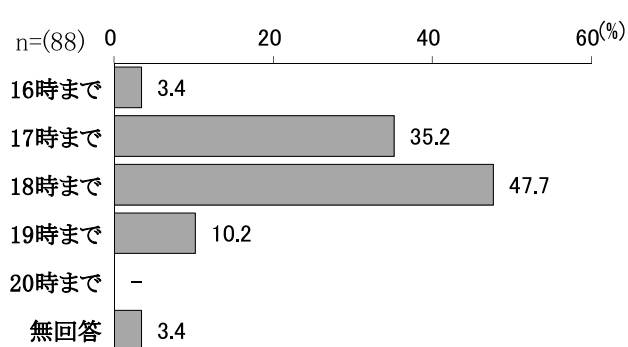
【放課後子ども教室】



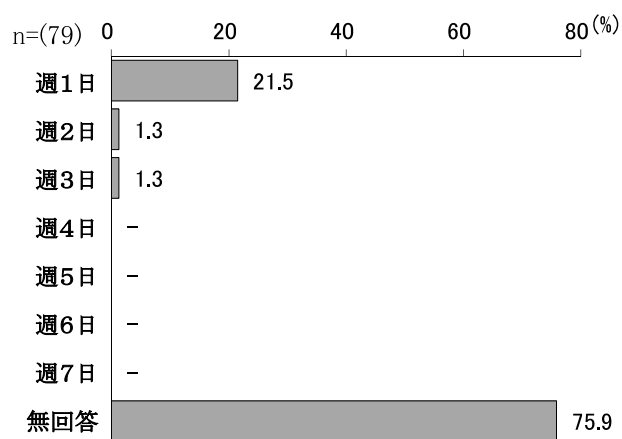
【放課後児童クラブ（学童保育）】



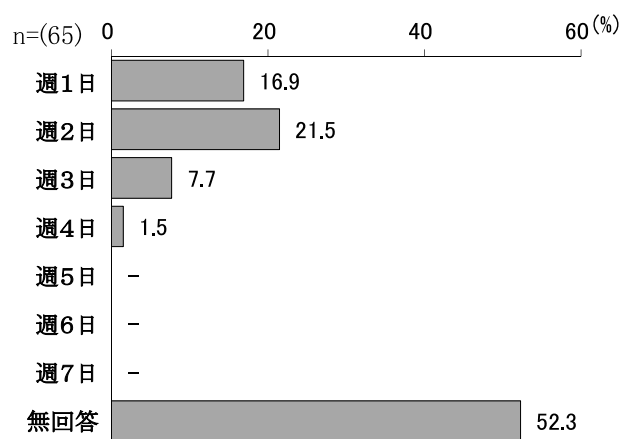
【放課後児童クラブ（下校時から）】



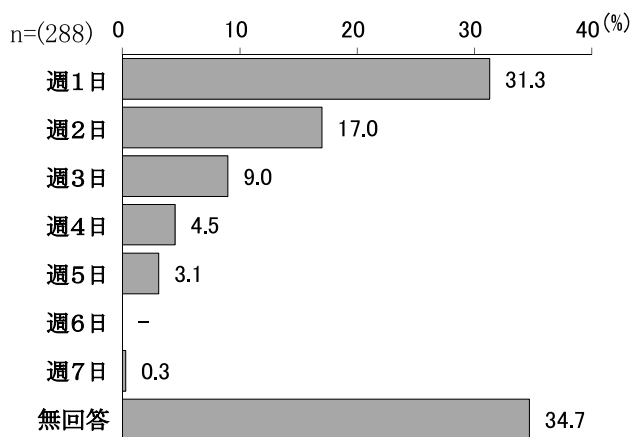
【図書館や公民館等の公的施設】



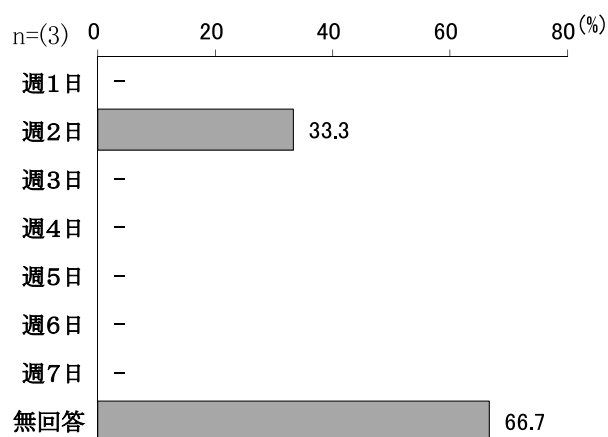
【地域のスポーツクラブや子ども会活動】



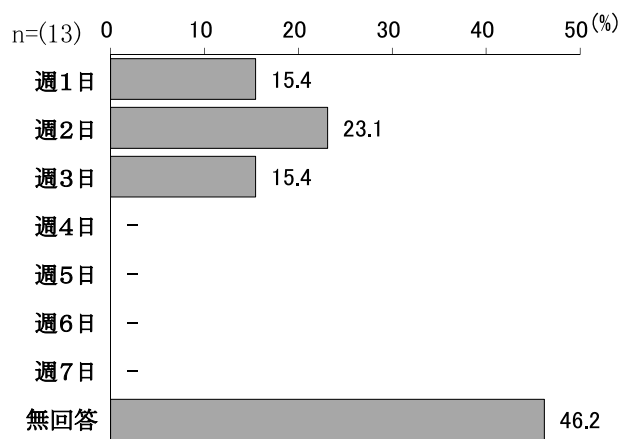
【公園など、屋外で遊んでいる】



【ファミリー・サポート・センター】



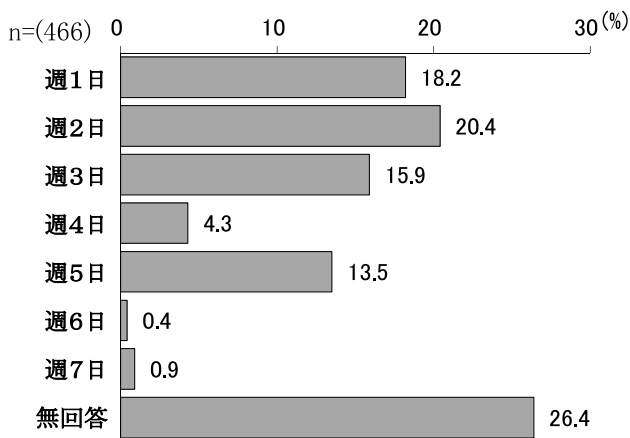
【放課後等デイサービス（障がい児通所支援事業）】



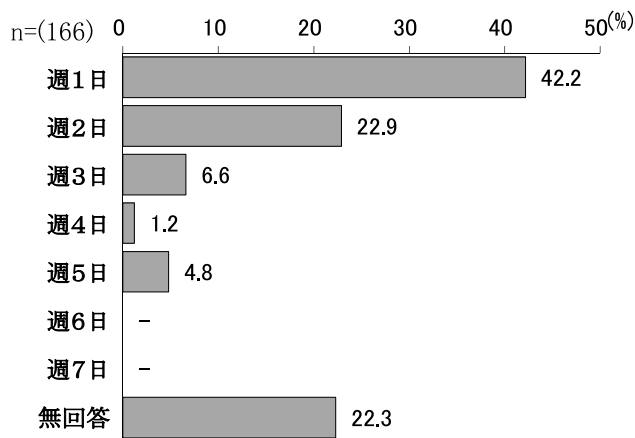
※「その他」は回答者なしのため図を省略している。

○希望

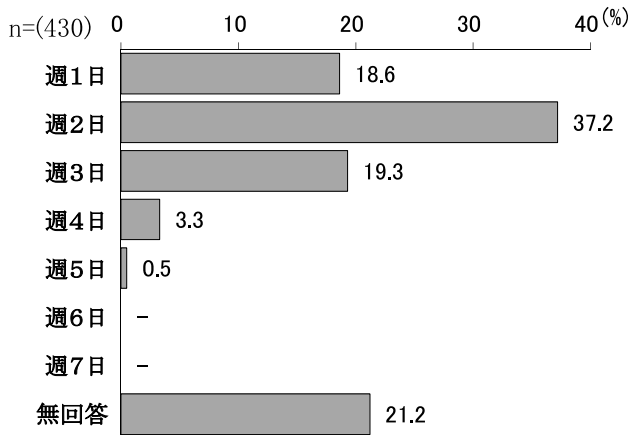
【自宅】



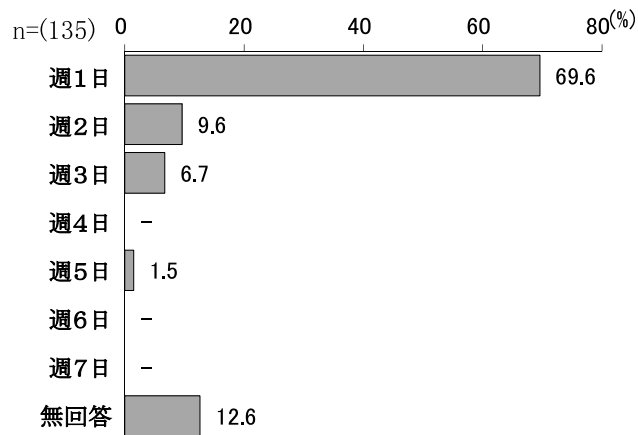
【祖父母宅や友人・知人宅】



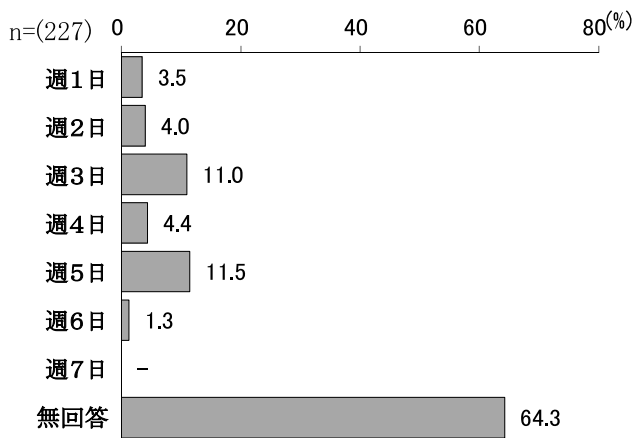
【学習塾や習い事】



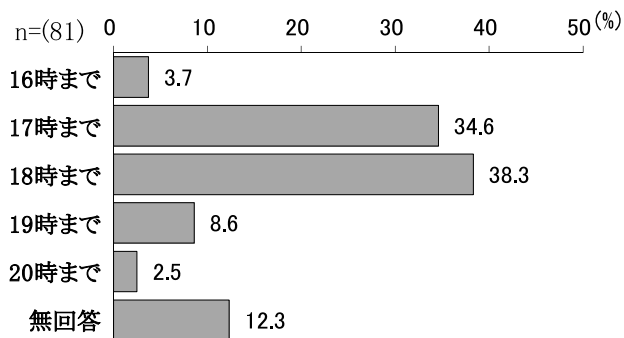
【放課後子ども教室】



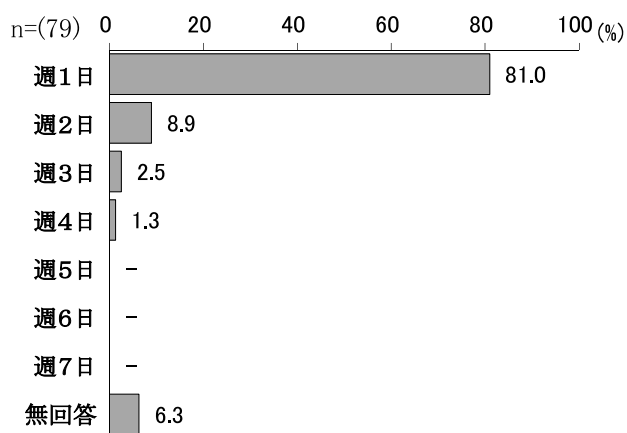
【放課後児童クラブ（学童保育）】



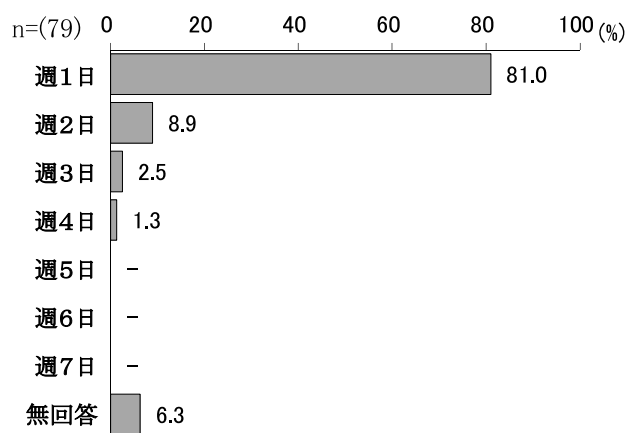
【放課後児童クラブ（下校時から）】



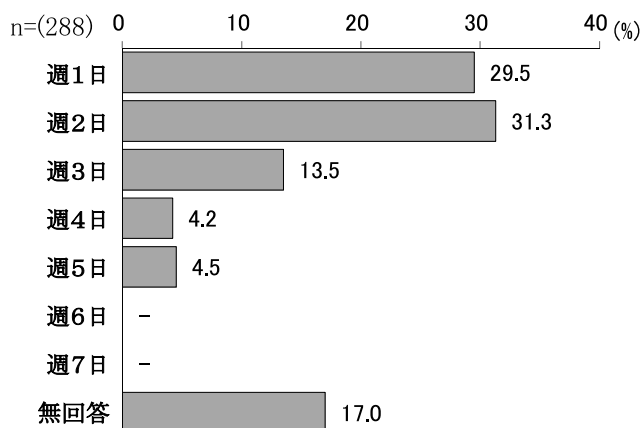
【図書館や公民館等の公的施設】



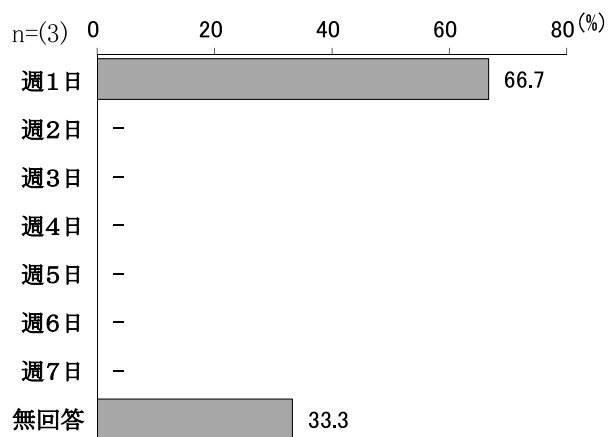
【地域のスポーツクラブや子ども会活動】



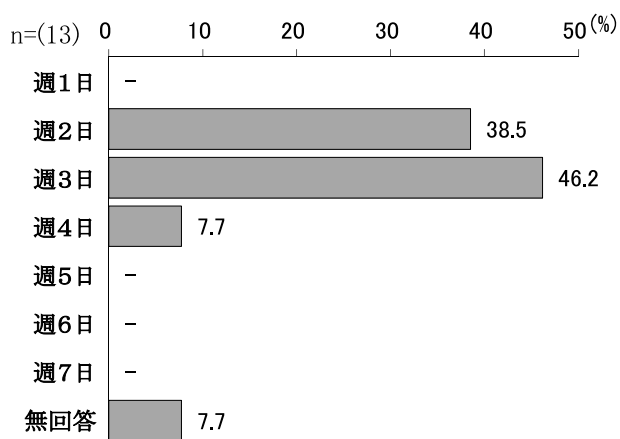
【公園など、屋外で遊んでいる】



【ファミリー・サポート・センター】



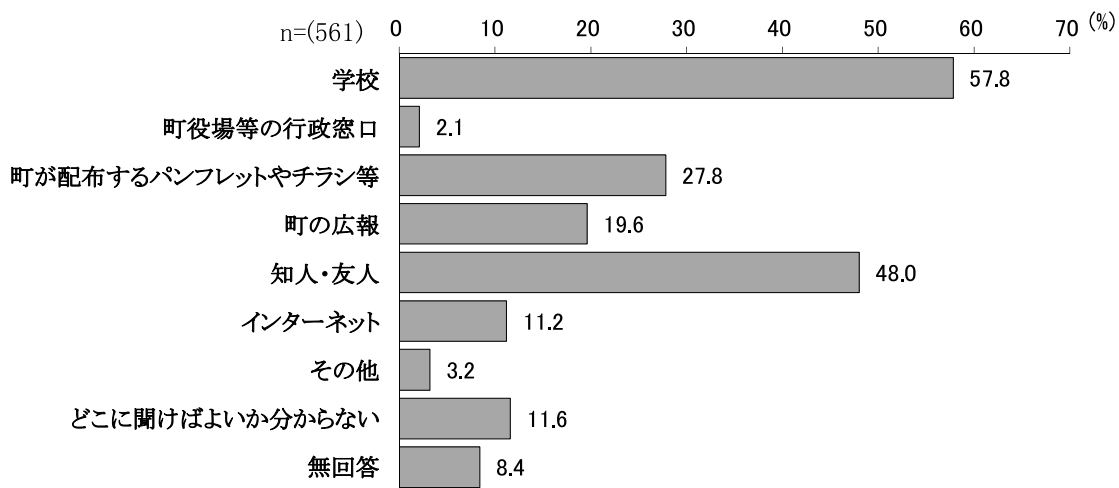
【放課後等デイサービス（障がい児通所支援事業）】



※「その他」は回答者なしのため図を省略している。

（2）放課後の過ごし方に関する情報の入手先

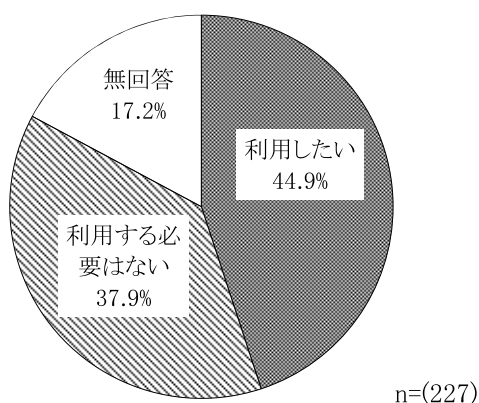
問14-1 放課後の過ごし方に関する情報を、どこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）



放課後の過ごし方に関する情報の入手先は、「学校」が57.8%で最も高く、次いで「知人・友人」が48.0%となっている。一方、「どこに聞けばよいか分からない」が11.6%となっている。

（3）小学校卒業までの放課後児童クラブ（学童保育）利用希望

【問14で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答された方に】
 問14-2 お子さんについて、小学校卒業まで放課後児童クラブ（学童保育）を利用できるとすれば利用したいですか。（○は1つ）

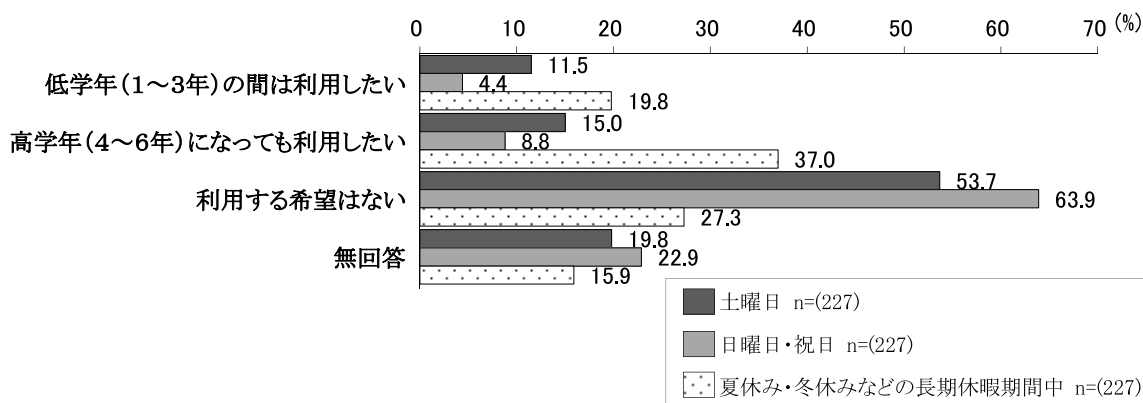


小学校卒業までの放課後児童クラブ（学童保育）利用希望は、「利用したい」が44.9%で高く、「利用する必要はない」は37.9%となっている。

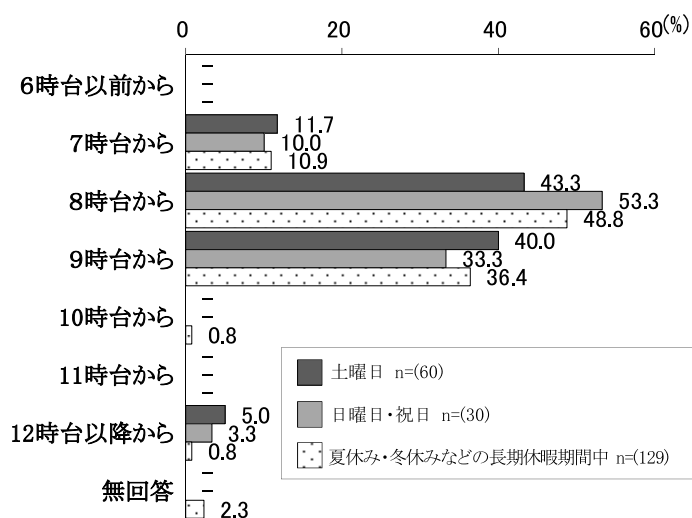
（4）土日祝日、長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

【問14で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答された方に】

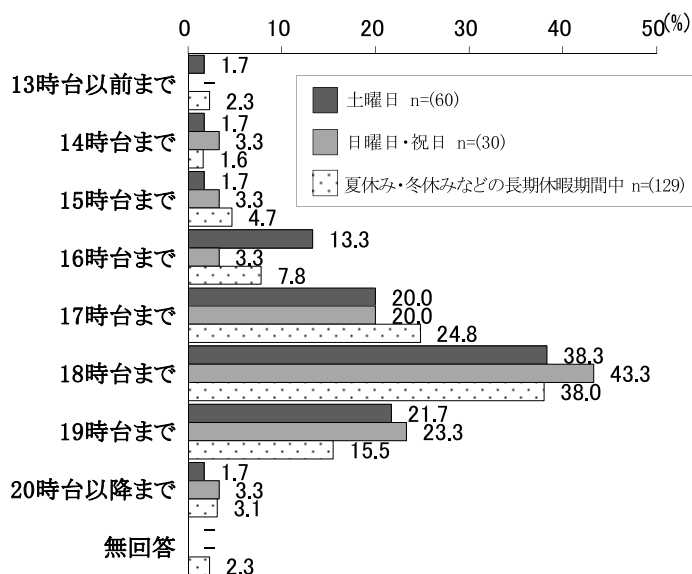
問14-3 土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中のそれぞれあてはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯を数字でご記入ください。（例：09時～18時まで）



【利用希望開始時間】



【利用希望終了時間】



土曜日や日曜日・祝日、長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は土曜日、日曜日・祝日で「利用する希望はない」が5割を超えて最も高くなっている。

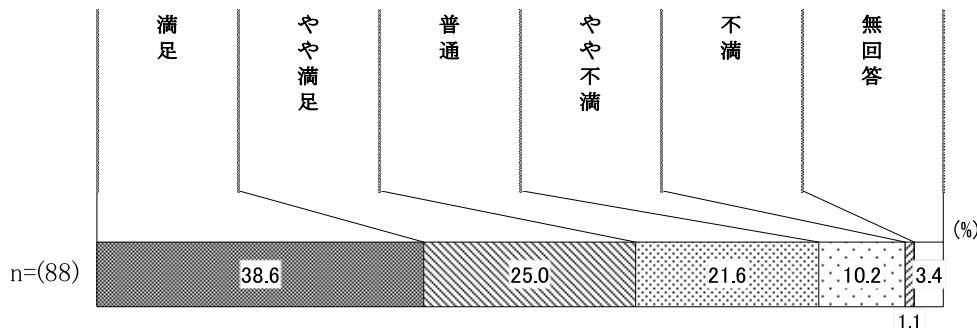
夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中は、「高学年（4～6年）になっても利用したい」が37.0%で最も高くなっている。

土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の利用希望開始時間とともに「8時台から」が4割を超え最も高く、利用希望終了時間についてもともに「18時台」が3割を超えて最も高くなっている。

（5）保護者視点での放課後児童クラブ（学童保育）の満足度

【問14で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答された方に】

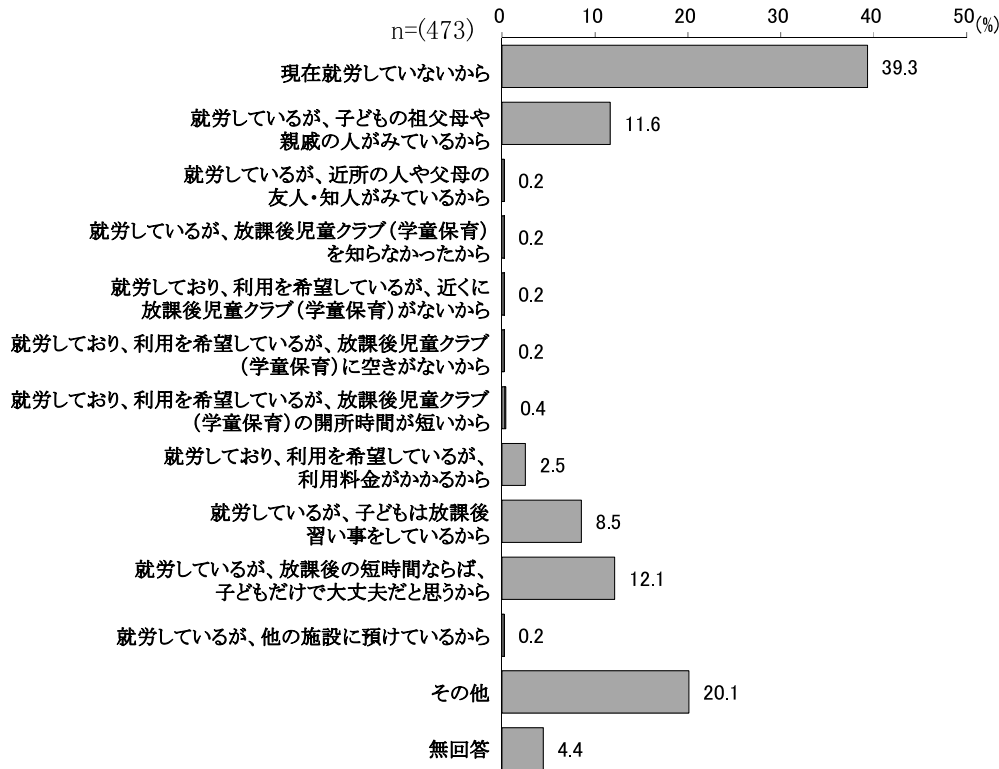
問14-4 放課後児童クラブ（学童保育）を利用して、保護者から見て満足していますか。
（○は1つ）



放課後児童クラブ（学童保育）の満足度は、「満足」が38.6%と最も高く、次いで「やや満足」が25.0%となっている。一方、「やや不満」が10.2%、「不満」が1.1%と不満を感じている方は低い傾向にある。

（6）放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない理由

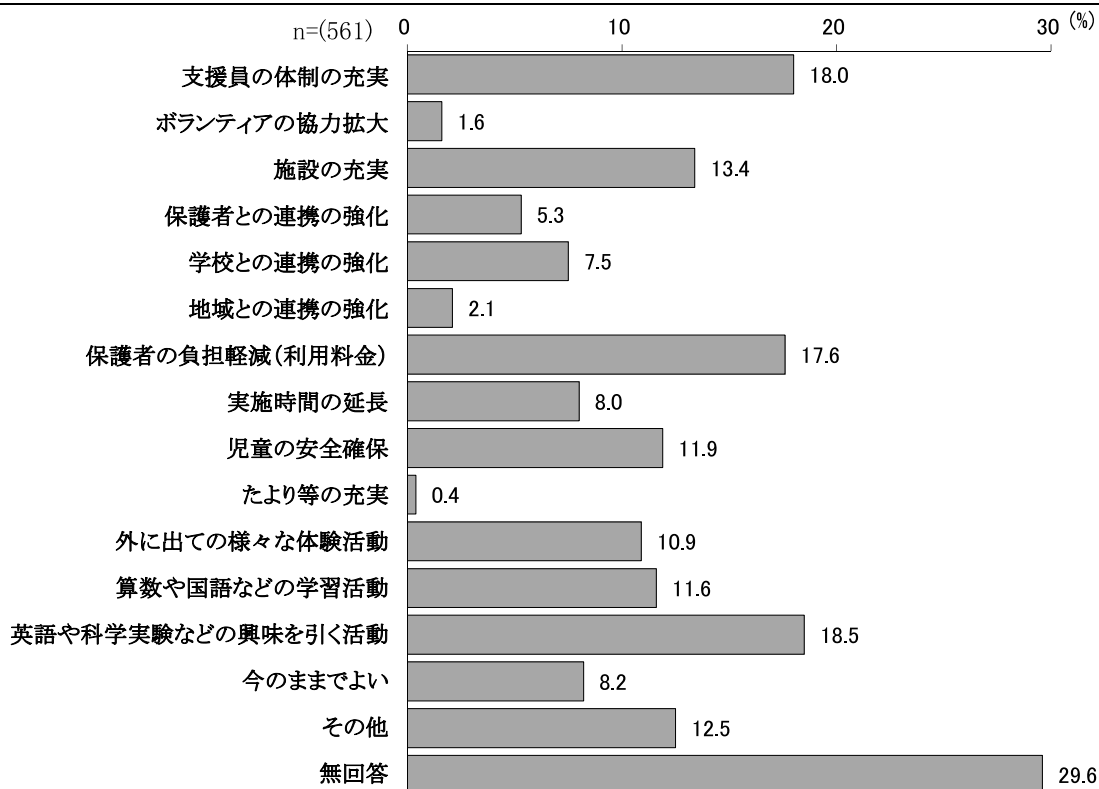
問15 「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用していない方に伺います。これらの事業を利用しない理由は以下のうちどれですか。（○は1つ）
（問14の「放課後児童クラブ（学童保育）」にお答えの方は問16にお進みください。）



放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない理由は、「現在就労していないから」が39.3%で最も高く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけで大丈夫だと思うから」が12.1%、「就労しているが、子どもの祖父母や親戚の人がみているから」が11.6%となっている。

（7）放課後児童クラブ（学童保育）に望むこと

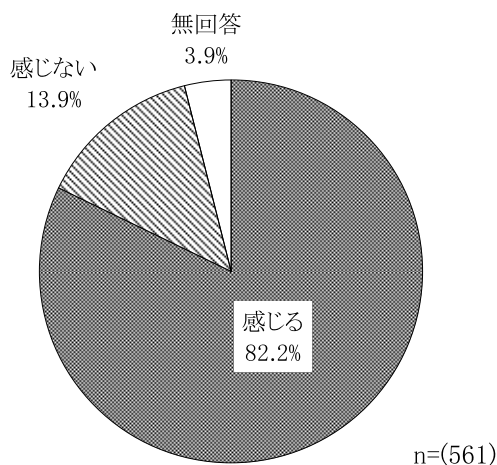
問16 放課後児童クラブ（学童保育）に今後望むことは何ですか（3つまで○）



放課後児童クラブ（学童保育）に今後望むことは、「英語や科学実験などの興味を引く活動」が18.5%で最も高く、次いで「支援員の体制の充実」が18.0%、「保護者の負担軽減（利用料金）」が17.6%となっている。

（8）小学生の子どもが自宅で1人、または、きょうだいのみで過ごすことへの不安

問17 小学生の子どもが家で1人、または、きょうだいのみで過ごすことに不安を感じますか。（○は1つ）



小学生の子どもが自宅で1人またはきょうだいのみで過ごすことへの不安は、「感じる」が82.2%で8割を超えている。一方、「感じない」は13.9%となっている。

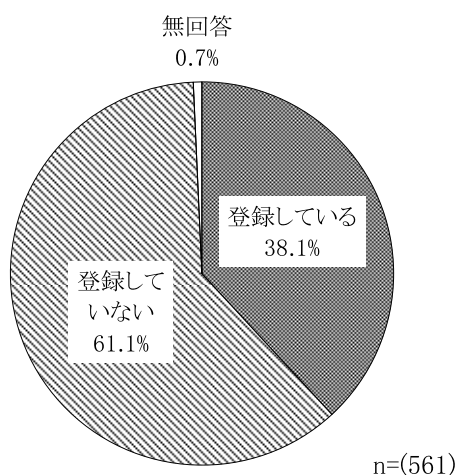
4. 放課後子ども教室について

放課後子ども教室とは、

地域の方々の協力を得て、放課後等に子どもたちの遊び場（居場所）の確保を目的とし、保護者の就労の有無に関わらず利用することができます。利用には、事前登録と年間登録料（保険料）がかかります。大磯町では、原則毎週水曜日（給食の有る日）に実施しています。自由遊びが原則ですが、ボランティアの協力や大学との提携等により、各種イベントを開催しております。

（1）放課後子ども教室への登録状況

問18 放課後子ども教室に登録をしていますか。（〇は1つ）

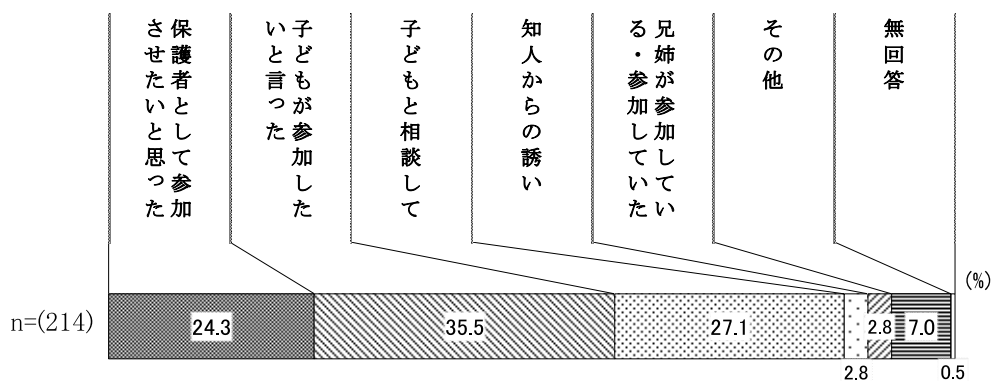


放課後子ども教室への登録状況は、「登録していない」が61.1%で6割を超え高く、「登録している」は38.1%となっている。

（2）放課後子ども教室への登録理由

【問18で「登録している」と回答された方に】

問18-1 ① 放課後子ども教室に登録をした理由は何ですか。（〇は1つ）

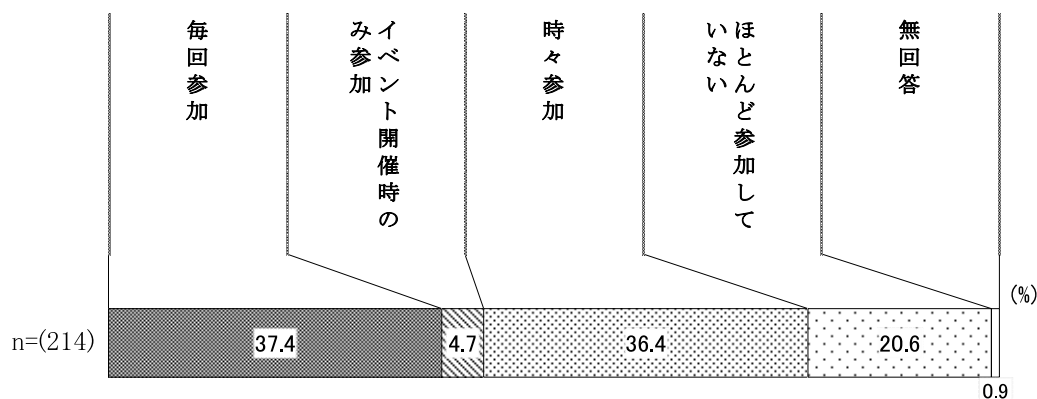


放課後子ども教室への登録理由は、「子どもが参加したいと言った」が35.5%で最も高く、次いで「子どもと相談して」が27.1%、「保護者として参加させたいと思った」が24.3%となっている。

（3）放課後子ども教室への参加状況

【問18で「登録している」と回答された方に】

② 放課後子ども教室には、どのくらい参加していますか。（〇は1つ）

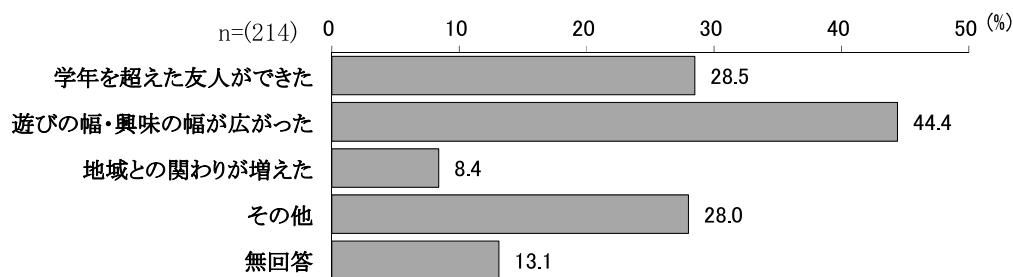


放課後子ども教室への参加状況は、「毎回参加」が37.4%、「時々参加」が36.4%でともに3割を超えている。

（4）放課後子ども教室に登録してよかったこと

【問18で「登録している」と回答された方に】

③ 放課後子ども教室に参加してよかったことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

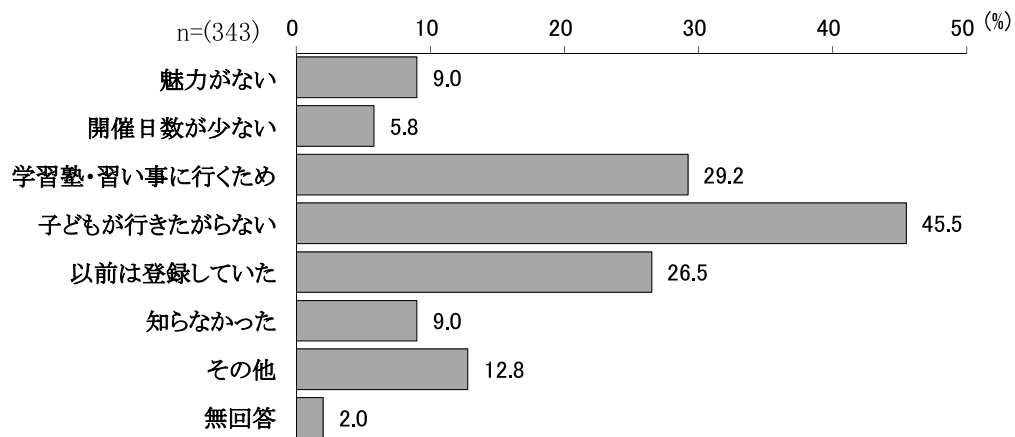


放課後子ども教室に登録してよかったことは、「遊びの幅・興味の幅が広がった」が44.4%で最も高く、次いで「学年を超えた友人ができた」が28.5%となっている。

（5）放課後子ども教室に登録していない理由

【問18で「登録していない」と回答された方に】

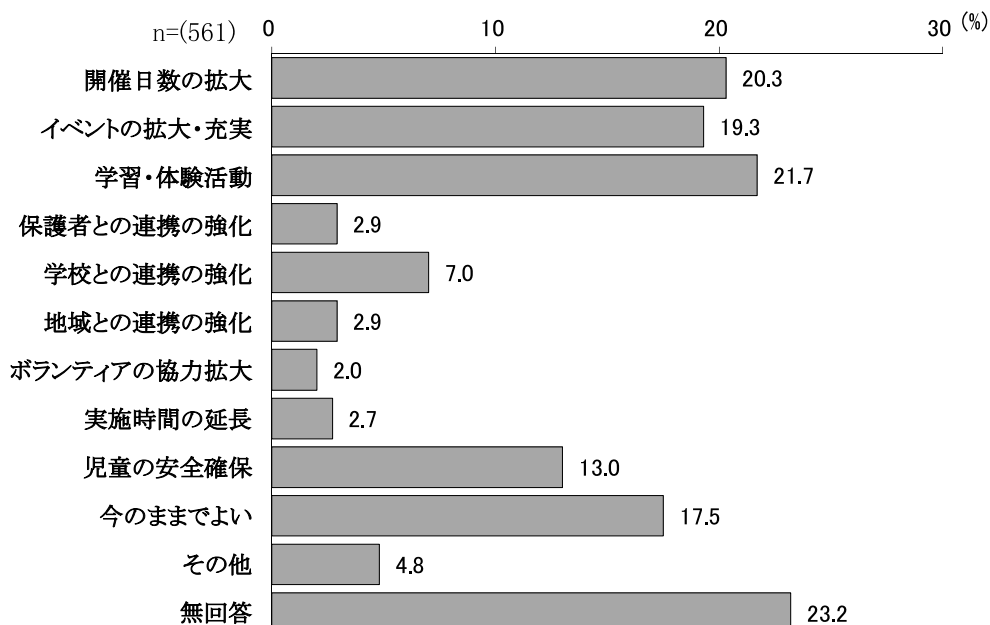
問18-2 登録をしなかった理由は何ですか。（○は2つまで）



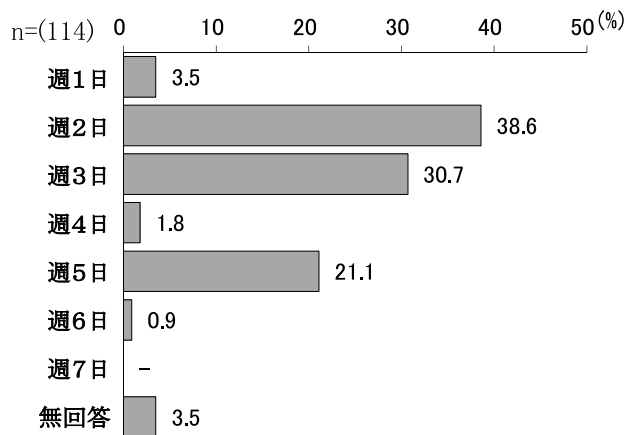
放課後子ども教室に登録していない理由は、「子どもが行きたがらない」が45.5%で最も高く、次いで「学習塾・習い事に行くため」が29.2%、「以前は登録していた」が26.5%となっている。

（6）今後の放課後子ども教室に望むこと

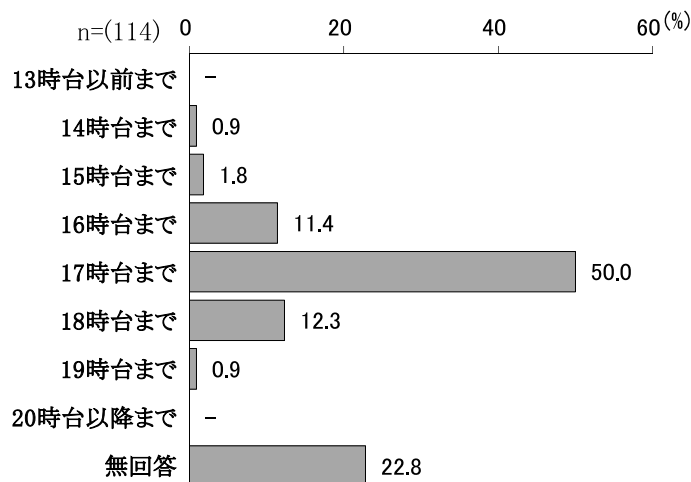
問19 今後の放課後子ども教室に望むことは何ですか。（○は2つまで、枠内には数字を記入）



【開催日数の拡大希望（日数）】



【開催日数の拡大希望（時間）】



今後の放課後子ども教室に望むことは、「学習・体験活動」が21.7%と「開催日数の拡大」が20.3%で2割を超えている。一方、「今のままでよい」は17.5%となっている。

開催日数の拡大希望について日数は、「週2回」が38.6%で最も高くなっており、時間は「17時台まで」が50.0%で最も高くなっている。

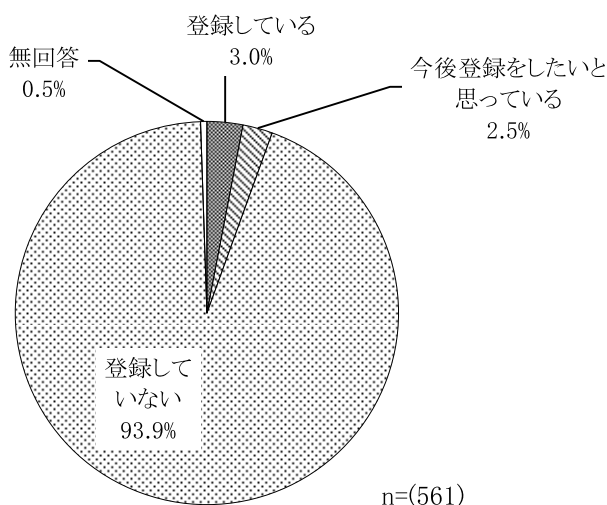
5. 朝の子どもの居場所づくりについて

朝の子どもの居場所づくり事業とは、

地域のボランティア等の協力のもと、小学校の始業前（7：15～8：15）に学童施設を利用して子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる居場所を設け、保護者の就労の有無に関わらず、全ての小学生が利用することができる事業です。（利用には、事前登録と登録保険料が必要です。また、利用の際は、保護者が実施場所に送り届ける必要があります。）

（1）朝の子どもの居場所づくりへの登録状況

問20 朝の子どもの居場所づくりに登録をしていますか。（○は1つ）

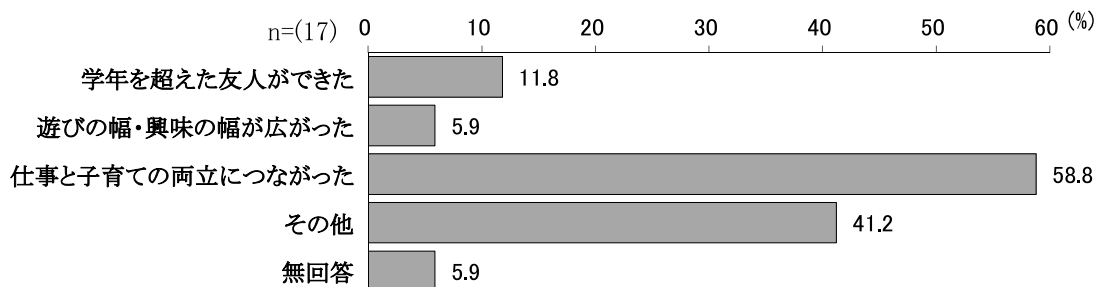


朝の子どもの居場所づくりへの登録状況は、「登録していない」が93.9%で9割を超えている。一方「登録している」は3.0%、「今後登録をしたいと思っている」は2.5%で1割に満たない。

（2）朝の子どもの居場所づくりを利用してよかったこと

【問20で「登録している」と回答された方に】

問20-1 朝の子どもの居場所づくりを利用してよかったことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

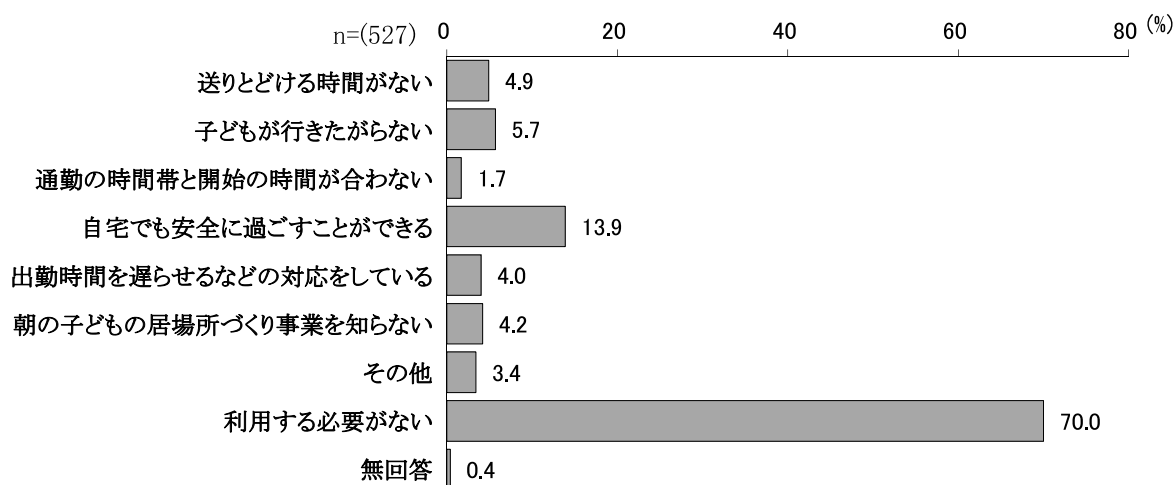


朝の子どもの居場所づくりを利用してよかったことは、「仕事と子育ての両立につながった」が58.8%で最も高く、次いで「学年を超えた友人ができた」が11.8%となっている。

（3）朝の子どもの居場所づくりに登録していない理由

【問20で「登録していない」と回答された方に】

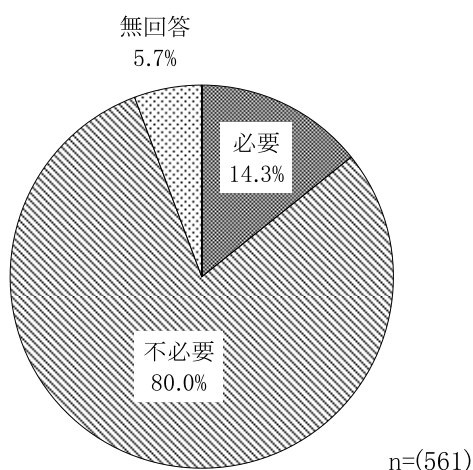
問20-2 登録していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



朝の子どもの居場所づくりに登録していない理由は、「自宅でも安全に過ごすことができる」が13.9%で高く、次いで「子どもが行きたがらない」が5.7%となっている。一方、「利用する必要がある」が70.0%で7割となっている。

（4）「朝の子どもの居場所」の需要

問21 あて名のお子さんにとって「朝の子どもの居場所」は必要であると思いますか。（○は1つ）



「朝の子どもの居場所」は必要かは、「不必要」が80.0%と高くなっている。一方、「必要」は14.3%となっている。

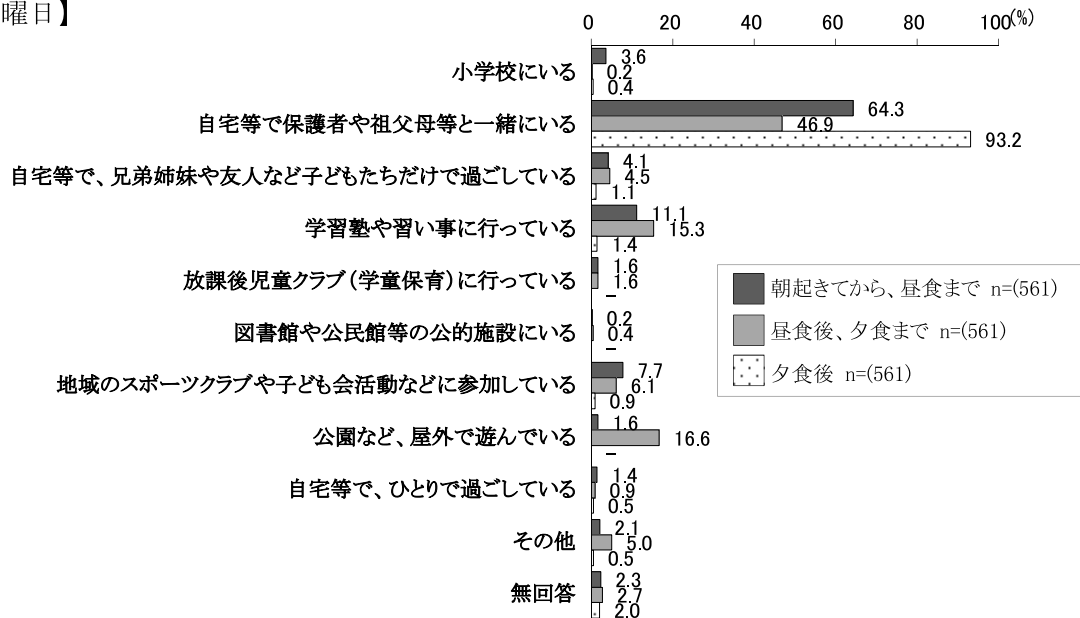
6. 土曜日・休日や長期休暇中の過ごし方について

（1）子どもの土曜日や休日の過ごし方

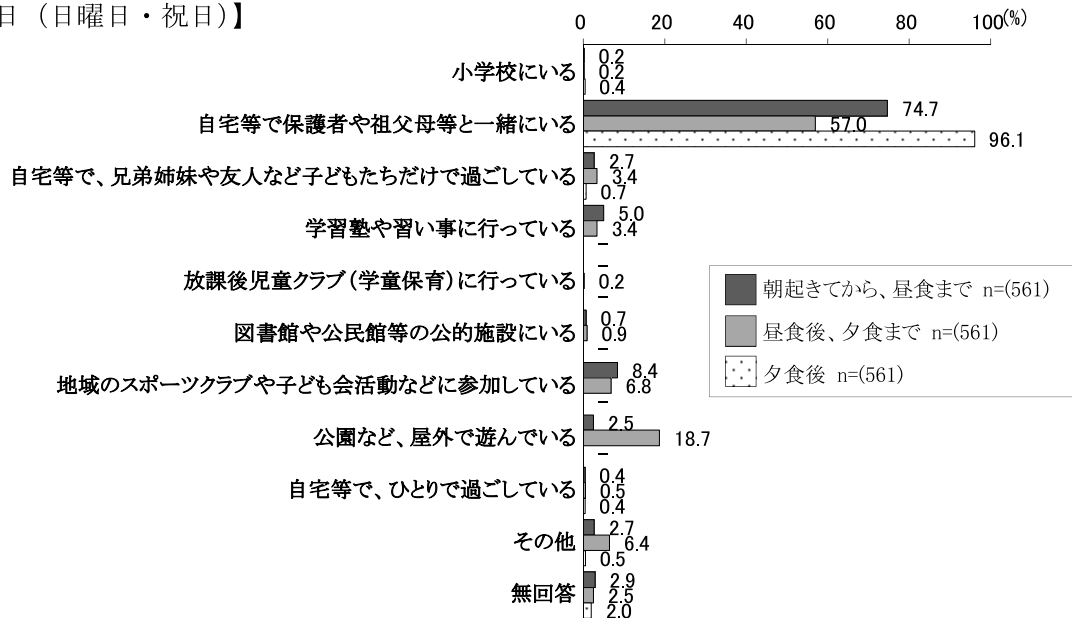
問22 学校が休みの土曜日や休日（日曜日・祝日）、あて名のお子さんは、どのように過ごしていますか。

※時間帯ごとに一番多い過ごし方を1つずつ記入してください。

【土曜日】



【休日（日曜日・祝日）】



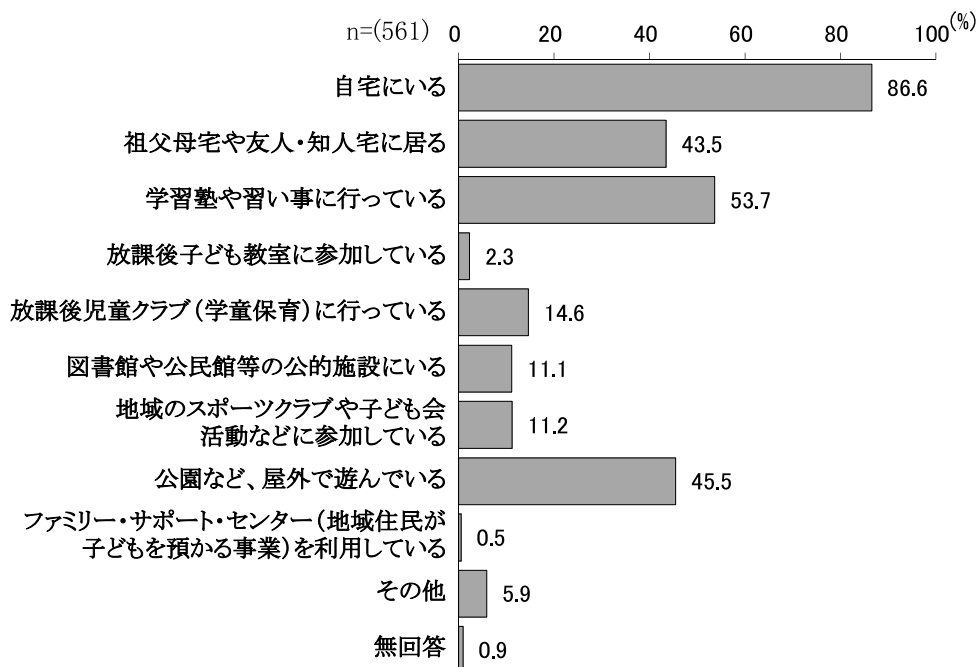
子どもの土曜日と休日（日曜日・祝日）の過ごし方は、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」が朝起きてから～夕食後まですべての項目で最も高くなっている。

土曜日についてみると、昼食後、夕食までの時間帯に「公園など、屋外で遊んでいる」が16.6%、「学習塾や習い事に行っている」が15.3%と高くなっている。

休日（日曜日・祝日）についてみると、昼食後、夕食までの時間帯に「公園など、屋外で遊んでいる」が18.7%と高くなっている。

（2）学校が長期休暇期間中、子どもはどのような場所で過ごしているか

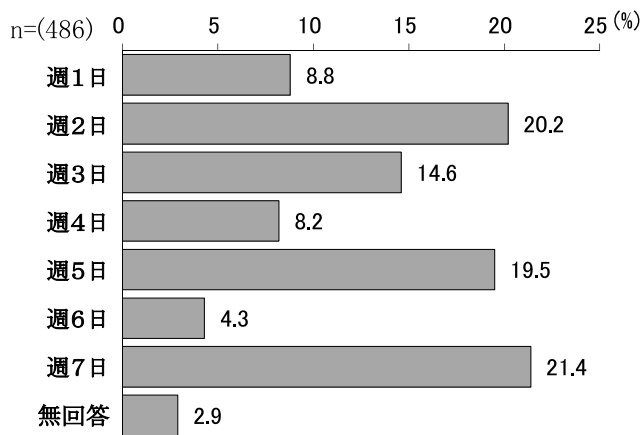
問23 学校が長期休暇期間中は、あて名のお子さんはどのような場所で過ごしていますか。
 ※現状について、あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字で記入してください。



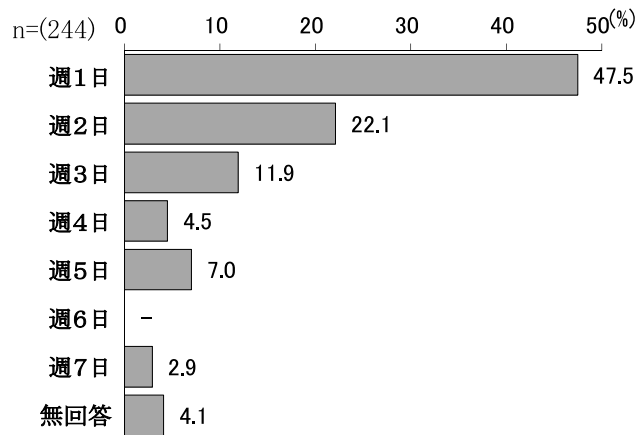
学校が長期休暇期間中、子どもはどのような場所で過ごしているかは、「自宅にいる」が86.6%で最も高く、次いで「学習塾や習い事に行っている」が53.7%、「公園など、屋外で遊んでいる」が45.5%となっている。

○週当たりの日数

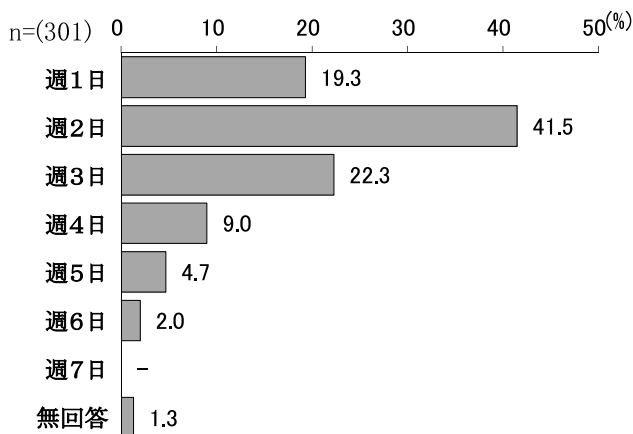
【自宅】



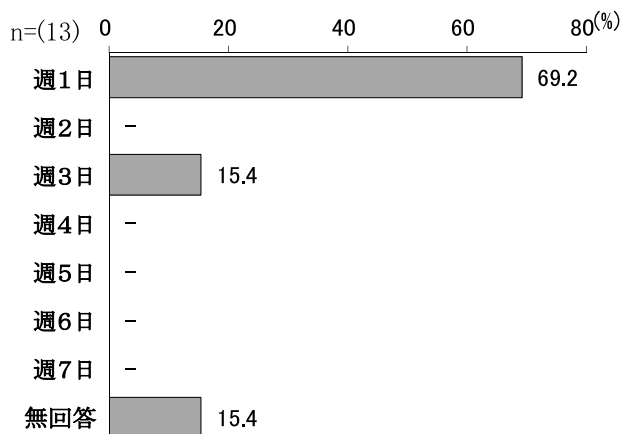
【祖父母宅や友人・知人宅】



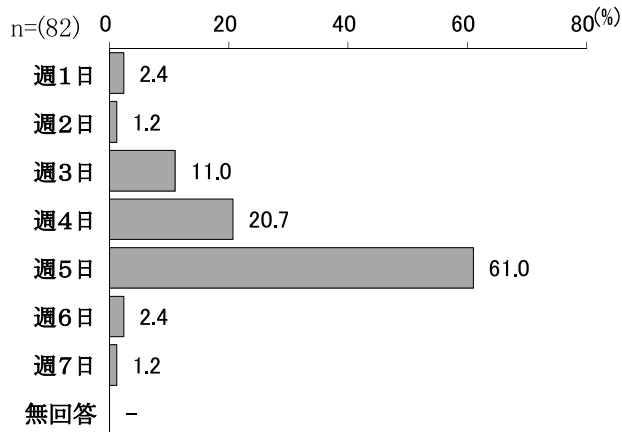
【学習塾や習い事】



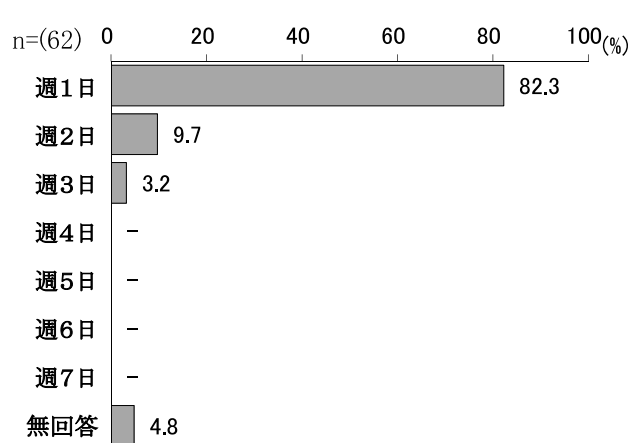
【放課後子ども教室】



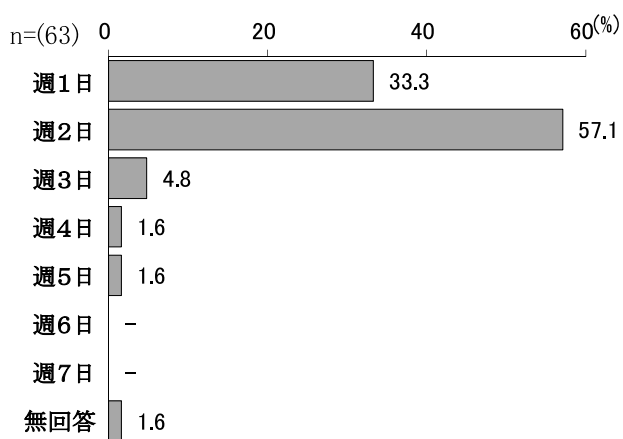
【放課後児童クラブ（学童保育）】



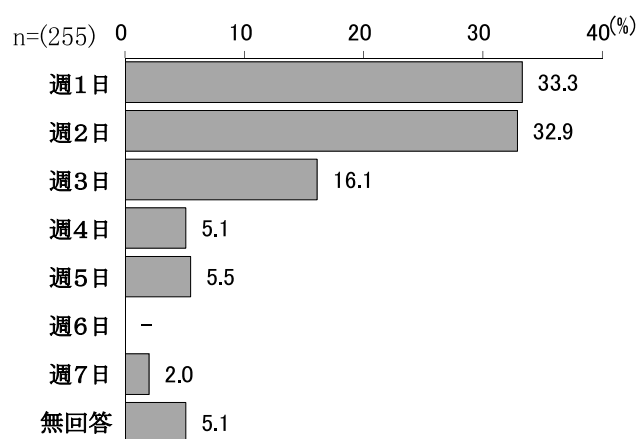
【図書館や公民館等の公的施設】



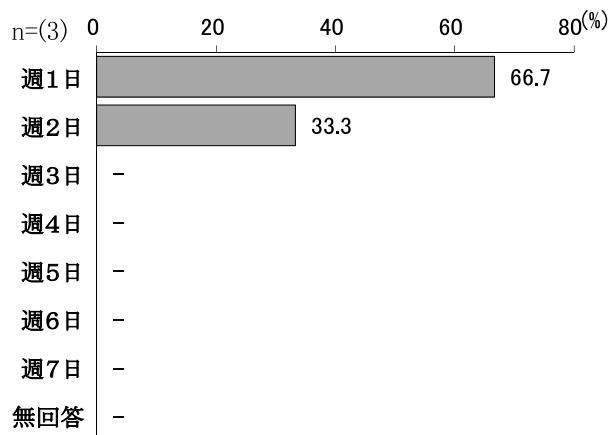
【地域のスポーツクラブや子ども会活動】



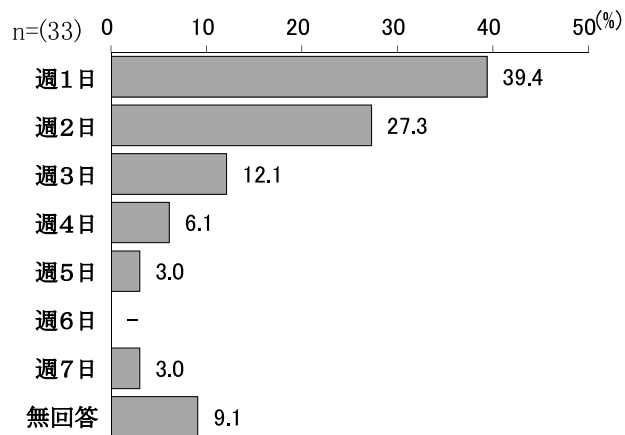
【公園など、屋外で遊んでいる】



【ファミリー・サポート・センター】



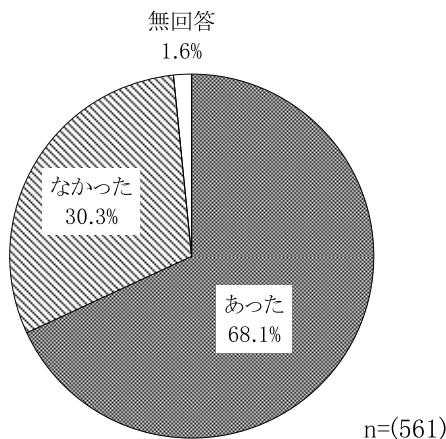
【その他】



7. 子どもの病気の際の対応について

（1）子どもが病気やけがで学校を休まなければならなかったこと

問24 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありましたか。（○は1つ）



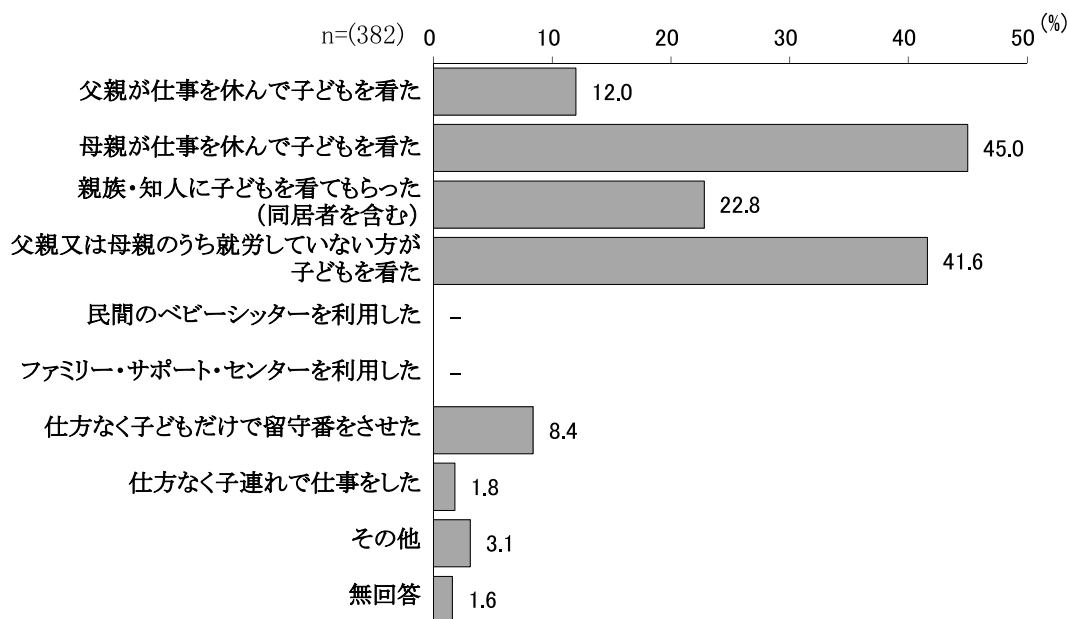
この1年間に、子どもが病気やけがで学校を休まなければならなかったことは「あった」が68.1%で高い。一方、「なかった」は30.3%となっている。

（2）子どもが病気やけがで学校を休んだ場合の対処方法

【問24-1 問24で「あった」と回答された方に】

① この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。あてはまるものすべてに○を付け、それぞれの日数をお答えください。

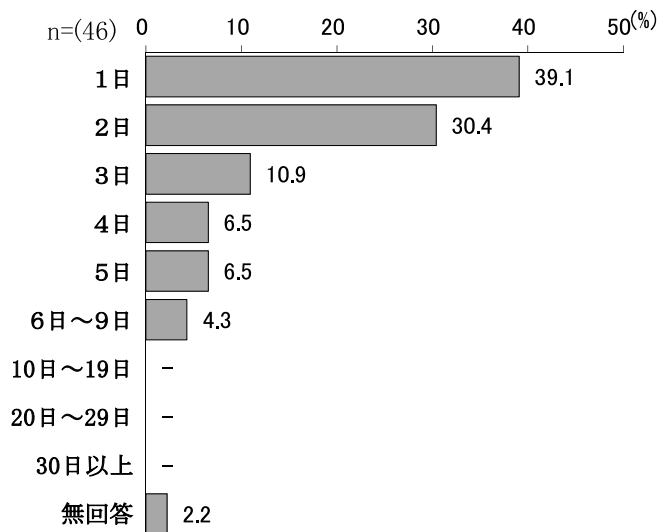
※半日程度についても1日としてカウントしてください。



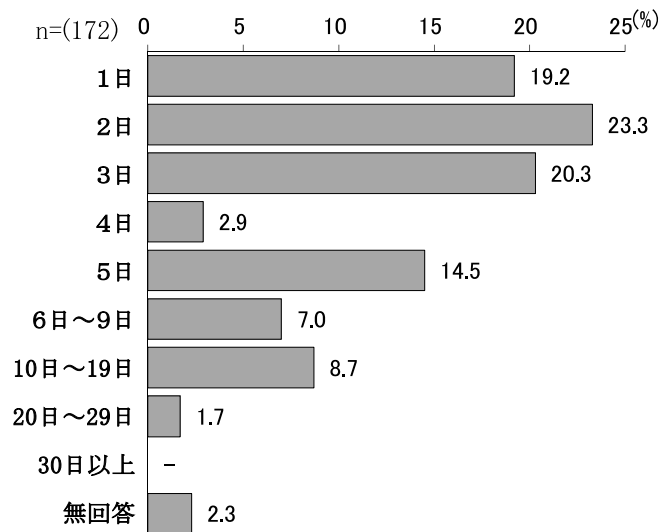
子どもが病気やけがで学校を休んだ場合の対処方法は、「母親が仕事を休んで子どもを看た」が45.0%で最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」が41.6%となっている。

○対処の日数（年間）

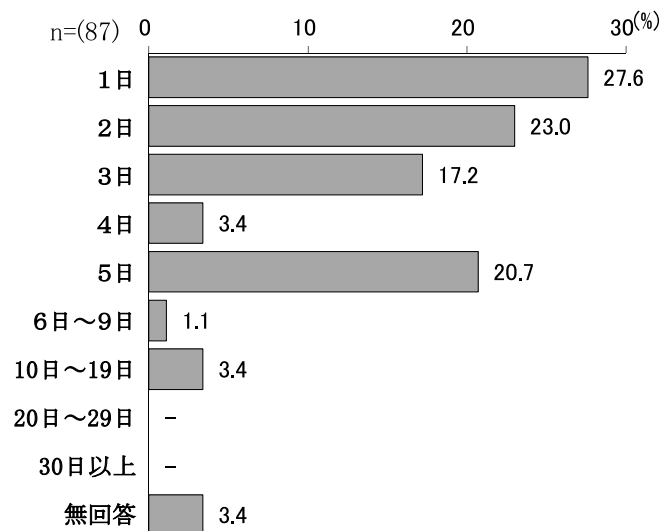
【父親が仕事を休んで子どもを見た】



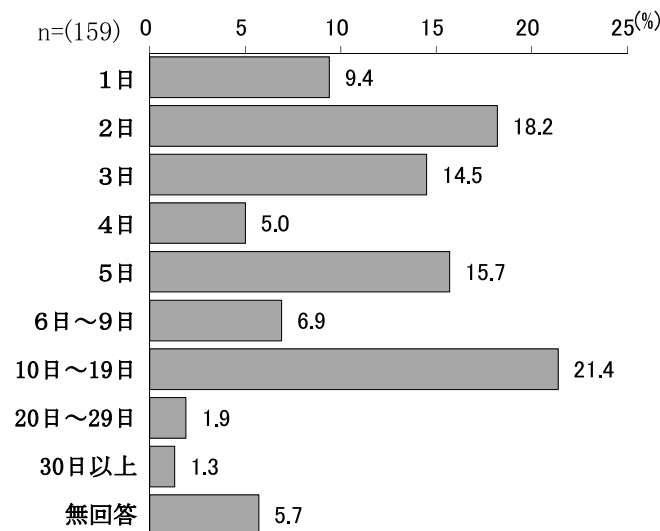
【母親が仕事を休んで子どもを見た】



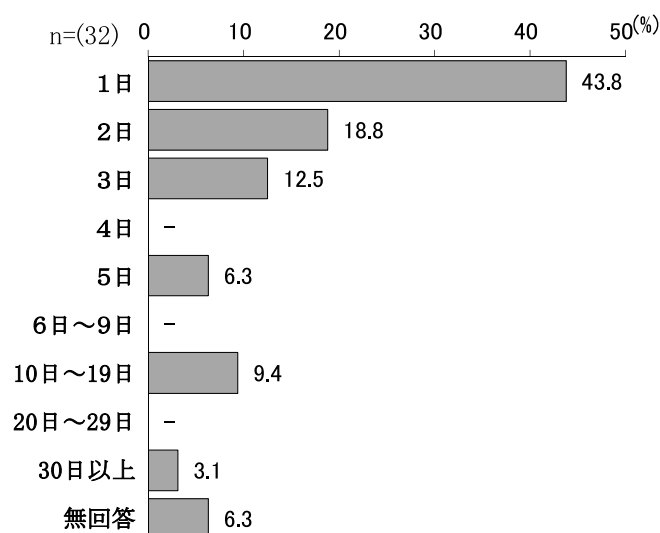
【親族・知人に子どもを看てもらった】



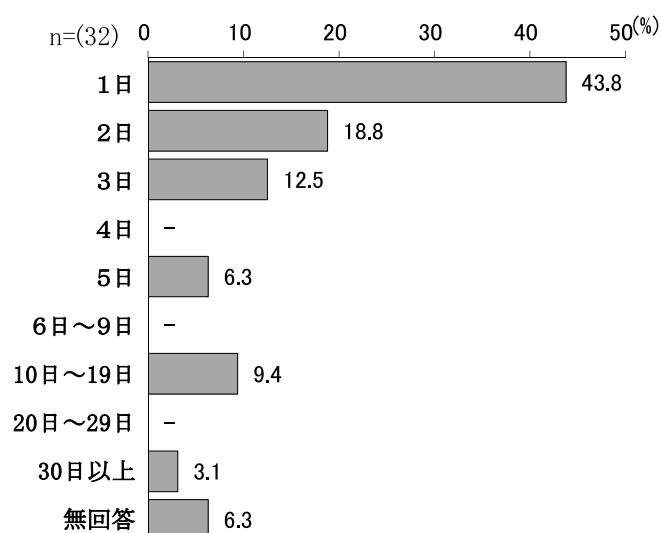
【父親又は母親のうち就労していない方が見た】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

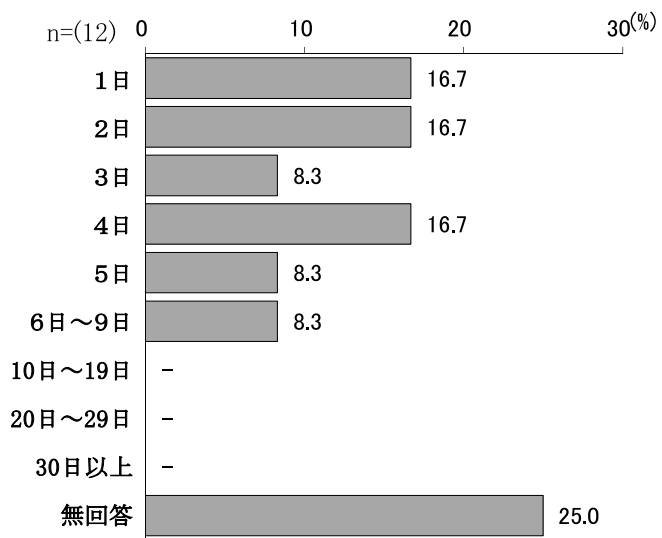


【仕方なく子連れで仕事をした】



第3章 調査結果の詳細（小学生）

【その他】



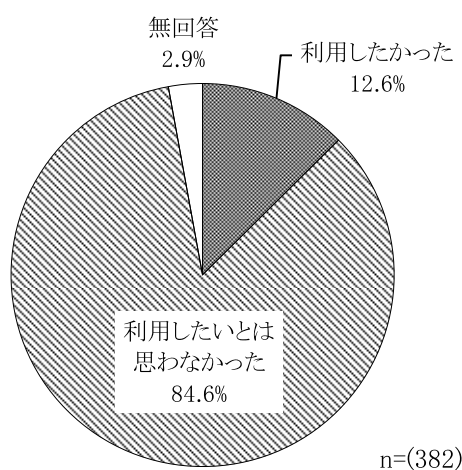
※「民間のベビーシッター」、「ファミリー・サポート・センター」は回答者なしのため図を省略している。

（3）町内に病児・病後児の保育施設等があれば利用したかったか

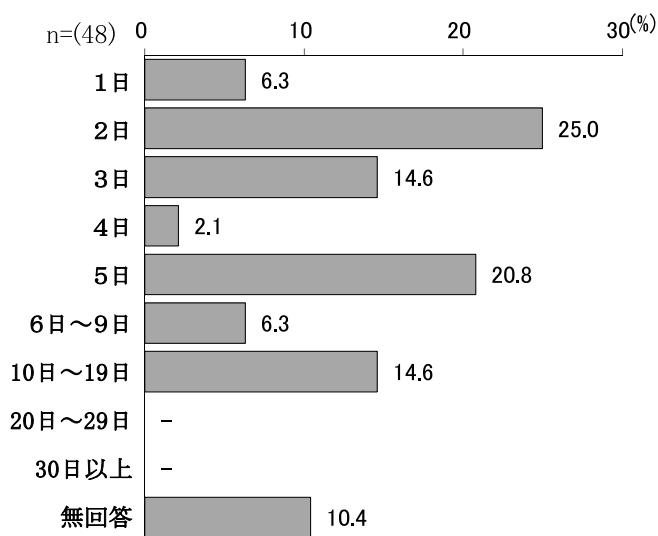
【問24-1 問24で「あった」と回答された方に】

② 町内に、病児・病後児のための保育施設等があれば、利用したいと思いましたが。また、利用したいと思った日数をお答えください。

※病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前に医療機関での診察が必要となります。



【利用希望日数】



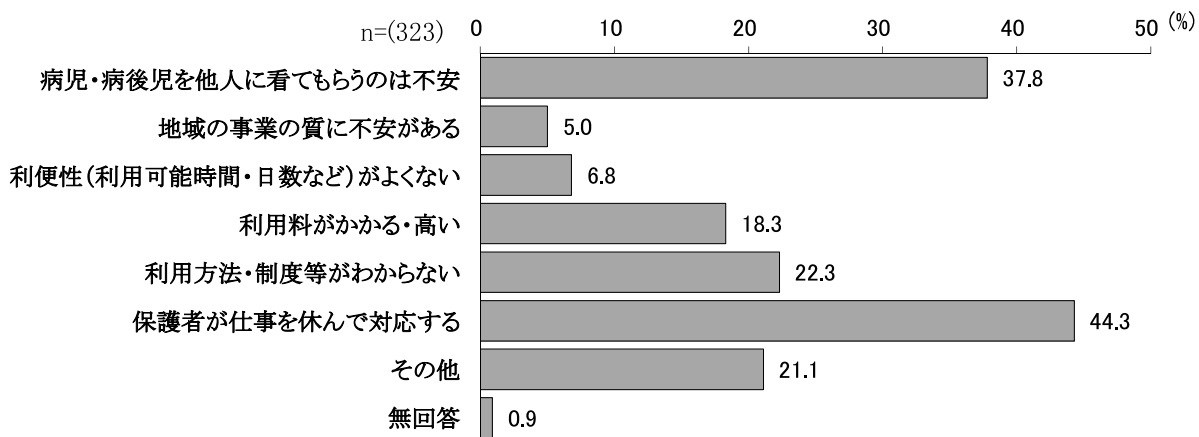
町内に病児・病後児の保育施設等があれば、利用したいと思ったかは、「利用したいと思わなかった」が84.6%で8割を超えて高くなっている。一方、「利用したかった」は12.6%となっている。

「利用したかった」方の利用希望日数は、年間「2日」が25.0%で最も高く、次いで「5日」が20.8%、「3日」「10日～19日」がともに14.6%となっている。

（4）病児・病後児の保育施設等を利用したいと思わなかった理由

【問24-1 問24で「あった」と回答された方に】

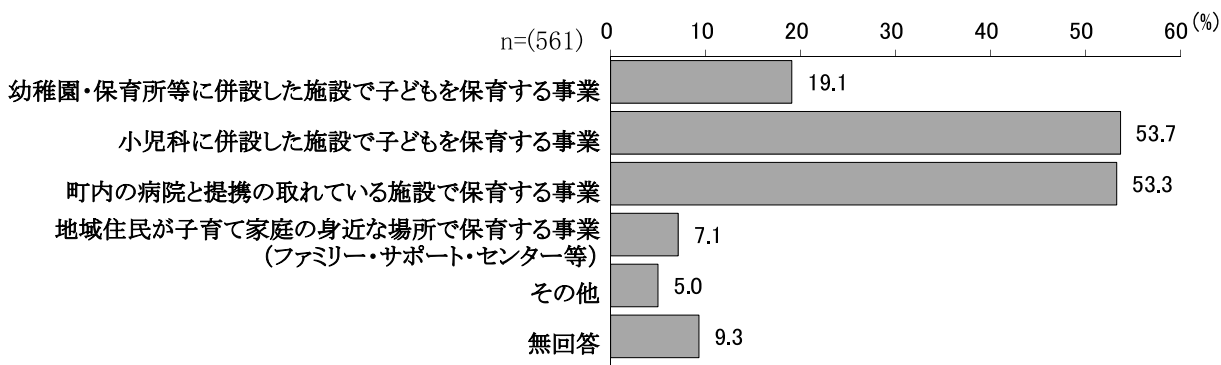
③ 問24-1②で「利用したいと思わなかった」に○をつけた方に伺います。そう思う理由について、あてはまるものすべてに○を付けてください。



病児・病後児の保育施設等を利用したいと思わなかった理由は、「保護者が仕事を休んで対応する」が44.3%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が37.8%となっている。

（5）病気やけがで子どもを預ける場合に望ましい事業形態

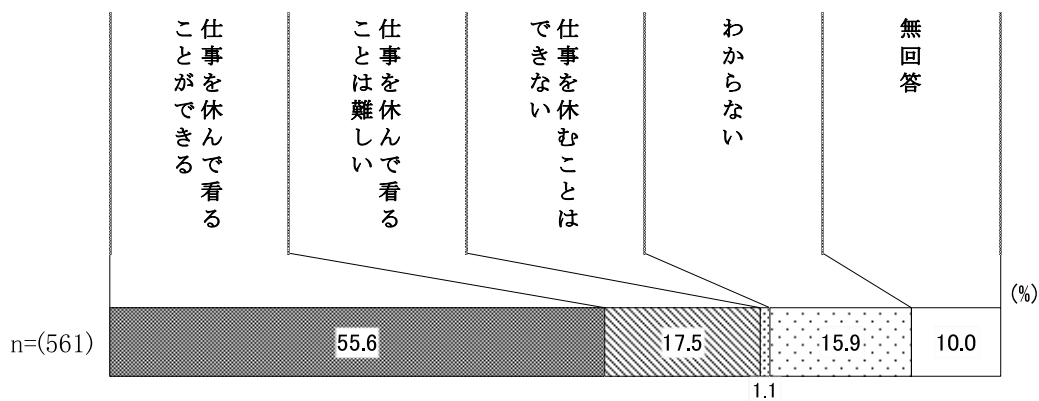
問24-2 病気やけがであて名のお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



病気やけがで子どもを預ける場合に望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が53.7%、「町内の病院と提携の取れている施設で保育する事業」が53.3%でともに5割を超えて高くなっている。

（6）子どもが病気やけがの場合に仕事を休んで看ることができるか

問25 お子さんが病気やけがの場合に仕事を休んで看ことができますか。（1つに○）

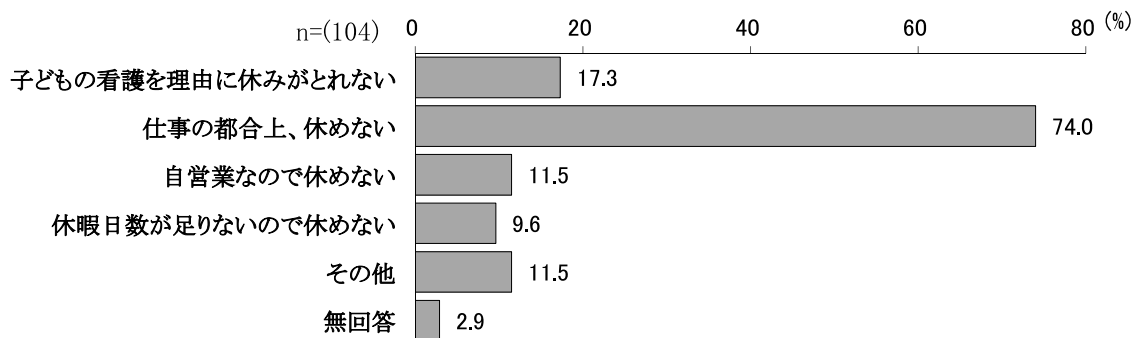


子どもが病気やけがの場合に仕事を休んで看ることができるかは、「仕事を休んで看ることができる」が55.6%で最も高く、次いで「仕事を休んで看るとは難しい」が17.5%となっている。

（7）仕事を休んで看ることが難しい理由

【問25で、「仕事を休んで看することは難しい」または「仕事を休むことはできない」と回答された方に】

問25-1 仕事を休んで看ることが難しい、できない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

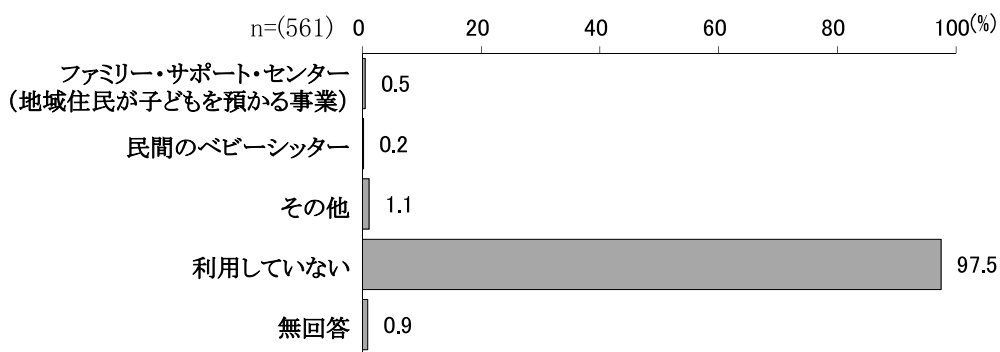


仕事を休んで看ることが難しい理由は、「仕事の都合上、休めない」が74.0%で7割を超えて最も高くなっている。次いで、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が17.3%、「自営業なので休めない」が11.5%となっている。

8. 不定期の宿泊を伴う一時預かり等の利用について

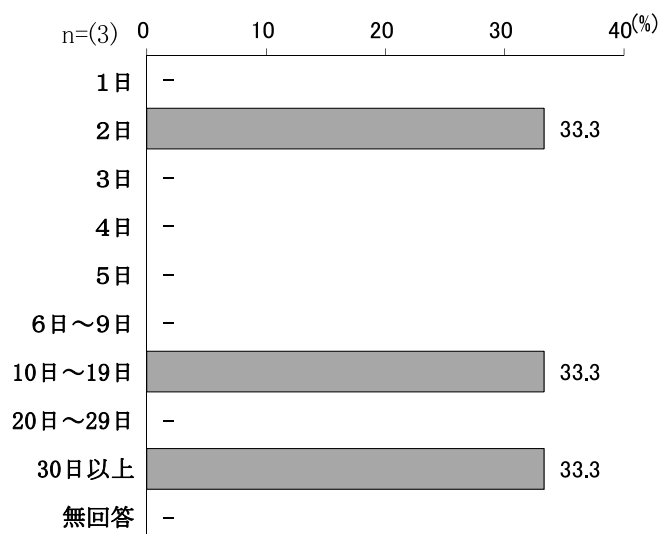
（1）日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で現在不定期に利用している事業

問26 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で現在不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をし、1年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

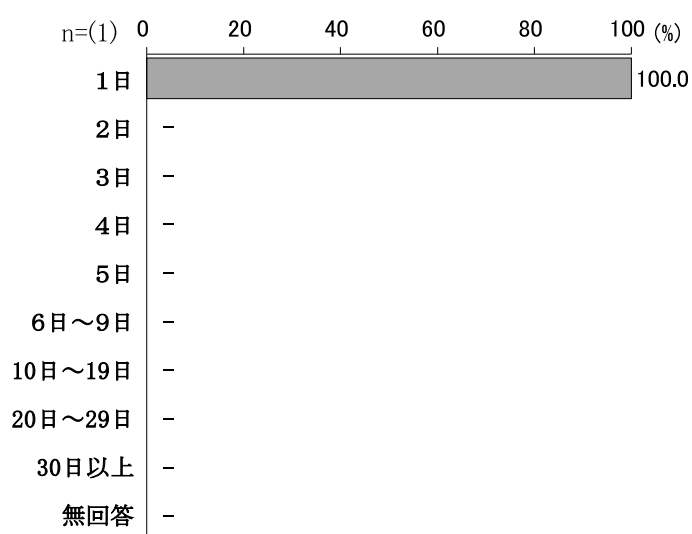


日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で現在不定期に利用している事業は、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」が0.5%、「民間のベビーシッター」が0.2%でともに1割に満たない。一方、「利用していない」が97.5%で9割以上を占めている。

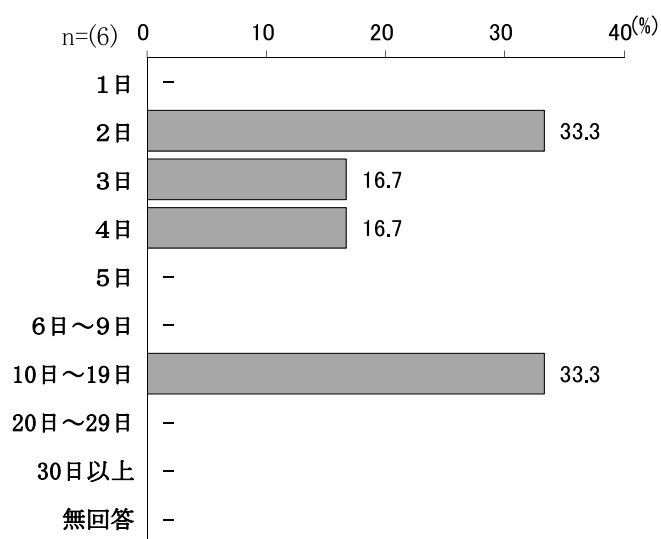
【ファミリー・サポート・センター】



【民間のベビーシッター】



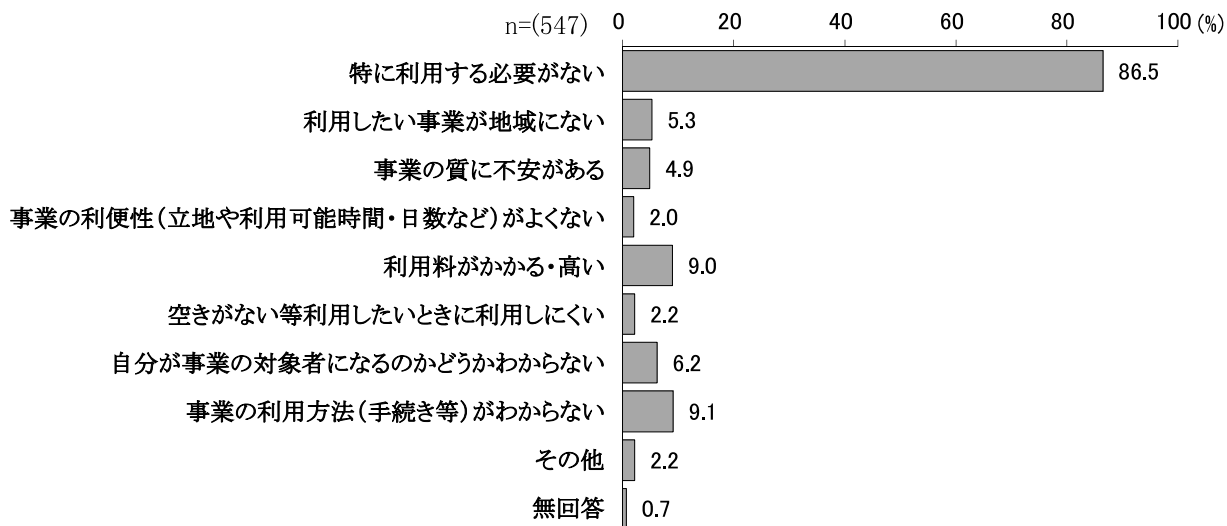
【その他】



（2）利用している事業がない理由

【問26で「利用していない」と回答された方に】

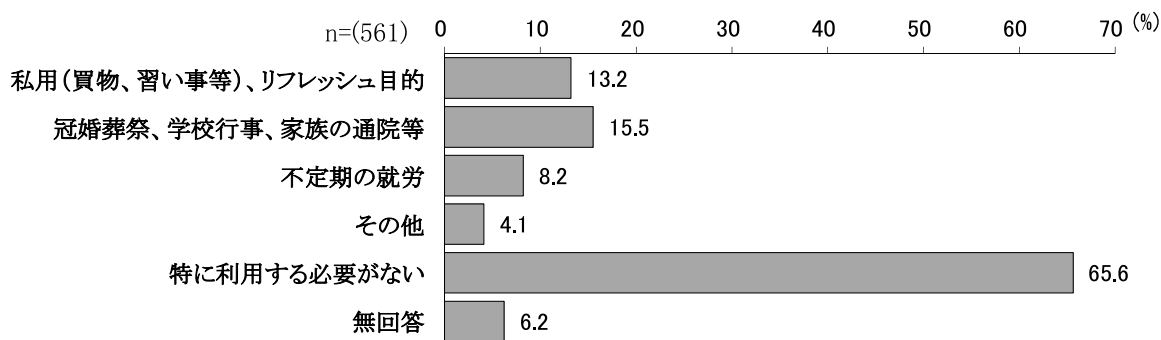
問26-1 利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



利用している事業がない理由は、「特に利用する必要がない」が86.5%で8割を超えて最も高く、次いで、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が9.1%、「利用料がかかる・高い」が9.0%となっている。

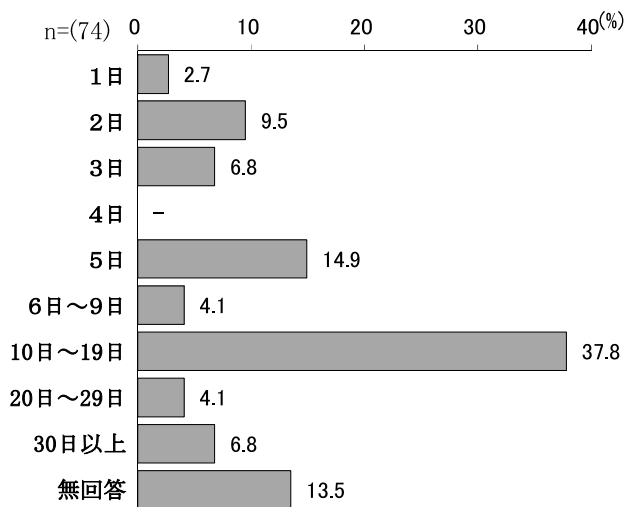
（3）どのようなときに、子どもを一時的に預かる事業を利用したいか

問27 どのようなときに、あて名のお子さんを一時的に預かる事業（問26）を利用したいと思いますか。

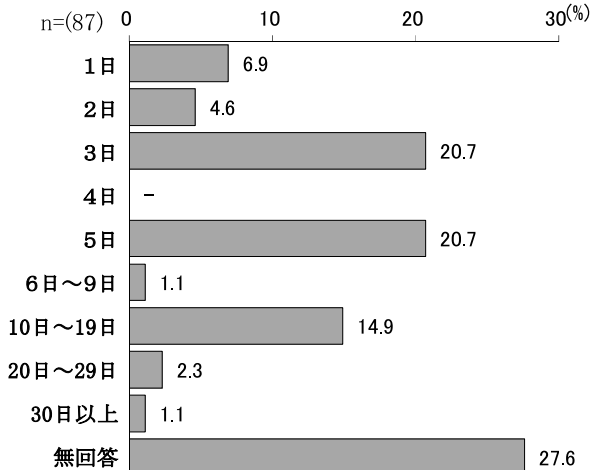


どのようなときに、子どもを一時的に預かる事業を利用したいかは、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が15.5%で高く、次いで「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が13.2%となっている。一方、「特に利用する必要がない」が65.6%で6割を超えて高くなっている。

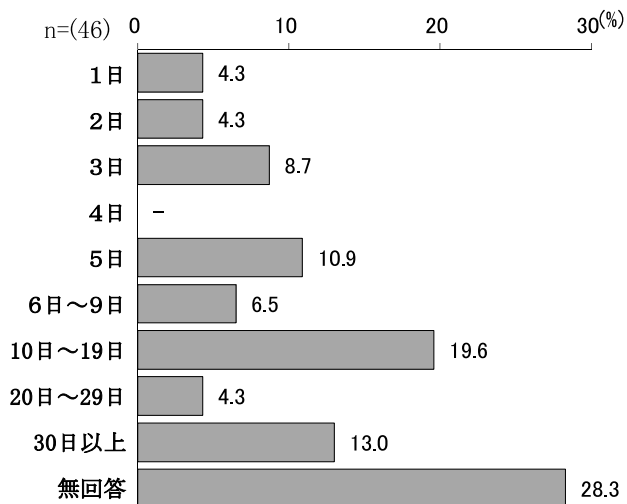
【私用、リフレッシュ目的】



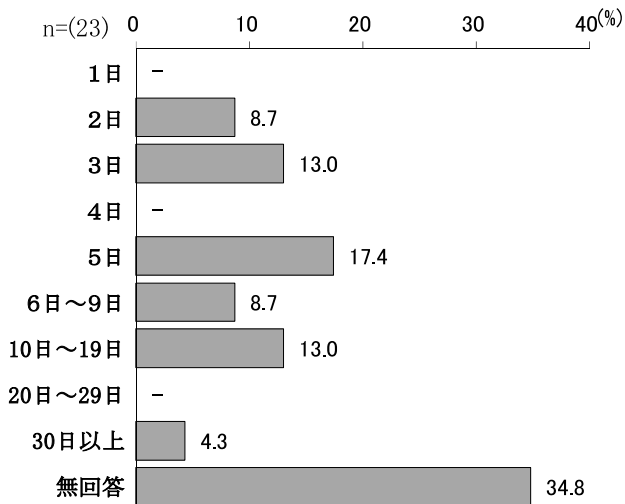
【冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等】



【不定期の就労】



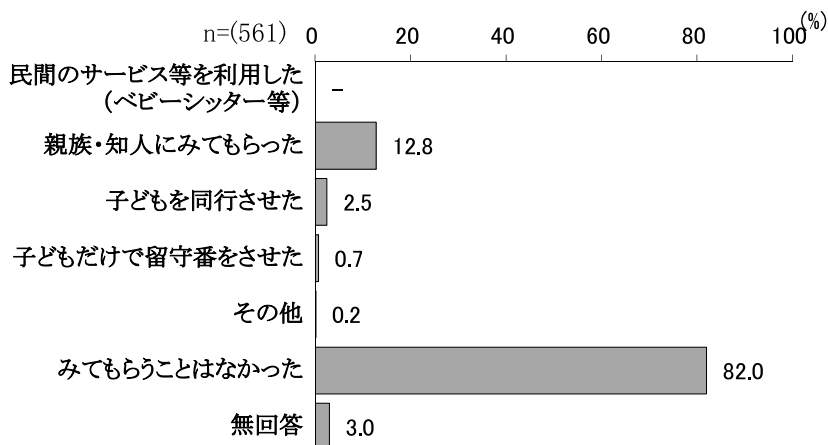
【その他】



各事業のそれぞれ希望する日数は「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が10日～19日で37.8%と最も高い。また、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」は、3日と5日がともに20.7%で高くなっている。

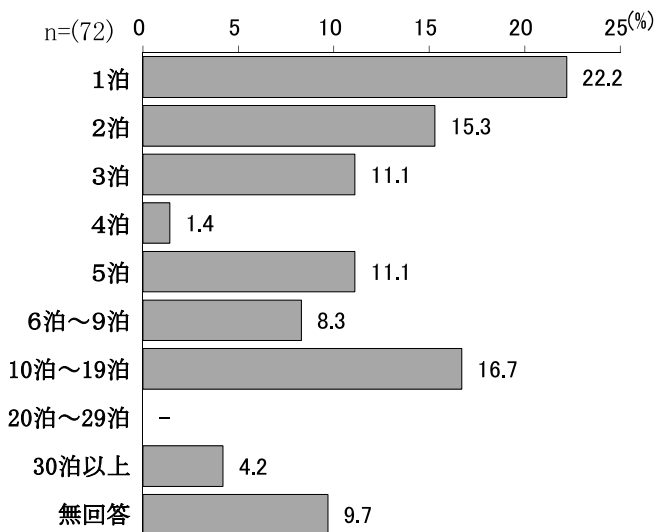
（4）保護者の用事により子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験

問28 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（〇はいくつでも）（預け先が見つからなかった場合も含みます）あった場合は、日数もご記入ください。（数字を記入）

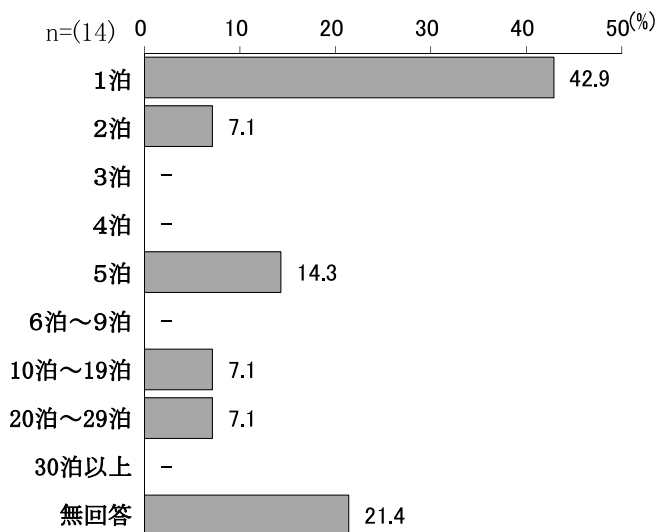


この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験としては、「親族・知人にみてもらった」が12.8%となっている。一方、「みてもらうことはなかった」は82.0%で8割を超えて高くなっている。

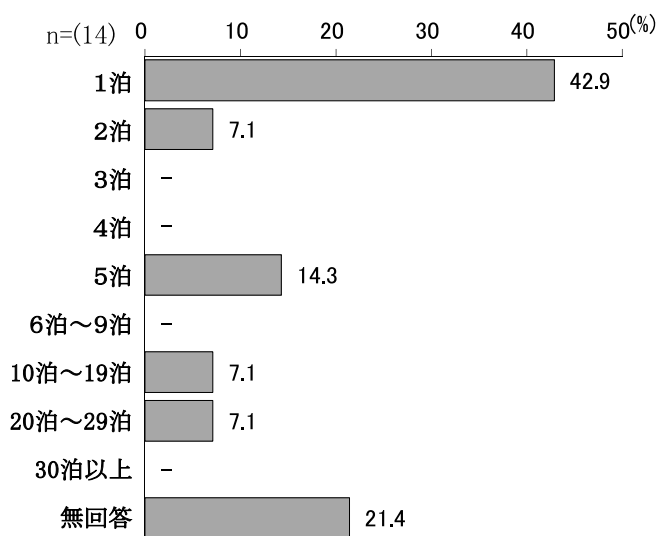
【親族・知人】



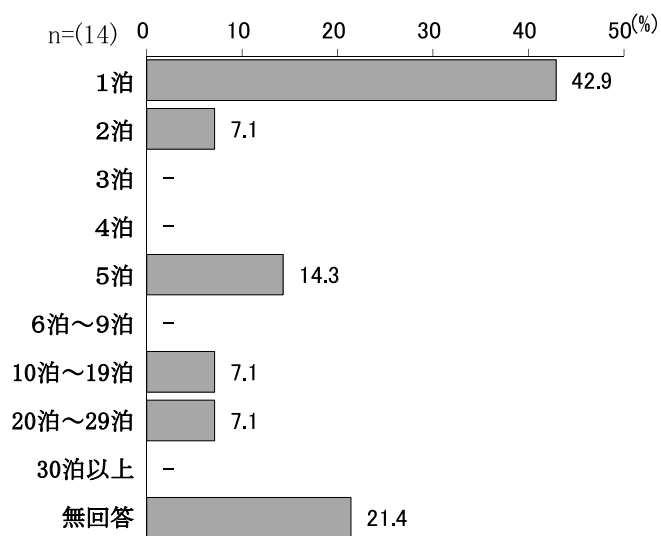
【子どもを同行させた】



【子どもだけで留守番】



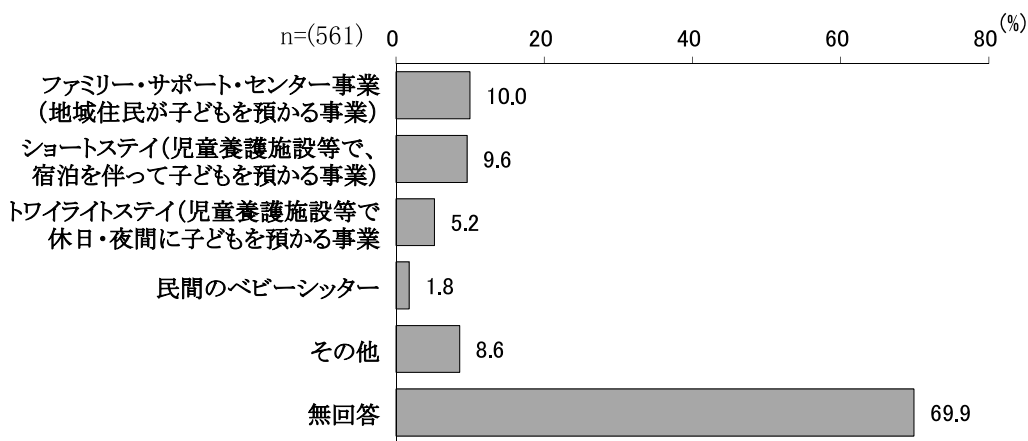
【その他】



※「民間のサービス等を利用」は回答者なしのため図を省略している。

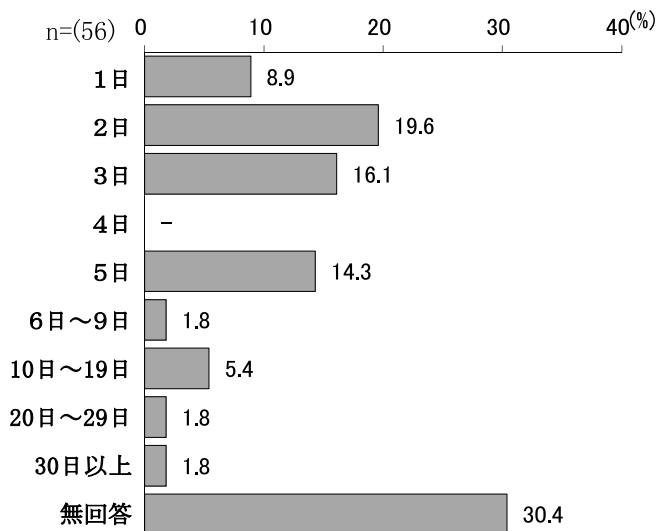
（5）子どもを預かり、または宿泊を伴う事業として利用したいもの

問29 あて名のお子さんを預かりまたは宿泊を伴う事業として、利用できるものがあれば何を利用したいですか。あてはまるものすべてに○をし、必要な日数を記入してください。
 ※事業の利用には一定の利用料金がかかります。

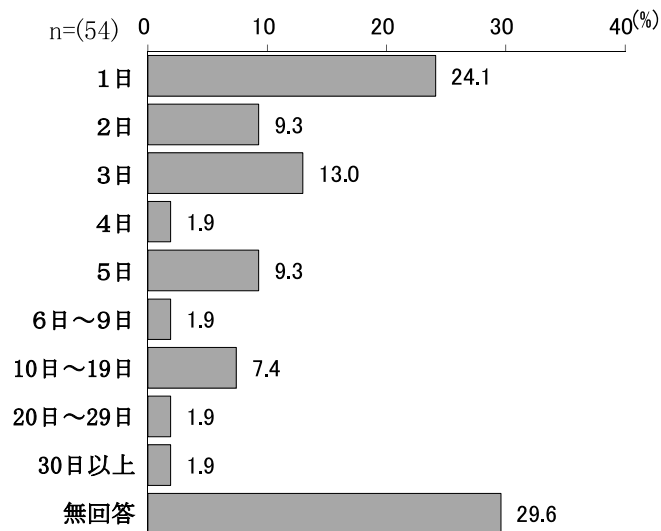


子どもを預かりまたは宿泊を伴う事業として利用したいものは、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」が10.0%で最も高く、「ショートステイ（児童養護施設等で、宿泊を伴って子どもを預かる事業）」が9.6%となっている。

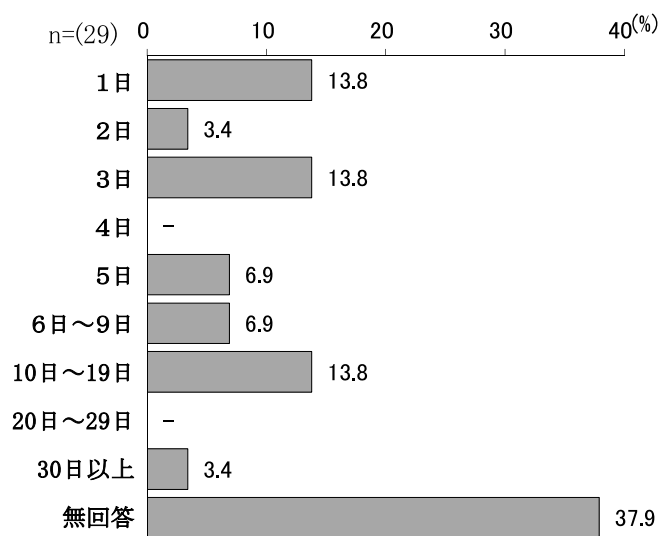
【ファミリー・サポート・センター】



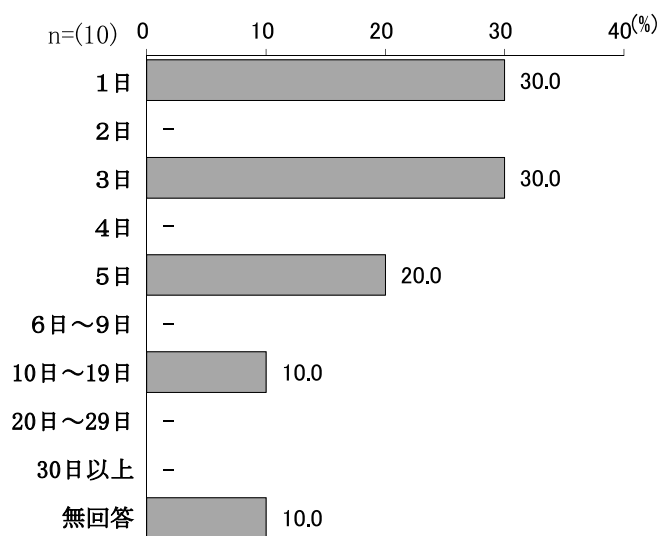
【ショートステイ】



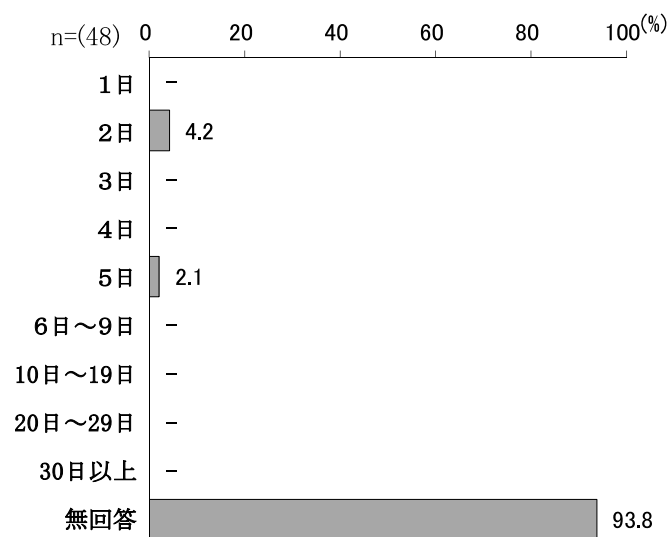
【トワイライトステイ】



【民間のベビーシッター】



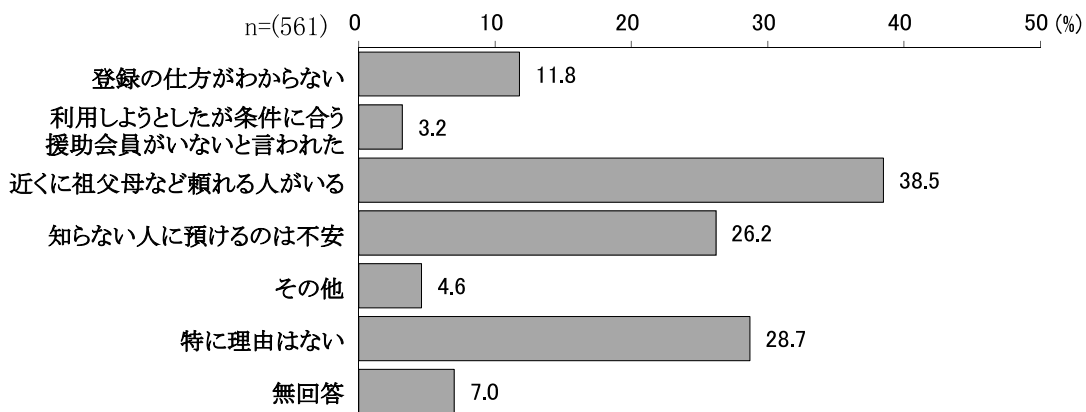
【その他】



（6）ファミリー・サポート・センターを利用していない理由

問30 今までファミリー・サポート・センター※を利用したことがない方に伺います。利用したことの理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

※保育所・習い事等への送迎や自宅での育児ができないときに、一時的に子どもの預かりなどのお手伝いをする事業です。（有料）

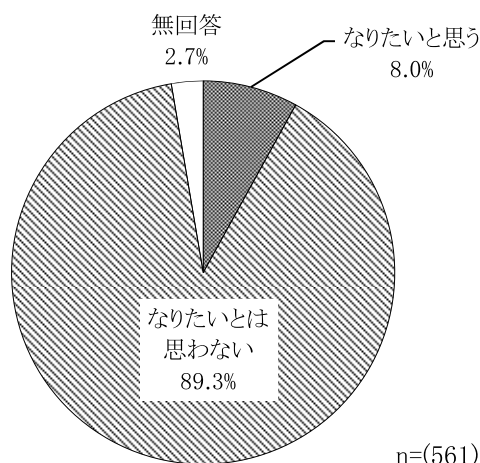


ファミリー・サポート・センターを利用していない理由は、「近くに祖父母など頼れる人がいる」が38.5%で最も高く、次いで、「知らない人に預けるのは不安」が26.2%となっている。一方、「特に理由はない」が28.7%となっている。

（7）ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思うか

問31 今後、ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思いますか。

※援助会員とは保育ニーズのある保護者からお子さんを預かり、自宅で保育したり、保育所・学童等への送迎の援助等を行う活動です。

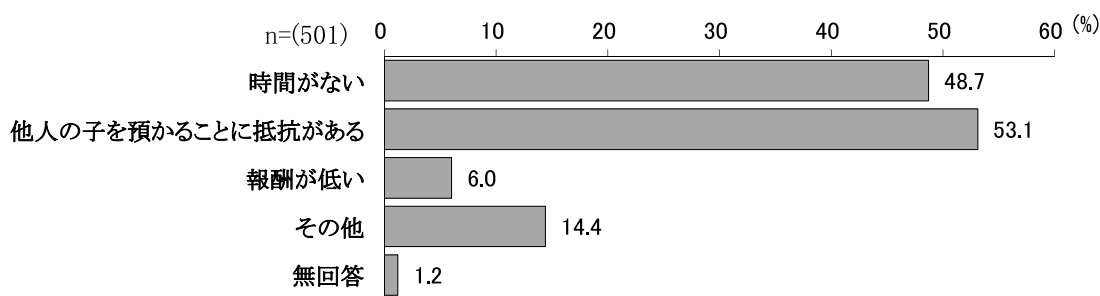


ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思うかは、「なりたいたは思わない」が89.3%で高くなっている。一方、「なりたいたは思う」は8.0%と1割に満たない。

（8）ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいとは思わない理由

【問31で「なりたいたは思わない」と回答された方に】

問31-1 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

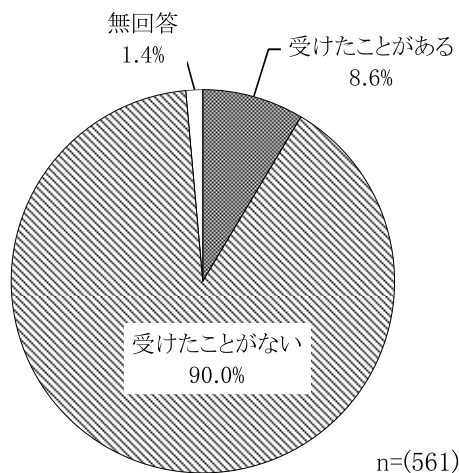


ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいとは思わない理由は、「他人の子を預かることに抵抗がある」が53.1%で5割を超え最も高く、次いで「時間がない」が48.7%となっている。

9. 子どもの障がい、発達の状況について

（1）子どもの発達に関して診断を受けた経験の有無

問32 これまで、あて名のお子さんの発達に関して、何らかの医師の診断を受けたことがありますか。

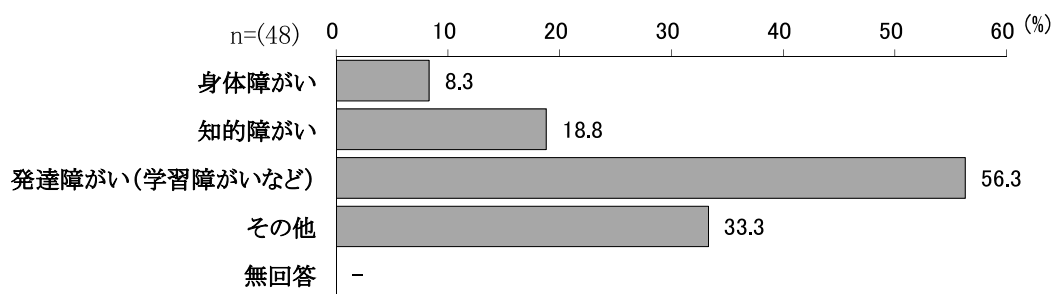


子どもの発達に関して診断を受けた経験の有無は、「受けたことがない」が90.0%で9割と最も高くなっている。一方、「受けたことがある」は8.6%と1割に満たない。

（2）子どもの発達の診断の種類

【問32で「受けたことがある」と回答された方に】

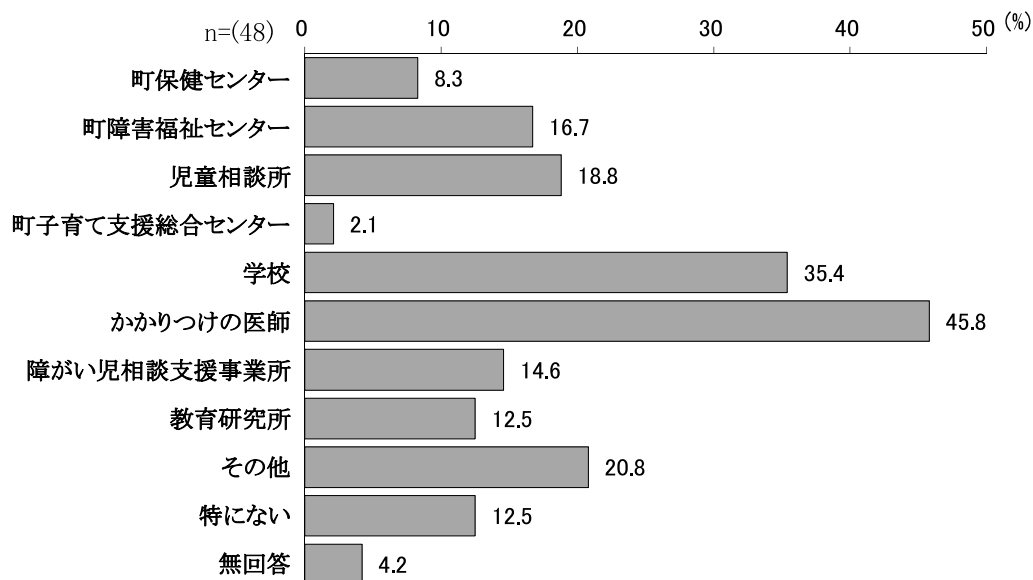
問32-1 それはどんな診断ですか。（あてはまるものすべてに○）



子どもの発達の診断の種類は、「発達障がい（学習障がいなど）」が56.3%で高く、次いで「知的障がい」が18.8%、「身体障がい」が8.3%となっている。

（3）子どもの発達、障がいについて利用している相談機関

問32-2 お子さんの発達、障がいについて相談している地域の相談機関はどちらですか。
（あてはまるものすべてに○）

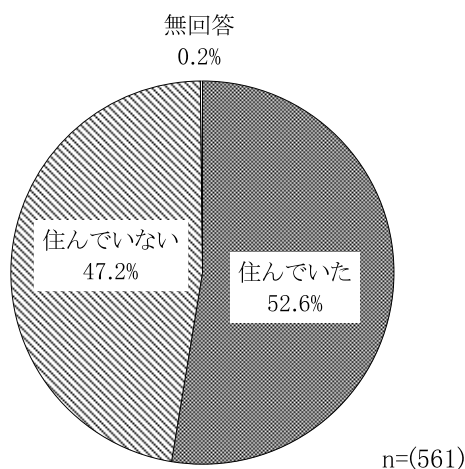


子どもの発達、障がいについて利用している相談機関は、「かかりつけの医師」が45.8%で最も高く、次いで「学校」が35.4%、「児童相談所」が18.8%となっている。

10. 子育て全般について

（1）第1子が生まれたとき、または妊娠の際、大磯町に住んでいたか

問33 最初にお子さんが生まれたとき、または妊娠の際、大磯町にお住まいでしたか。（○は1つ）

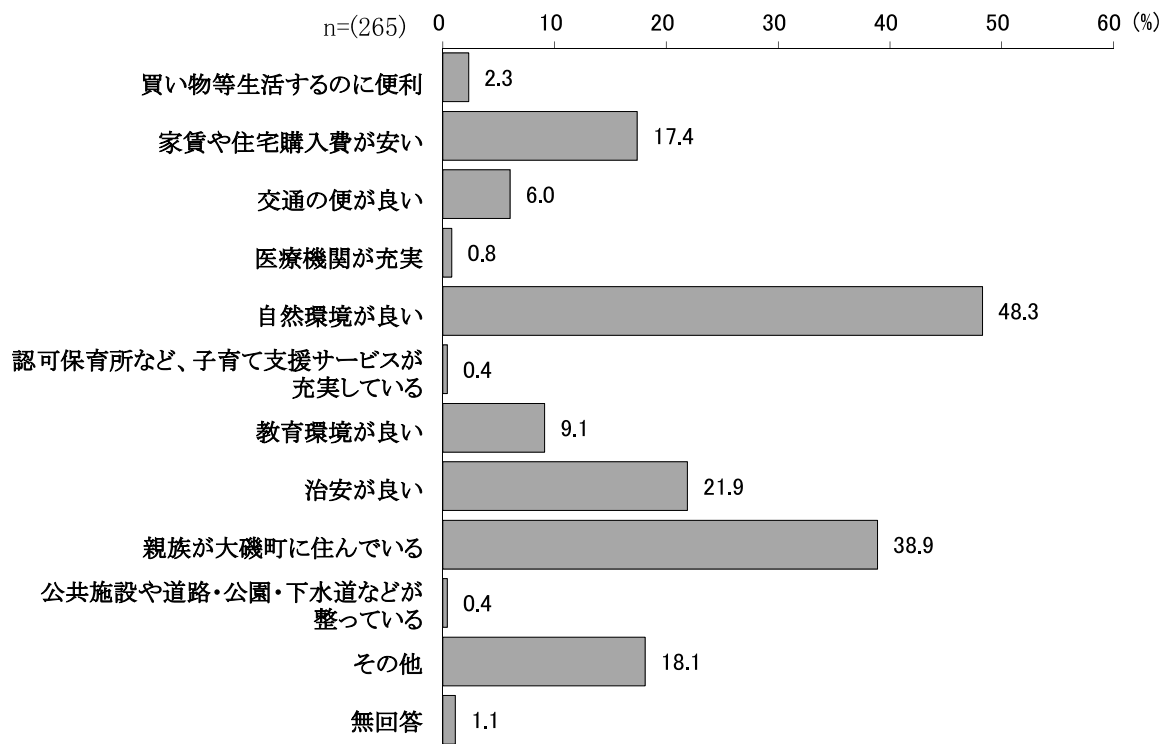


第1子が生まれたとき、または妊娠の際に大磯町に住んでいたかは、「住んでいた」が52.6%、「住んでいない」が47.2%でほぼ同じ割合となっている。

（2）大磯町に転入した理由

【問33で「住んでいない」と回答された方に】

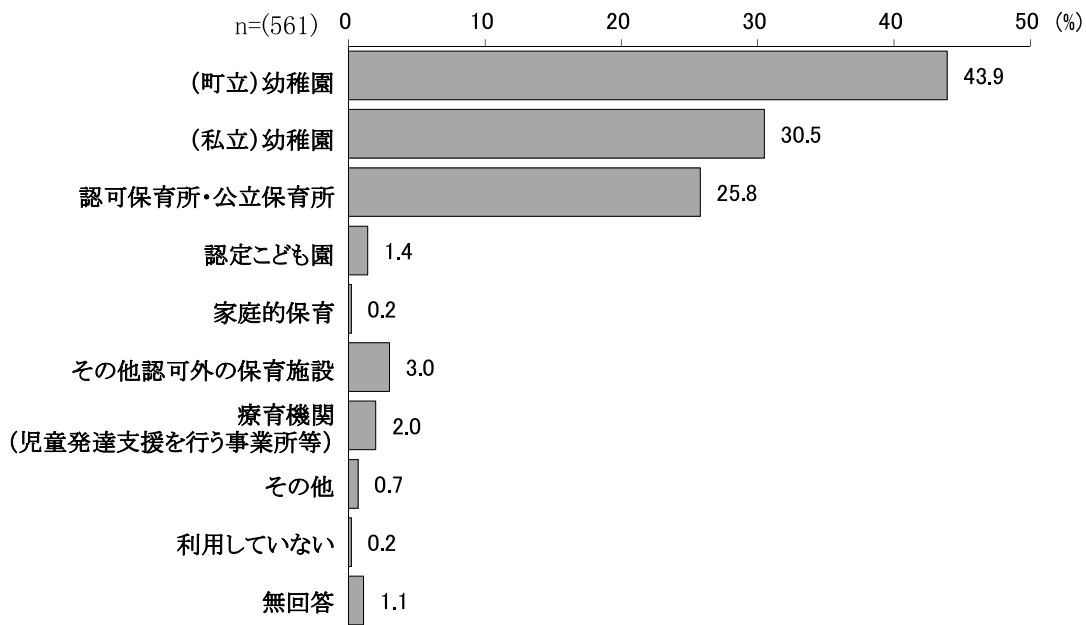
問33-1 大磯町に転入した理由をお聞かせください。（〇はいくつでも）



大磯町に転入した理由は、「自然環境が良い」が48.3%で最も高く、次いで「親族が大磯町に住んでいる」が38.9%、「治安が良い」が21.9%となっている。

（3）小学校入学前に主に利用していた教育・保育事業

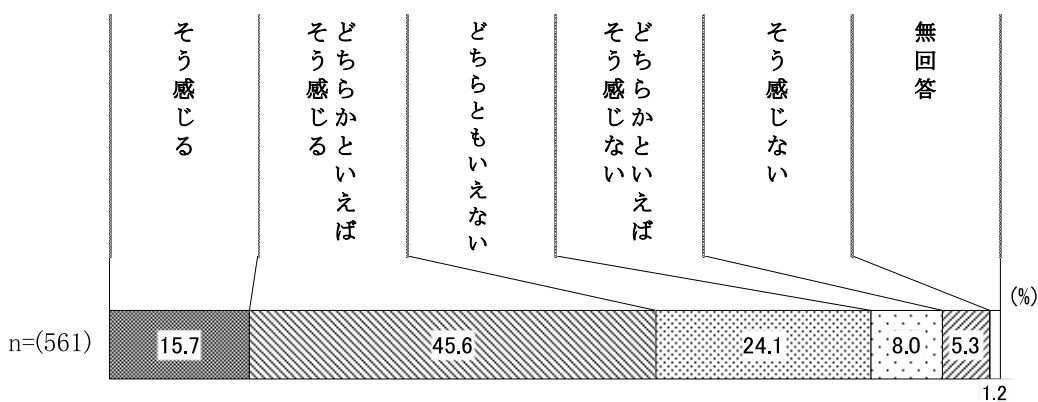
問34 あて名のお子さんは、小学校入学前は主にどのような教育・保育事業を利用していましたか。



小学校入学前に主に利用していた教育・保育事業は、「(町立) 幼稚園」が43.9%で最も高く、次いで、「(私立) 幼稚園」が30.5%、「認可保育所・公立保育所」が25.8%となっている。

（4）子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるか

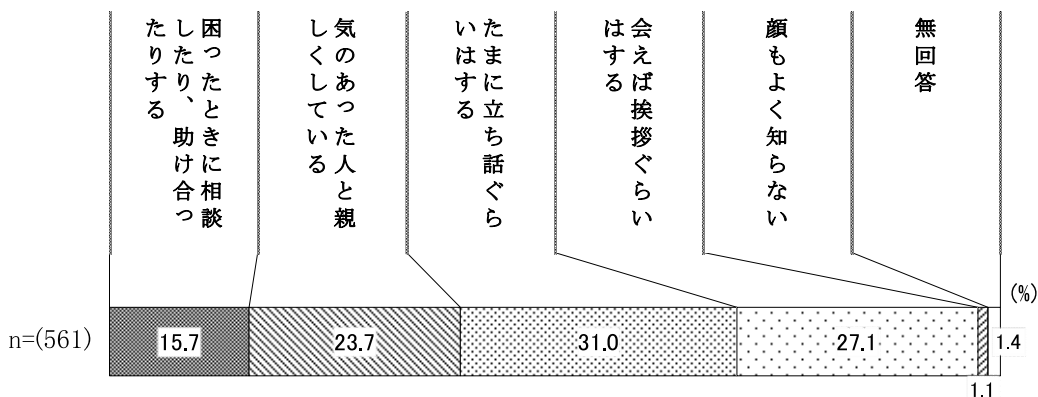
問35 子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じますか（1つに○）



子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるかは、「どちらかといえなさそう感じる」が45.6%で最も高く、次いで、「どちらともいえない」が24.1%、「そう感じる」が15.7%となっている。

（5）近所の人との付き合い方

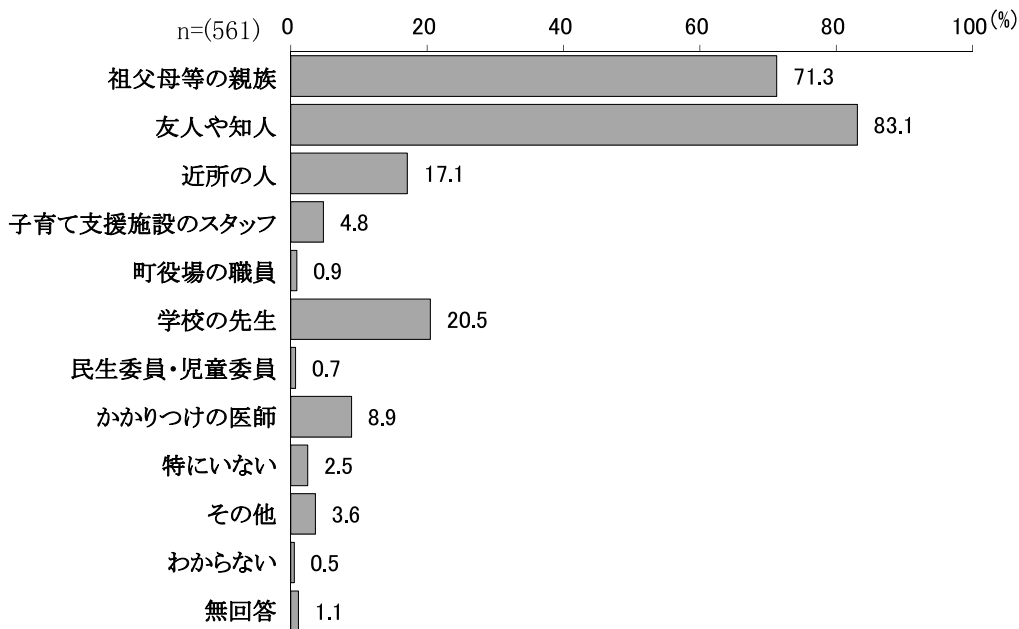
問36 最近、近所の人とどのような付き合い方をしていますか（1つに○）



近所の人との付き合い方は、「たまに立ち話ぐらいはする」が31.0%で最も高く、次いで、「会えば挨拶ぐらいはする」が27.1%、「気の合った人と親しくしている」が23.7%となっている。

（6）子育てについて気軽に相談できる人

問37 子育てについて気軽に相談できる人はどなたですか（あてはまるものすべてに○）



子育てについて気軽に相談できる人は、「友人や知人」が83.1%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が71.3%となっている。

（7）近隣市町村にあり大磯町にもあるとよい施設

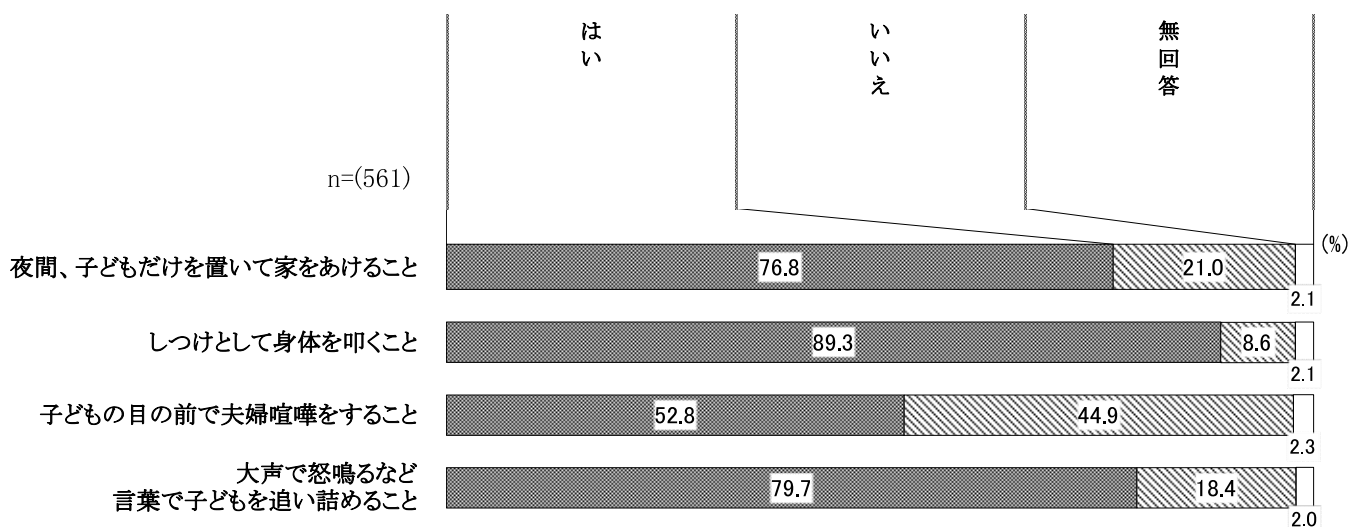
問38 近隣市町村に、大磯町にもあったらいいなと思う「子どもを対象とした施設」が有りましたら、1つ記入してください。

施設所在地	施設(主な回答)
平塚市	山城子どもの家
小田原市	川東タウンセンターマロニエ
藤沢市	湘南台文化センターのこども館
横浜市	こどもログハウス
秦野市	中央運動公園
二宮町	温水プール
伊勢原市	伊勢原市立子ども科学館
中井町	中井中央公園（総合公園）
海老名市	ファンタジーキッズリゾート海老名

施設所在地	施設(主な回答)
茅ヶ崎市	里山公園
川崎市	こども文化センター
厚木市	ぼうさいの丘公園
静岡県菊川市	児童館
静岡県伊豆市	日本サイクルスポーツセンター
東京都足立区	ギャラクシティ
東京都大田区	スペースアスレチック トンデミ
埼玉県戸田市	児童センターこどもの国

（8）虐待にあたることの認知度

問39 あなたは、記載された項目が児童虐待にあたることを知っていますか。（それぞれ1つに○）

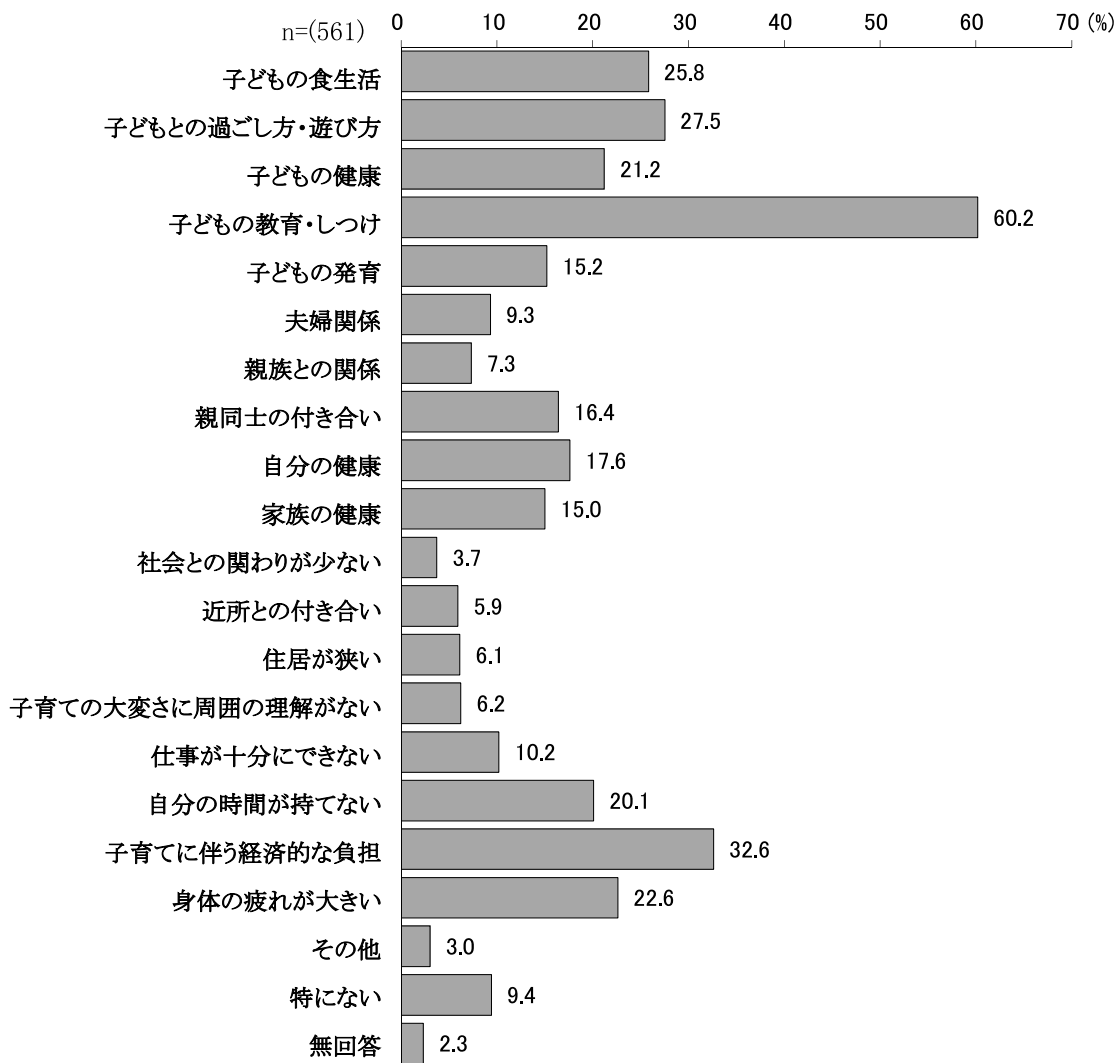


虐待にあたることの認知度は、「しつけとして身体を叩くこと」が89.3%、「大声で怒鳴るなど言葉で子どもを追い詰めること」が79.7%、「夜間、子どもだけを置いて家をあけること」が76.8%で7割を超え高くなっている。一方、「子どもの目の前で夫婦喧嘩をすること」を虐待と認知していない人は44.9%となっている。

11. 現状での子育て環境の満足度について

（1）子育てをされていて感じる悩み

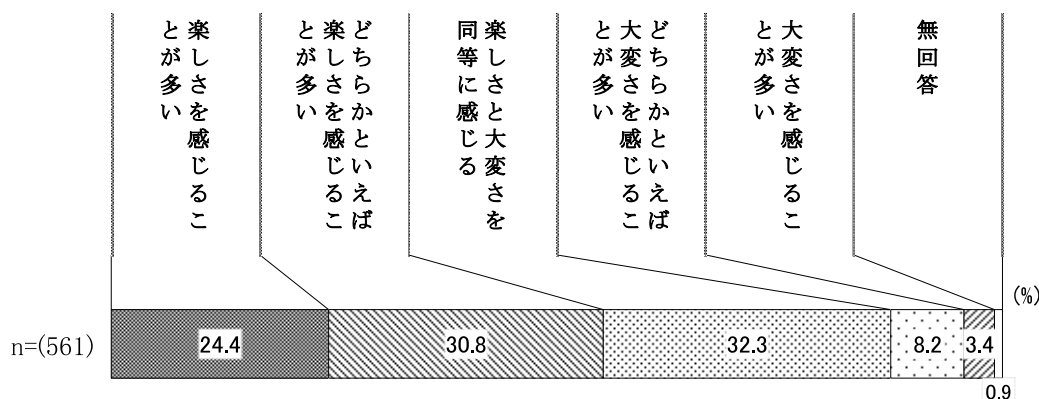
問40 現在、子育てをされていて、感じる悩みは何ですか。（〇はいくつでも）



子育てをされていて感じる悩みは、「子どもの教育・しつけ」が60.2%で最も高く、次いで、「子育てに伴う経済的な負担」が32.6%、「子どもとの過ごし方・遊び方」が27.5%となっている。

（2）子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか

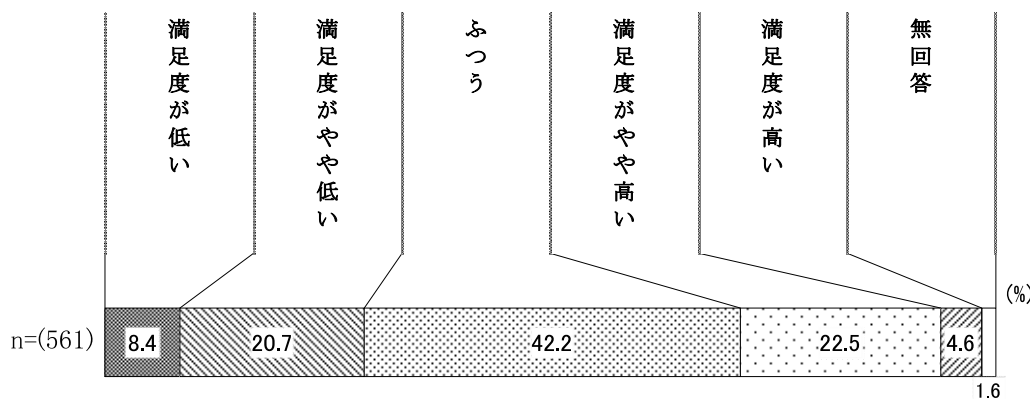
問41 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。（○は1つ）



子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いかは、「楽しさと大変さを同等に感じる」が32.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば楽しさを感じる人が多い」が30.8%、「楽しさを感じる人が多い」が24.4%となっている。

（3）子育ての環境や支援の満足度

問42 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。（「1（満足度低）～ 5（満足度高）」に○を1つ）

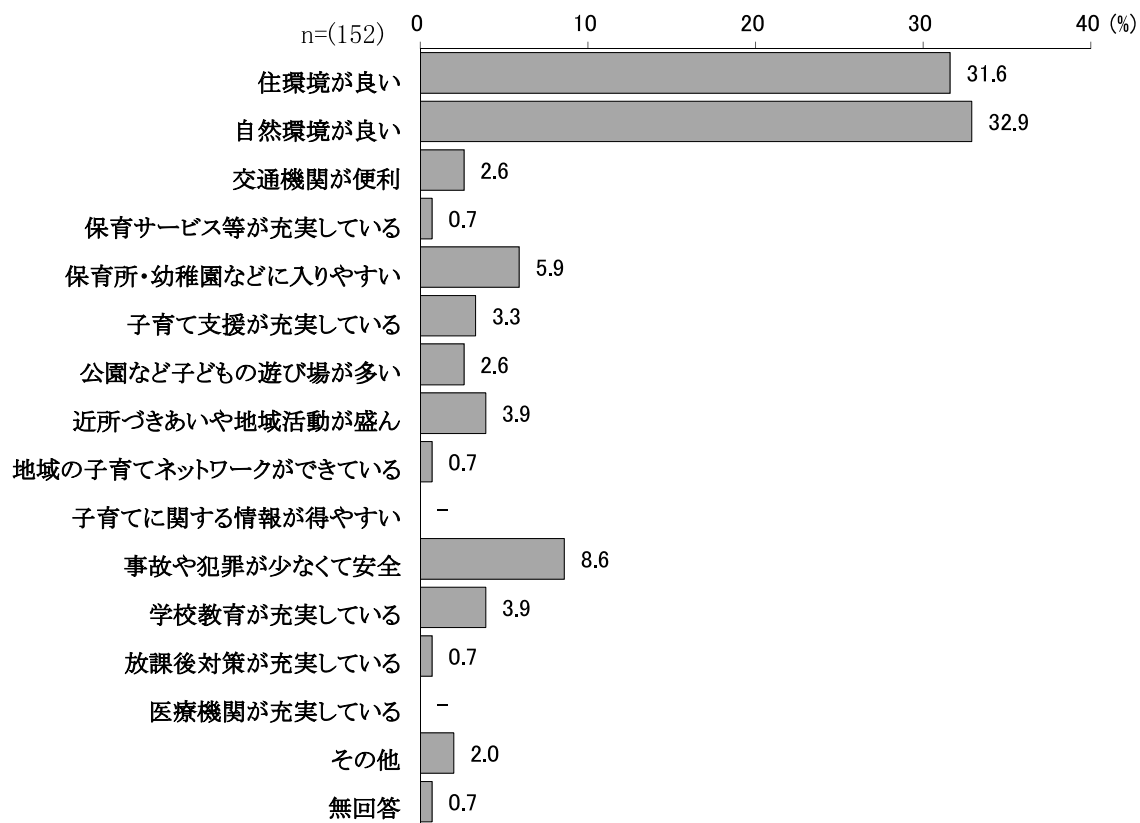


子育ての環境や支援の満足度は「ふつう」が42.2%と最も高く、次いで「満足度がやや高い」が22.5%、「満足度がやや低い」が20.7%となっている。

（4）子育ての環境や支援の満足度が高い理由

【問42で「満足度がやや高い」または「満足度が高い」と回答された方に】

問42-1 満足度が高い理由は何ですか。（○は1つ）

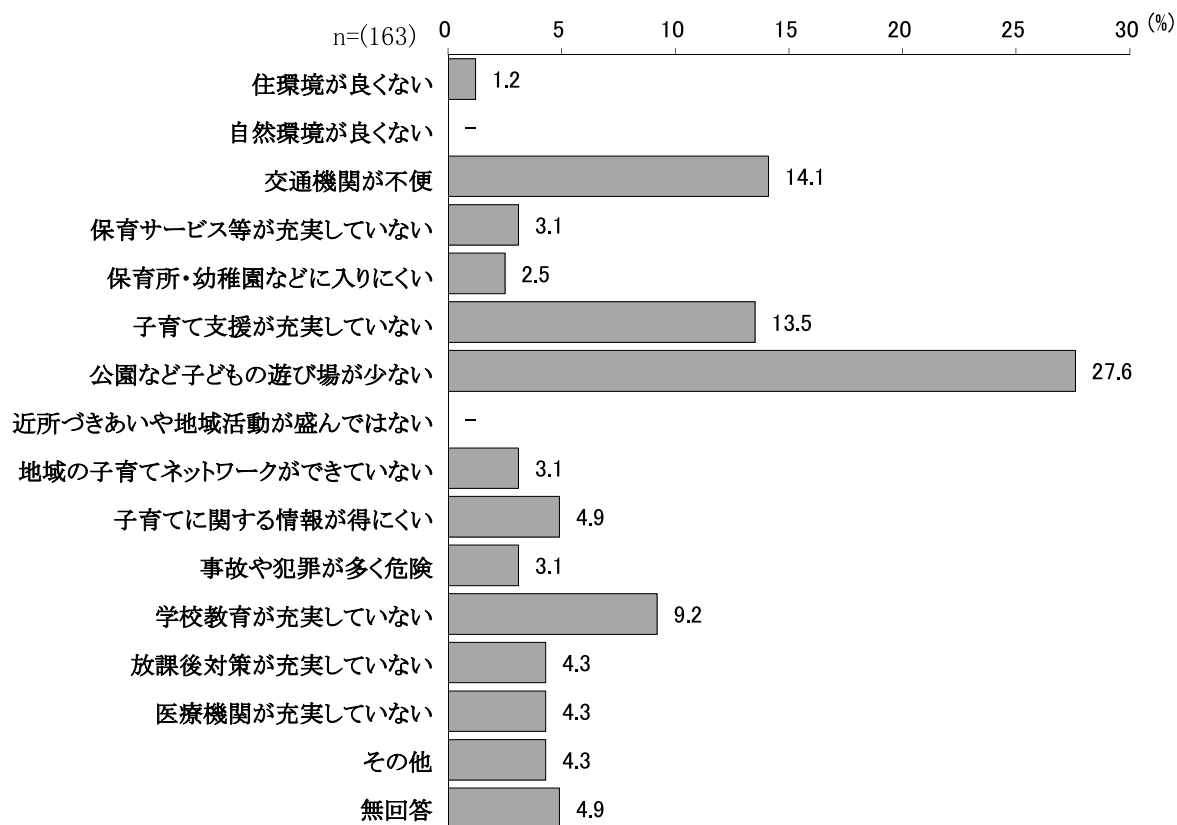


子育ての環境や支援の満足度が高い理由は、「自然環境が良い」が32.9%で最も高く、次いで「住環境が良い」が31.6%、「事故や犯罪が少なくて安全」が8.6%となっている。

（5）子育ての環境や支援の満足度が低い理由

【問42で「満足度が低い」または「満足度がやや低い」と回答された方に】

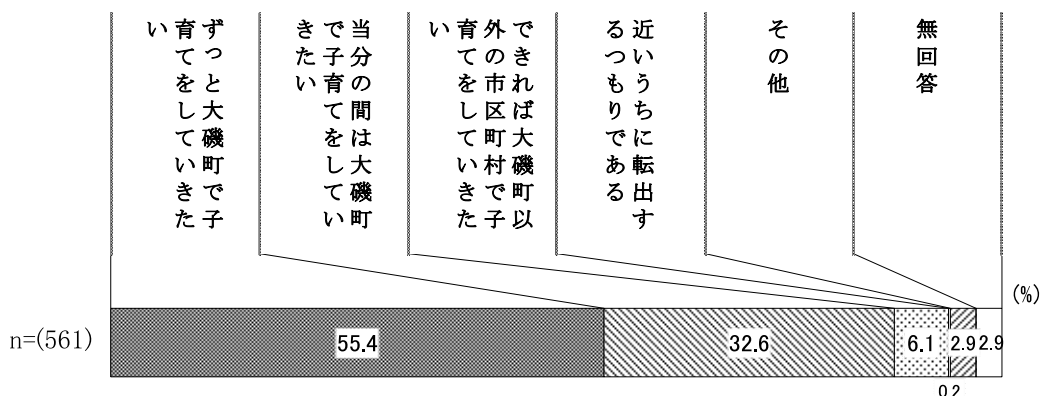
問42-2 満足度が低い理由は何ですか。（○は1つ）



子育ての環境や支援の満足度が低い理由は、「公園など子どもの遊び場が少ない」が27.6%で最も高く、次いで「交通機関が不便」が14.1%、「子育て支援が充実していない」が13.5%となっている。

（6）今後も、大磯町で子育てをしていきたいか

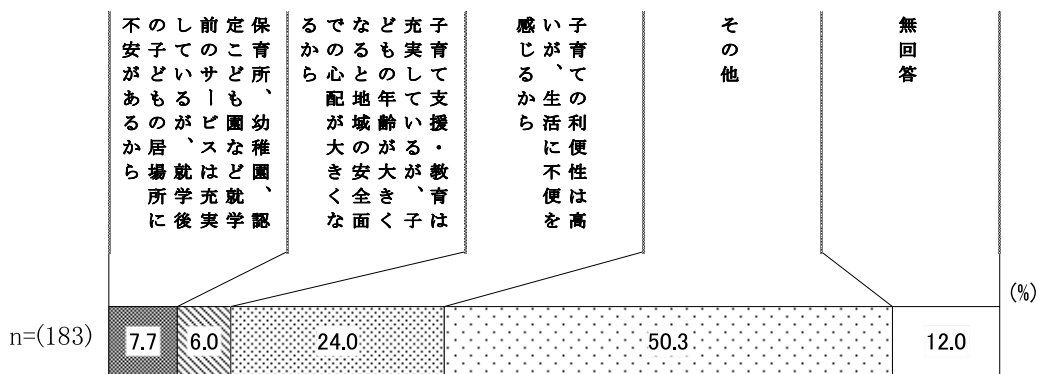
問43 今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思いませんか。（○は1つ）



今後も、大磯町で子育てをしていきたいかは、「ずっと大磯町で子育てをしていきたい」が55.4%と5割を超えて最も高く、次いで「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」が32.6%となっている。

（7）当分の間は大磯町で子育てをしていきたいと思う理由

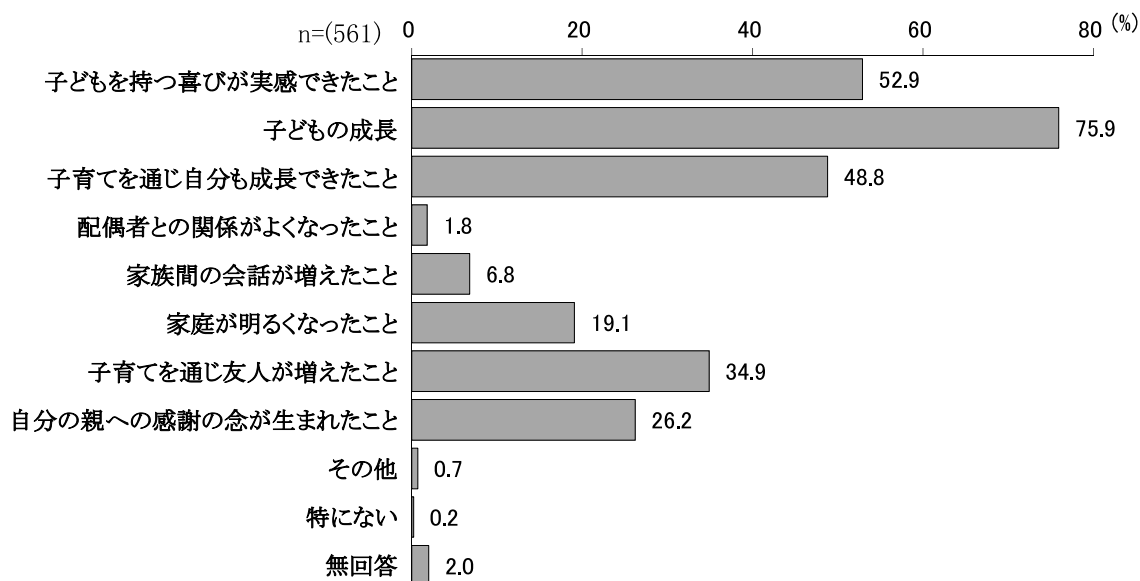
【問43で「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」と回答された方に】
問43-1 「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」と思う理由は何ですか。（○は1つ）



当分の間は大磯町で子育てをしていきたいと思う理由は、「子育ての利便性は高いが、生活に不便を感じるから」が24.0%で最も高く、次いで「保育所、幼稚園、認定子ども園など就学前のサービスは充実しているが、就学後の子どもの居場所に不安があるから」が7.7%となっている。

（8）子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと

問44 子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。（〇は3つまで）

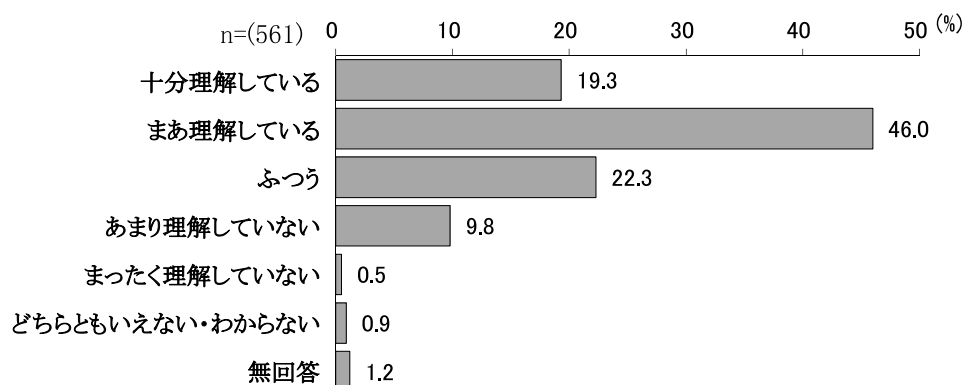


子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは、「子どもの成長」が75.9%で最も高く、次いで「子どもを持つ喜びが実感できたこと」が52.9%、「子育てを通じ自分も成長できたこと」が48.8%となっている。

12. 子どもの学習状況等について

（1）子どもの学習の理解度

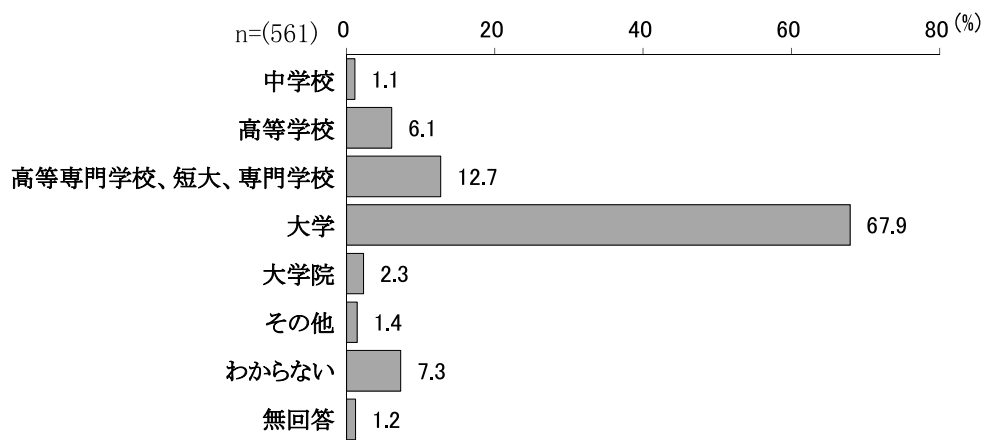
問45 あて名のお子さんの学習の理解度はどのくらいですか。（1つに〇）



子どもの学習状況等については、「まあ理解している」が46.0%で最も高く、次いで「ふつう」が22.3%、「十分理解している」が19.3%となっている。

（2）子どもの進学についての希望

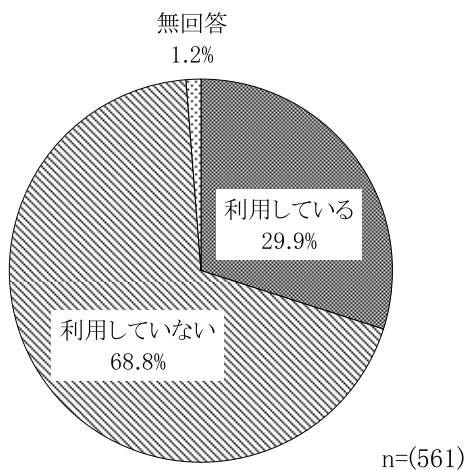
問46 あて名のお子さんの進学について、どこまで希望されますか。（1つに○）



子どもの進学についての希望は、「大学」が67.9%で約7割と最も高く、次いで「高等専門学校、短大、専門学校」が12.7%、「高等学校」が6.1%となっている。

（3）学習塾や家庭教師を利用しているか

問47 あて名のお子さんは学習塾や家庭教師を利用していますか。（1つに○）

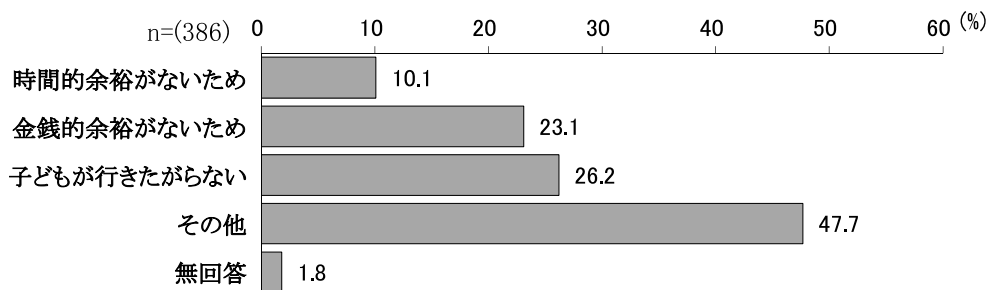


学習塾や家庭教師を利用しているかは、「利用していない」が68.8%と高く、「利用している」は29.9%となっている。

（4）学習塾や家庭教師を利用していない理由

【問47で「利用していない」と回答された方に】

問47-1 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



学習塾や家庭教師を利用していない理由は、「子どもが行きたがらない」が26.2%で最も高く、次いで「金銭的余裕がないため」が23.1%、「時間的余裕がないため」が10.1%となっている。

（5）家庭で子どもとすること

問48 あなたのご家庭ではあて名のお子さんと次のことをすることがありますか。（それぞれ1つに○）

n=(561)	割合 (%)					
	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	めったにない	無回答
お子さんの勉強をみている	35.8	23.5	24.6	7.3	7.3	1.4
お子さんと一緒に外で遊ぶ	1.4	3.7	38.9	33.2	21.0	1.8
お子さんと一緒に家の中で遊ぶ	14.4	16.8	39.6	18.2	9.3	1.8
お子さんと一緒に家事をする	10.0	12.7	37.4	23.4	15.0	1.6
お子さんと一緒に外出する (買い物を含む)	5.0	14.3	63.3	15.7	0.4	1.4

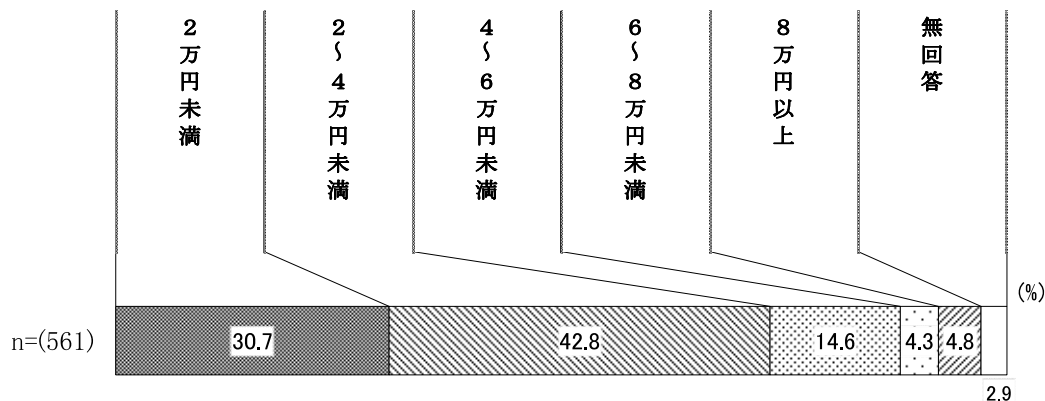
■ 30%以上 ■ 20~29%

家庭で子どもとすることは「週に1~2回 お子さんと一緒に外出をする（買い物を含む）」が63.3%で6割を超え最も高く、次いで「週に1~2回 お子さんと一緒に家の中で遊ぶ」が39.6%、「週に1~2回 お子さんと一緒に外で遊ぶ」が38.9%となっている。

13. 子育てにかかる費用等について

（1）1か月当たりにかかる子育ての費用

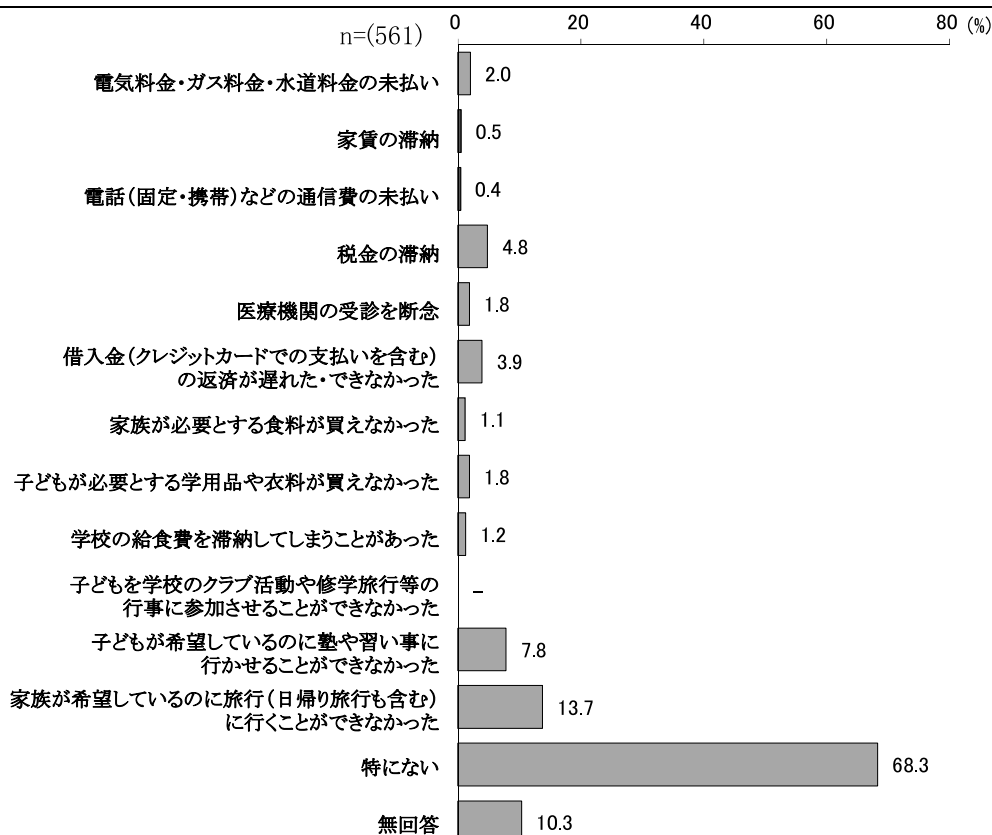
問49 あて名のお子さんの子育てにかかっている費用は1か月いくら位ですか。（○は1つ）



1か月当たりにかかる子育ての費用は、「2～4万円未満」が42.8%で最も高く、次いで「2万円未満」が30.7%、「4～6万円未満」が14.6%となっている。

（2）過去1年間に経済的理由により経験したこと

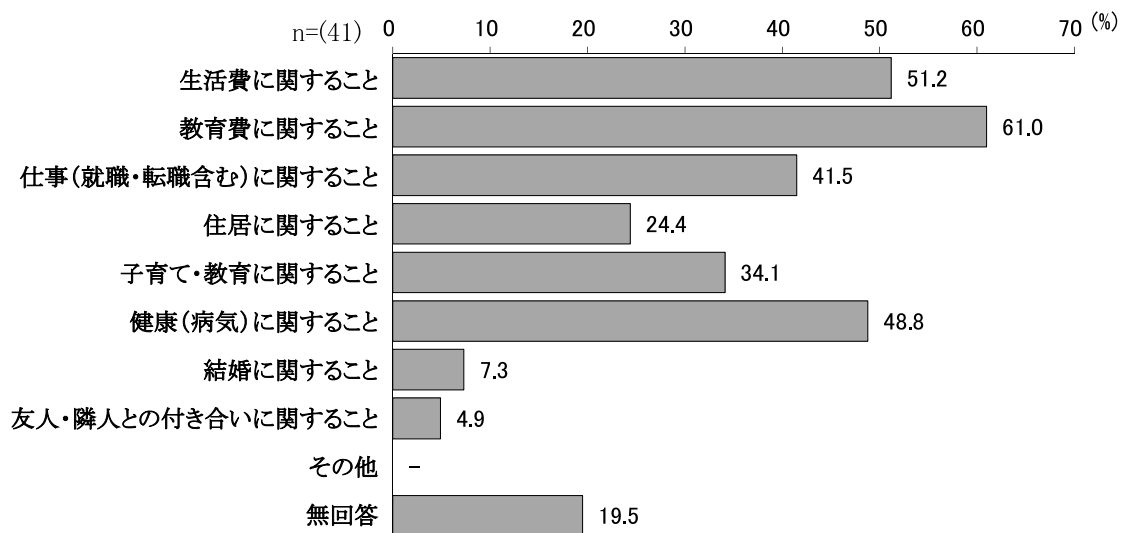
問50 あて名のお子さんの世帯では、過去1年間に経済的理由により、次のような経験をしたことはありますか。（○はいくつでも）



過去1年間に経済的理由により経験したことは、「特にない」が68.3%となっている。一方、「家族が希望しているのに旅行（日帰り旅行も含む）に行くことができなかった」が13.7%、「子どもが希望しているのに塾や習い事に行かせることができなかった」が7.8%となっている。

（3）ひとり親家庭として生活するうえでの不安や悩み

問51 ひとり親家庭の保護者の方に伺います。生活するうえで、どのような不安や悩みをもっていますか。（〇はいくつでも）



ひとり親家庭として生活するうえでの不安や悩みは、「教育費に関すること」が61.0%で最も高く、次いで「生活費に関すること」が51.2%、「健康（病気）に関すること」が48.8%となっている。

第3章 調査結果の詳細（小学生）

（4）自由記述

問52 最後に今後、子育て支援策として、どのようなことが充実していけばよいとお考えですか。ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

対象	意見の内容	意見の種類					総計	対象	意見の内容	意見の種類					総計	
		意見	苦情	感謝・御礼	提案	要望				意見	苦情	感謝・御礼	提案	要望		
小・中学校	給食の導入					30	30	子どもの遊び場(施設等)	安全に遊べる場					8	8	
	エアコンの設置					12	12		広くて自由に遊べる公園					8	8	
	給食の自校化(中学校)	1				6	7		子どもだけで行ける遊び場					6	6	
	給食の充実					5	5		室内で遊べる場					6	6	
	学力の向上					3	3		子どもの遊び場の配置					5	5	
	教育内容					3	3		雨の日でも遊べる遊び場					3	3	
	制服の復活(中学校)					3	3		運動ができる遊び場					1	1	
	学習環境の整備					2	2		子どもが気軽に行ける場					1	1	
	校内相談窓口の配置					2	2		自然を生かした町作り					1	1	
	通学手段の検討(中学校)					2	2		小学校の開放					1	1	
	PTA・子ども会役員の意義拡充					1	1		子育て支援施策	託児サービスの充実					9	9
	PTA活動の負担軽減				1		1			子育て支援の体制	1		1		3	5
	クラス編成の見直し(小学校)					1	1			ひとり親支援					4	4
	スクールバスの導入					1	1			相談体制の充実					3	3
	二学期制の導入	1					1	病後児保育の充実						2	2	
	バス通学の導入					1	1	ガードレール等の設置						1	1	
	運動会での環境整備					1	1	バトロール						1	1	
	夏休みのプール指導					1	1	フルタイム勤務家庭の子育て支援		1				1	2	
	家庭問題サポート	1					1	ベビーシッター					1		1	
	学区の検討	1					1	一時預かり保育の充実						1	1	
	学校職員研修の充実					1	1	格安での学力支援						1	1	
	学校増設					1	1	学力支援						1	1	
	教員と保護者の発達理解の向上・充実					1	1	経済的支援						1	1	
	教員の研修制度				1		1	講座の充実						1	1	
	教員の質の向上	1				1	2	施設の増設					1	1		
	言語聴覚士の配置(小学校)					1	1	事業の拡充					1	1		
	購買部の配置					1	1	障がい児の通学支援					1	1		
	支援員の増加					1	1	障がい児家庭への支援					1	1		
	施設の充実					1	1	地域スポーツの拡充					1	1		
	自転車通学の導入					1	1	父親の子育て対策					1	1		
	修学旅行費の積立					1	1	里親支援					1	1		
	集団登校の復活					1	1	行政の姿勢					1	1		
障がい児サポートの充実					1	1	幼稚園	車送迎の許可					3	3		
昼食の選択(小学校)					1	1		預かり保育の拡充					3	3		
朝食導入					1	1		園バスの導入					2	2		
部活問題(中学校)					1	1		PTA活動の負担軽減				1		1		
平日の役員活動の見直し					1	1	給食の導入					1	1			
遊具の充実					1	1	経済的支援					1	1			
進学支援					1	1	保育所	一時預かりの実施	1					1		
学童クラブの拡充	1				21	22		保育士の増員					1	1		
放課後子ども教室の拡充			1		6	7	公園	遊具の充実					8	8		
放課後児童対策の拡充					4	4		公園新設					6	6		
学力支援					3	3		公園の充実					3	3		
学童クラブの経済的支援					2	2		安心して遊べる公園					2	2		
学校内での習い事教室					1	1		公園施設の設備					2	2		
学童クラブでの習い事教室					1	1		時計の設置					1	1		
学童クラブの一時預かり制度					1	1		総合公園整備					1	1		
学童クラブの質の向上					1	1		遊具の整備					1	1		
教室・校庭の開放					1	1		子育て支援センター	支援体制の充実			2		1	3	
施設の充実					1	1			施設の増設					1	1	
障がい児の放課後児童対策					1	1										

第3章 調査結果の詳細（小学生）

対象	意見の内容	意見の種類					総計			
		意見	苦情	感謝・御礼	提案	要望				
医療	53	医療費の無償化					22	22		
		医療費の補助					12	12		
		所得制限の見直し	1				3	4		
		所得制限の廃止					3	3		
		小児科の充実					3	3		
		予防接種費の補助					3	3		
		医療体制					2	2		
		産婦人科の充実					2	2		
		病院の充実					1	1		
		病院整備					1	1		
公共施設	26	児童館増設					13	13		
		施設の拡充					5	5		
		公民館の利用・増設					2	2		
		温水プールの新設					1	1		
		公共施設整備					1	1		
		図書館の本の充実					1	1		
		図書館増設					1	1		
		体育館増設					1	1		
		武道館新設					1	1		
地域との関わり	1	地域で子育てをする環境				1	1			
交流	16	イベントの充実					8	8		
		多世代交流					3	3		
		情報発信					2	2		
		親子体験					2	2		
		交流の場					1	1		
経済的支援	25	助成金制度(医療費)					10	10		
		金銭的支援					9	9		
		税金が高い	2					2		
		教育費の無償化					1	1		
		教材費の補助(小学校)					1	1		
		児童手当の延長					1	1		
		通学時のバス料金補助					1	1		
生活環境	11	安全・安心な環境						2	2	
		環境面の充実						2	2	
		チャイムの予鈴						1	1	
		パトロールの充実						1	1	
		街灯の設置						1	1	
		喫煙問題	1						1	
		地場産業の育成						1	1	
		転入後の環境	1						1	
		文化的な環境						1	1	
		道路・交通	2	歩道の整備					2	2
		行政	22	制度改善					3	2
	子育て支援の体制							3		3
	高齢者福祉の廃止							1		1
	企業の誘致								1	1
	現状必要な整備			1	1					2
	少子化改善			1						1
	消防署の対応					1				1
	精神面のサポート			1						1
	他地域と平等な教育					1			1	2
	福祉サービス								1	1
	役場の対応					1				1
	情報公開	1						1		
税金の用途	1						1			
予算の振り分け						1	1			
就労支援	3	就労支援				2		2		
		職場環境の支援					1	1		
アンケート	9	アンケートの活用				7	1	8		
		記述内容の補足	1					1		
ファミリー・サポートセンター	1	サポート体制充実						1	1	
生活支援	2	学習塾のバス導入						1	1	
		親のサポート事業						1	1	
その他	4	地域活性化						2	2	
		町の将来像	1						1	
		町長の取り組みについて	1						1	

